

東京外国語大学

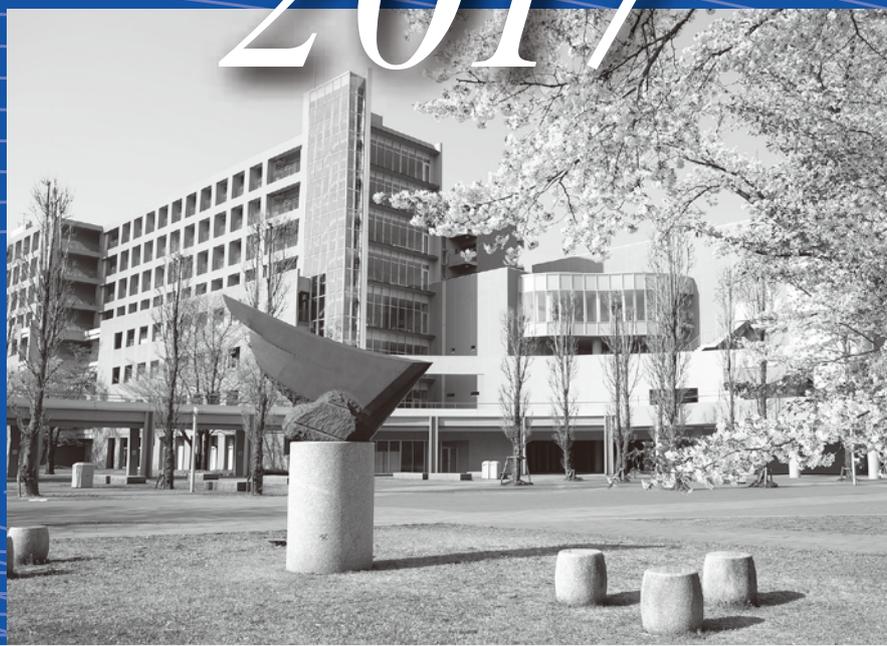
履修案内

2017年(平成29年)度入学者用

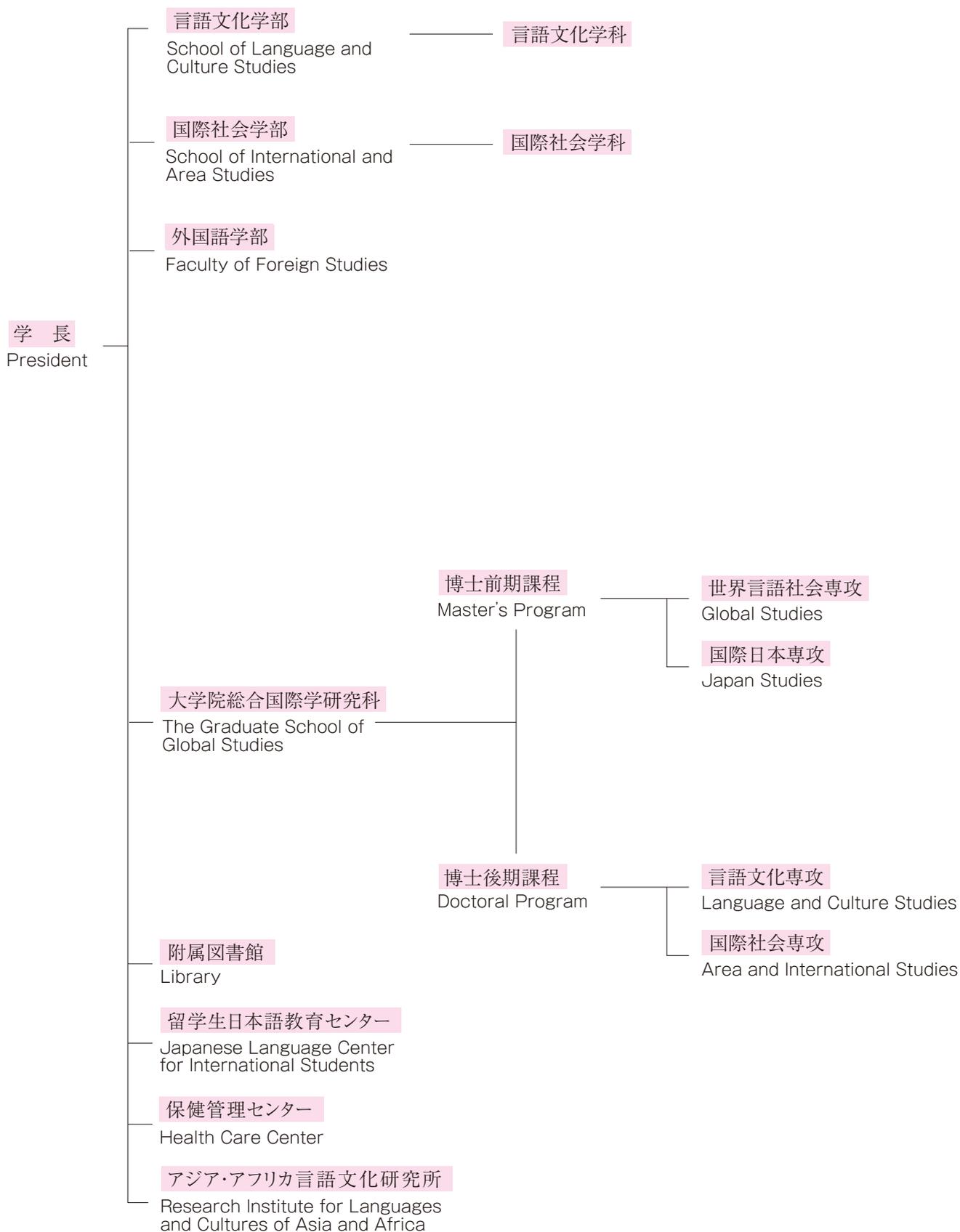
言語文化学部

TOKYO
UNIVERSITY
OF
FOREIGN
STUDIES

2017



東京外国語大学教育組織 University Educational Organization



言語文化学部の略記号

学部	学部記号	コース	コース記号
言語文化学部	LC	言語・情報コース	LI
		グローバルコミュニケーションコース	AL
		総合文化コース	CL

地域言語	地域言語記号	地 域	地域記号
英語	E	北西ヨーロッパ	NW
		北アメリカ	NA
		オセアニア	OC
ドイツ語	D	中央ヨーロッパ	CE
ポーランド語	Pl		
チェコ語	Cz		
フランス語	F	西南ヨーロッパ	SW
イタリア語	I		
スペイン語	S	西南ヨーロッパ	SW
		ラテンアメリカ	LA
ポルトガル語	Po	西南ヨーロッパ	SW
		ラテンアメリカ	LA
ロシア語	R	ロシア	RU
		中央アジア	AC
モンゴル語	M	中央アジア	AC
日本語	J	日本	JP
中国語	C	東アジア	EA
朝鮮語	K		
インドネシア語	In	東南アジア	SE
マレーシア語	Ma		
フィリピン語	Ph		
タイ語	T		
ラオス語	L		
ベトナム語	V		
カンボジア語	Ca		
ビルマ語	B		
ウルドゥー語	U	南アジア	SA
ヒンディー語	H		
ベンガル語	Bn		
アラビア語	A	西アジア・北アフリカ	WA
ペルシア語	Pr		
トルコ語	Tr		

目次

東京外国語大学教育組織	1
言語文化学部の略記号	2
履修登録チェックリスト	5
東京外国語大学（学士課程）のディプロマポリシー	7
東京外国語大学（学士課程）のカリキュラムポリシー	8

第一部 カリキュラムのしくみ

I. 履修にあたって	12
1. 学期構成	12
2. 授業時間	12
3. 授業予定の変更・休講の情報	12
4. 履修に関する届出・相談窓口	12
5. 学務情報システム	12
6. 公欠	12
II. 科目の種類	16
III. 単位の認定・成績評語等	19
1. 単位の認定	19
2. GPA（成績評定平均値）	20
3. 履修中止	21
4. 成績に関する問い合わせ等	22
5. 成績に関する個別指導について	22
IV. 履修ガイド	23
履修イメージ	24
V. 第3・4年次の履修コース	25
VI. 卒業に必要な単位数	27
VII. 履修要件と進級要件	28
VIII. 卒業のための手続き	29
1. 3月卒業のための手続き	29
2. 9月卒業のための手続き	29
3. 派遣留学生の9月卒業	30

第二部 履修方法

I. 履修登録手続き	34
1. 履修登録手続き	35
2. 履修登録の修正	36
3. 履修中止	36
II. 各授業科目の履修要領	37
1. 世界教養プログラム	37
(1) 言語科目	37
①地域言語（A、C）	37
②GLIP 英語科目	38
③教養外国語	39
(2) 地域科目	42

(3) 教養科目	42
①基礎リテラシー.....	42
②基礎演習.....	43
③世界教養科目.....	43
④スポーツ・身体文化科目.....	44
2. 専修プログラムと関連科目、卒業論文・卒業研究.....	45
(1) 専修プログラム	45
(2) 関連科目	47
(3) 卒業論文または卒業研究	48
3. 学期末試験.....	50
4. 論文・レポートを執筆する際に注意すべきこと.....	51
5. 履修コースの変更等.....	51
第三部 教育職員免許状の取得	53
第四部 留学、休学、復学	
I. 留学.....	58
1. 派遣留学制度.....	58
2. 休学留学.....	58
3. 休学（海外研修等）	58
II. 休学.....	60
1. 休学.....	60
2. 休学の要件.....	60
3. 休学の手続き.....	60
4. 休学終了の手続き.....	60
5. 注意.....	61
III. 復学.....	61
1. 復学.....	61
2. 復学者の科目履修.....	61
第五部 単位認定、他大学への派遣等	63
第六部 注意事項、履修に関する Q&A	
I. 注意事項.....	86
1. 一般学生および編入学生の修業年限および在学年限について	86
2. 証明書の発行について.....	86
3. 学生本人または保証人に住所変更があった場合について.....	87
4. キャンパスカード（学生証）を毀損（紛失）した場合の手続きについて.....	87
5. 単位修得状況に関するお知らせについて.....	87
II. 履修に関する Q&A	88
規 程	91

言語文化学部 履修登録チェックリスト

～各自チェックしてみましょう～

第1年次学生

- 地域言語科目を履修登録していますか。
- 秋学期から開講する地域言語科目の授業を忘れずに登録していますか。
- 地域基礎科目を履修登録していますか。
- 基礎リテラシーを履修登録していますか。
- 基礎演習を履修登録していますか。
- 世界教養科目を履修登録していますか。
- スポーツ・身体文化科目を履修登録していますか。
- 導入科目（各コース1科目ずつ）の授業を履修登録していますか。
- 集中講義を2科目以上履修する場合、日程は重なっていませんか。
- 履修の上限である50単位を超えていませんか。50単位を超えた履修はできません。（教職科目を履修している場合を除きます。）

第2年次学生

- 地域言語科目を履修登録していますか。
- 秋学期から開講する地域言語科目の授業を忘れずに登録していますか。
- 1年次で修得できなかった進級に必要な単位数の授業科目（基礎リテラシー、基礎演習、導入科目など）を履修登録していますか。
- 概論科目の授業を履修登録していますか。
- 進級に必要な単位数の授業科目を履修登録していますか。
- 集中講義を2科目以上履修する場合、日程は重なっていませんか。
- 履修の上限である50単位を超えていませんか。50単位を超えた履修はできません。（教職科目を履修している場合を除きます。）

第3年次学生

- 地域言語科目を履修登録していますか。
- 秋学期から開講する地域言語科目の授業を忘れずに登録していますか。
- 2年次で修得できなかった概論科目を履修登録していますか。
- 選択科目を履修登録していますか。
- 指導教員が担当する、または指導教員が指定する専門演習（本ゼミ）を履修登録していますか。
- 教員免許を取得希望の場合、教育実習に行くために必要な単位数が履修登録できていますか。
- 集中講義を2科目以上履修する場合、日程は重なっていませんか。
- 履修の上限である50単位を超えていませんか。50単位を超えた履修はできません。（編入生、教職科目を履修している場合は除きます。）

第4年次学生

- 地域言語科目を履修登録していますか。
- 秋学期から開講する地域言語科目の授業を忘れずに登録していますか。
- 導入科目6単位（各コース2単位ずつ）を修得できていますか。
- 概論科目10単位を修得できていますか。なお、内訳については、履修案内の第二部Ⅱ. 2. (1)「専修プログラム」の該当ページを確認してください。
- 選択科目（本ゼミ、卒業論文演習、卒業論文・卒業研究を除く）16単位を修得できていますか。そのうち最低6単位は所属コースのものですか。
- 卒業論文演習を春学期・秋学期各2単位、卒業論文（卒業研究）8単位を履修登録していますか。卒業論文（卒業研究）は、卒業論文演習とは別に履修登録が必要です。
- 集中講義を2科目以上履修する場合、日程は重なっていませんか。
- 履修の上限である50単位を超えていませんか。50単位を超えた履修はできません。（編入生、教職科目を履修している場合は除きます。）
- 卒業に必要な所要単位を履修登録していますか。なお、卒業所要単位数については、履修案内の第一部Ⅳ.「卒業に必要な単位数」をご覧ください。

東京外国語大学（学士課程）のディプロマポリシー

東京外国語大学は、教育目標に定める人材を養成するため、次の方針に基づき、「学士（言語・地域文化）」の学位を授与します。

①高度な言語運用能力

- ・専攻言語に関し、読む、聞く、話す、書くという4技能で高度な言語運用能力を身に付けていること。
- ・国際社会で活躍するに足る、十分な英語運用能力を身に付けていること。

②世界諸地域についての知識・教養

- ・専攻する地域の文化・社会について、さまざまな観点から十分に学び、基礎的知識・教養を身に付けていること。

③現代社会を生きる力

- ・現代社会を生きる上で必要な幅広い知識・教養と、世界において日本を正しく紹介することのできる日本発信力を身に付けていること。

④専門的な知識

- ・世界諸地域の言語・文化・社会の仕組みを解明する諸学問分野や、国際的な諸問題を超域的な視点から扱う諸学問分野のうち、所属する学部・コースが扱う分野についての専門的な知識を身に付けていること。

⑤主体的に考え、行動し、発信する力

- ・ものごとを探求し、客観的に分析する力、さまざまな情報を体系化して整理する力、それらをわかりやすく表現する力を身に付けていること。
- ・短期・中長期の留学やインターンシップ等への参加の経験を通じ、主体性と世界の人々と協働する行動力を身に付けていること。

東京外国語大学（学士課程）のカリキュラムポリシー

東京外国語大学は、ディプロマポリシーの掲げる知識や能力などを獲得させるため、世界教養プログラムと専修プログラムからなる科目群を、以下の方針に基づき、体系的に編成します。開講されるすべての授業科目は、レベルに応じてナンバリングされており、段階的な学修を進めさせます。学習成果の評価にあたっては、あらかじめ学生に示した成績評価基準に基づき、厳格な評価を行います。

① 「高度な言語運用能力」の獲得のために

- ・すべての学生は、言語文化学部、国際社会学部に専攻地域・専攻言語を選択の上で入学し、専攻言語に関する学修を行い、特に、1、2年次には、専攻言語の読む、聞く、話す、書くという4技能を修得します。このために必要な、「地域言語科目」を整備し、体系的に提供します。
- ・グローバル時代に不可欠な英語力の涵養のため「GLIP英語科目」を整備し、TOEICテスト800点相当の達成を目安に、学生の英語力向上に努めます。

② 「世界諸地域についての知識・教養」の獲得のために

- ・世界諸地域の文化・社会に関する「地域基礎科目」を整備し、学生が専攻地域やその他の地域に関し基礎的知識・教養を身に付けることができるように努めます。

③ 「現代社会に生きる力」の獲得のために

- ・初年次には、「基礎リテラシー」と「基礎演習」を履修させ、大学生としての学びの基礎的な技能を修得させます。
- ・現代社会で必要とされる基礎的な知識や幅広い教養を身に付けさせるため、日本語と英語で「世界教養科目」を提供します。
- ・日本関係の授業を、「教養日本力プログラム」として整備・充実させ、学生に、世界で日本を紹介することができる日本発信力を身に付けさせます。

④ 「専門的な知識」の獲得のために

- ・学部の専修プログラムでは、導入科目、概論科目、選択科目を体系的に整備し、それぞれの分野の専門的知識をもって社会で活躍するための基礎力を養います。
- ・言語文化学部
 - i) 言語・情報コースでは、言語学、音声学、言語情報処理、ヨーロッパ・アメリカ言語研究、アジア・アフリカ言語研究、日本言語研究などの分野に関して、体系的かつ多様な授業を開講し、これらの分野についての専門的な知識を身に付けさせます。
 - ii) グローバルコミュニケーションコースでは、英語教育学、日本語教育学、言語教育学、通訳・翻訳論、コミュニケーション論、多言語・多文化社会論等の分野に関して、体系的かつ多様な授業を開講し、これらの分野についての専門的な知識・技能を身に付けさせます。
 - iii) 総合文化コースでは、ヨーロッパ文化研究、アメリカ文化研究、東アジア文化研究、中央アジア文化研究、東南アジア文化研究、南アジア文化研究、西アジア・北アフリカ文化研究、日本文化研究、文化・文学研究、思想文化研究、人間科学研究等の分野に関して、体系的かつ多様な授業を開講し、これらの分野についての専門的な知識を身に付けさせます。

⑤ 「主体的に考え、行動し、発信する力」の獲得のために

- ・すべての授業で、学生が教室外で取り組む課題を設定し、その取り組みを通じ、学生の主体的な学びの力、調査能力、発信力を涵養します。
- ・専修プログラムでは、問題解決能力や批判的思考力を育成するため、講義形式の授業に加えて、演習形式の授業を重視し、プレゼンテーション等を積極的に活用しながら、対話を通じたインタラクティブな学修を実践します。
- ・短期、長期の留学や、国内外でのインターンシップを支援する体制を整え、留学やインターンシップを4年間の教育のなかに位置づける体制を整えます。

第一部

カリキュラムのしくみ

I. 履修にあたって

① 学期構成

本学は、1年を4つに分ける4学期制です。大半の授業は学期ごとに開講されます。

② 授業時間

本学では、1日6時制限をとっています。授業時間は以下のとおりです。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限
8:30~10:00	10:10~11:40	12:40~14:10	14:20~15:50	16:00~17:30	17:40~19:10

③ 授業予定の変更・休講の情報

授業予定の変更・休講の情報は学務情報システムを通じてお知らせします。

<https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/portal/>

④ 履修に関する届出・相談窓口

履修に関する届出・相談は、本部管理棟1階の教務課窓口で受けつけています。届出・相談等は以下の窓口業務時間内に行ってください。

期間	窓口業務時間
授業期間中	9:00~16:30 (昼休み 12:40~13:40)
土、日、祝日(祝日授業日を含む)、夏季一斉休業中、年末年始	窓口業務は行いません

履修登録手続きについては、「第二部 履修方法」で詳しく説明します。

⑤ 学務情報システム

学修に必要な手続きや通知が Web 上で行うことができるシステム。具体的には、授業履修のために不可欠な履修登録(修正・中止を含む)のほか、トップページ(ログイン画面)には大学からのお知らせが、また各自の専用ポータルサイトでは、授業時間割・履修確認表参照・成績参照・大学からのメッセージ(休講等)の確認等ができます。

学務情報システムには、[東京外国語大学ホームページ](#) → [学務情報システム](#) のバナーから進めます。ログインには、総合情報コラボレーションセンターから発行された ID とパスワードが必要です。学外からもアクセスできます。

⑥ 公欠

授業を欠席した場合、定められた理由によるものは、所定の手続きをとることで、公欠になります。申請用紙は教務課窓口で配付しています。

東京外国語大学大学院・学士課程における授業の欠席の取扱いに関する申合せ

(目的)

第1条 この申合せは、東京外国語大学（以下「本学」という。）総合国際学研究科、言語文化学部、国際社会学部の授業等において、学生が欠席した場合の具体的な取扱いについて定めることを目的とする。

(定義)

第2条 この申合せにおいて、公欠とは、授業に欠席したとはみなさない取扱いとすることをいう。

(公欠)

第3条 本学の学生が、次の各号に掲げる事由により、やむを得ず授業等を欠席する場合は、これを公欠として取り扱う。

- (1) 学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に感染した場合、又は感染したおそれがある場合
- (2) 気象警報・交通機関の運休等により通学が困難であると認められた場合
- (3) 親族が死亡した場合
- (4) 裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
- (5) 教育実習・介護等体験（介護等体験の事前指導を除く。）に参加する場合
- (6) その他学長が必要と認める場合

2 公欠の届出に必要な事項は、別表1のとおりとする。

(公欠扱いにはならないが、書類の提出により、学生が欠席について配慮を求めることができる場合)

第4条 本学の学生が、次の各号に掲げる事由により、やむを得ず授業等を欠席する場合、欠席について配慮を求めることができる。

- (1) 疾病（前条第2項第1号で定める感染症を除く。）、負傷
- (2) 大学の授業科目として行われる学外の実習（教育実習・介護等体験を除く。）
- (3) 就職活動（採用試験・面接等。会社訪問、企業セミナー、内定者研修は含まない。）
- (4) 課外活動（関東甲信越大学体育大会又は全国大会以上の大会等に出場する場合。）
- (5) その他部局長が必要と認める場合

2 前項に掲げる事項の取扱いは、別表2のとおりとする。

(補講等)

第5条 当該授業科目の担当教員は、前条によった場合、授業の補講等を実施することができる。

(一授業科目当たりの公欠の制限)

第6条 一の授業科目について、公欠扱いとすることができる回数は、原則として、当該授業科目の授業回数の4分の1を超えることができないものとする。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

別表1(第3条関係)

区分	事由	公欠期間	必要書類等
第一号	学校保健安全法施行規則第18条に規定する感染症に感染した場合、又は感染したおそれがある場合	診断書等に記入されている出席停止期間	医療機関発行の「診断書」 または 「治癒証明書」等
第二号	気象警報・交通機関の運休等により通学が困難であると認められた場合	事由により出講が不可能であった時限	駅発行の遅延証明書等(本学ホームページに掲載する全学休校期間については手続不要)
第三号	親族が死亡した場合 (配偶者及び1親等、2親等の親族の死亡)	配偶者及び1親等の親族の場合は、死亡した日から起算して連続7日間(休日を含む)	会葬礼状等
		2親等の親族の場合は、死亡した日から連続3日間(休日を含む)	
第四号	裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合	裁判員候補者として、裁判員選任手続のために裁判所に行った場合は半日程度	裁判所からの通知書等
		裁判員として選任され、裁判(公判、評議、評決等)に参加する期間	
第五号	教育実習・介護等体験に参加する場合	教育実習・介護等体験に参加する期間	不 要

※第五号によるものの他は、公欠事由解消後、速やかに手続きを行うこと。なお、第一号、第三号及び第四号の事由による場合、公欠事由の発生と共に電話またはメールで教務課に連絡の上欠席すること。必要書類等は教務課に提出する一式のみ用意すること。なお、公欠届は公欠扱いを提出する授業の数だけ必要である。

別表2(第4条関係)

区分	事由	期間	所定の手続
第一号	疾病、負傷	事由により受講できない期間	教務課窓口で配付している用紙に医療機関発行の「診断書」または「治癒証明書」「領収書(写)」等を添え教務課の認印を受けた上、授業担当教員に提出
第二号	大学の授業科目として行われる学外の実習		教務課窓口で配付している用紙に内容を記入の上、実習担当教員の署名をもらい、教務課の認印を受けた上、授業担当教員に提出
第三号	就職活動		学生課窓口で配付している用紙に内容を記入し会社等の証明印を添え、学生課での認印を受けた上、授業担当教員に提出
第四号	課外活動		学生課窓口で配付している用紙に大会の概要等の証明を添え学生課での認印を受けた上、授業担当教員に提出

※第一号を除き、原則として事前に所定の手続きを行うこと。

証明書類等は教務課または学生課に提出する一式のみ用意すること。なお、所定の用紙は提出する授業の数だけ必要である。

【参考】学校保健安全法施行規則(感染症の種類)

第十八条 学校において予防すべき感染症の種類は、次のとおりとする。

- 一 第一種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。)及び鳥インフルエンザ(病原体がインフルエンザウイルス A 属インフルエンザA ウイルスであつてその血清型が H 五 N 一であるものに限る。次号及び第十九条第一項第二号イにおいて「鳥インフルエンザ(H 五 N 一)」という。)
- 二 第二種 インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H 五 N 一)を除く。)、百日咳せき、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
- 三 第三種 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

◆◆◆ 気象警報発表時等における授業の取扱い ◆◆◆

①公共交通機関の運休による休講措置

JR中央線（東京駅～高尾駅間）及び京王線（新宿駅～京王八王子駅間）が運休した場合は休講になります。

- （1）午前6時30分現在において、運休の場合は、午前の学部及び大学院の授業は全学休講
- （2）午前10時30分現在において、運休の場合は、午後の学部及び大学院の授業は全学休講

②気象警報等による休講措置

気象庁から大雨警報、大雪警報、暴風警報、暴風雪警報のいずれかの警報又は特別警報が府中市又は調布市に発表された際に、休講とする場合があります。

- （1）午前6時30分現在において、発表されている際に、午前の学部及び大学院の授業は全学休講となる場合があります。
- （2）午前10時30分現在において、発表されている際に、午後の学部及び大学院の授業は全学休講となる場合があります。
- （3）台風の接近、大雪が予想される等により授業の実施が困難と予想される場合は、前もって、休講措置を取る場合があります。

③周知用法

上記①、②に該当し、全学休講とする場合、学務情報システムにて速やかに周知します。

URL：<https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/portal/>

Ⅱ. 科目の種類

カリキュラムは世界教養プログラムと専修プログラムから成ります。卒業するためにはそれぞれのプログラムにおいて指定された条件を満たすように授業を履修し、単位（後述）を修得しなければなりません。

(1) 世界教養プログラム

言語文化学部と国際社会学部に共通する授業科目として開講される授業科目の総称です。世界教養プログラムは、さらに「言語科目」、「地域科目」、「教養科目」の3つの科目区分に分かれます。

(a) 言語科目

言語を習得することを目的とした授業科目の総称で、「地域言語 A」、「地域言語 C」、「GLIP 英語科目」、「教養外国語」の4種類の授業科目区分から構成されます。入学時に選択した各地域の言語に加えて、各自の興味や関心、あるいは必要に応じて、複数の言語を組み合わせることで計画的に履修してください。

地域言語 A

各自が専攻する地域の言語で、入学時に選択した言語の科目です。

(入学時に選択した言語以外は履修することはできません。)

地域言語 C

各自が専攻する地域/言語と関連の深い言語を学ぶために用意された科目です。

GLIP 英語科目

英語の運用能力を磨くための授業です。「英語 A (Interactive English)」、「英語 B (Academic English)」、「英語 C (Career English)」の3段階の科目群からなり、無理なくステップアップしながら大学レベルの英語力を身につけられるようにカリキュラムが構成されています。留学、就職、大学院進学などそれぞれの目的に応じた柔軟な履修が可能です。英語の4技能を集中的に訓練するための「英語 A / 英語 B (Intensive English)」や「英語 A (English Immersion Camp)」も用意されています。

教養外国語

各自の関心や学修上の必要性に応じて履修する言語科目です。ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語の9つの言語が履修可能です。

(b) **地域科目**

各自が専攻する地域についての理解を深めるために開設されている授業科目です。各地域の文化・社会について、さまざまな観点から総合的に理解することを目的としています。「地域基礎科目1A」、「地域基礎科目1B」、「地域基礎科目2A」、「地域基礎科目2B」の4つの授業区分があります。所属する地域（言語）の教員の指示に従って履修してください。

(c) **教養科目**

現代社会で必要とされる基礎的な技能と知識、そして幅広い教養を身につけるための授業科目です。「基礎リテラシー」、「基礎演習」、「世界教養科目」、「スポーツ・身体文化科目」の4つから構成されます。

基礎リテラシー

本学学生として必要な知識とものの考え方、そして技能を身につけるための入門的な授業です。

基礎演習

大学で学ぶための基礎的な技能や論理的思考方法を習得する授業です。文章を正確に理解し、その情報をもとに思考し、文章を作成する力を養います。

世界教養科目

グローバル化の時代に必要とされる教養を身につけるために、学問分野の枠を超えた問題に沿って開設された科目です。「現代を生きる」、「地球社会と生きる」、「人生を拓く」、「知と文化に挑む」、「世界から日本を見る」「現地で学ぶ」の6つのカテゴリーの科目区分があります。

スポーツ・身体文化科目

スポーツの知識を深めたり、技能を身につけて、身体的・精神的・社会的な健康を維持・増進したり、生涯にわたってスポーツに親しむための素養を育成することを目的とした科目です。

(2) **専修プログラム（専修科目）**

専門的な学問研究の内容を体系的に学ぶための、言語文化学部の授業科目です。専修プログラムの中の科目「導入科目」、「概論科目」、「選択科目」の3つの科目区分に分かれます。学部には3つの履修コースがあり、それぞれに対応した導入科目、概論科目、選択科目が開設されています。

(a) **導入科目**

各履修コースで専門分野の学習を進めていくための基礎的な事項を学ぶ科目です。

(b) **概論科目**

各履修コースの専門分野で学ぶ内容の全体を、体系的にまとめて学ぶ科目です。

(c) **選択科目**

導入科目、概論科目を履修することによって得られた知識をもとに、専門分野の内容をさらに深く学ぶための科目です。

この選択科目は、講義、専門演習、卒業論文演習、卒業論文・卒業研究の4つに分類されますが、履修の際は次の科目として履修します。

- ・講義

導入科目、概論科目をさらに発展させた専門性の高い講義形式の科目です。

- ・専門演習

専門性の高い演習形式の科目です。そのうち指導教員（第一部V参照）が開講する専門演習を「本ゼミ」と呼びます。

- ・卒業論文演習

卒業論文の執筆や卒業研究の作成のために指導教員から指導を受けるための演習科目です。卒業研究を作成する場合も「卒業論文演習」を履修します。

- ・卒業論文・卒業研究

4年間の学修の集大成として、指導教員の指導のもとに執筆または作成する論文や研究です。

(3) 関連科目

世界教養プログラムと専修プログラムの科目は、卒業に必要な単位数が決まっていますが、各自の学習計画に応じて、その単位数を超えて修得することができます。超過して履修した科目を「関連科目」と呼びます。関連科目として扱うことのできる科目には以下のものがあります。

- (a) 言語科目（再履修可能科目を除く）、地域科目、世界教養科目、スポーツ・身体文化科目
(ただし、1単位のみ)
- (b) 所属するコースの専修プログラムの中の科目（ただし卒業論文演習と卒業論文・卒業研究を除く）
- (c) 他学部、他コースの専修プログラムの中の科目（ただし卒業論文演習と卒業論文・卒業研究を除く）
- (d) 他大学（派遣等による）で修得した単位

(4) 教職科目

これまで説明してきた各授業科目には含まれないものとして、教職科目があります。教育職員免許状（高等学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状）を取得する資格を得るために必要な科目です。教職科目については、「第三部 教育職員免許状の取得」および別に配付する『教職ガイド』を参照してください。

なお、言語科目の「GLIP 英語科目」および世界教養科目・専修科目のうち、英語で授業が行われる「教養 GLIP 科目」・「専修 GLIP 科目」を合わせて「グローバル人材育成言語教育プログラム (GLIP)」と呼びます。詳しくは別冊子の『GLIP 履修ガイド』を参照してください。

Ⅲ. 単位の認定・成績評語等

① 単位の認定

(1) 「単位」とは？

本学の学則は、1単位の授業科目を、「45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする」と定めています。

本学で開かれている授業は、大きく分けて「講義」と「演習」に分類されます。

言語科目のように学生の実技・実習が重視される授業科目は一つの学期につき1単位が認定される「演習」科目と分類し、教員の講義が中心となる形式の授業科目は一つの学期につき2単位が認定される「講義」科目とに分類しています。

本学の学則においては、各授業の単位数を、

1. 「講義」については、毎週1時間15週の授業をもって1単位
2. 「演習」および「実技」については、毎週2時間15週の授業をもって1単位
3. 「実験」および「実習」については、毎週3時間15週の授業をもって1単位と定めています。

本学では、90分の授業をもって2時間の授業とみなしていますが、1単位を修得するためには、学則でも45時間の学習が必要とされており、授業の時間とは別に、自学自習が前提とされています。

例えば、演習形式の授業では1単位が取得できるわけですが、そのためには授業15回=30時間に加え、15時間の自学自習を前提としています。

これに対し、講義形式の授業では、授業15回=30時間に加え、60時間の自学自習を前提としていますので、1学期で2単位を修得できます。

具体的には、単位を取得するためには

講義科目・・・1学期 15時間の授業 + 30時間の授業時間外学修 で1単位

演習科目・・・1学期 30時間の授業 + 15時間の授業時間外学修 で1単位

が要求されることになります。

つまり、講義科目の授業で単位を修得するためには、演習科目の授業の2倍の自学自習時間が必要になりますので、これらのことを理解し、しっかり学修に励んでください。

なお、4学期制の導入にともない、15回または30回の授業の一部を学生の主体的な学修によるアクティブ・ラーニングとしています。各授業でのアクティブ・ラーニングの内容はシラバスに記載されていますので、受講時に必ず確認してください。

ただし、本学の「専門演習」、「基礎演習」、「卒業論文演習」は、名称に「演習」が入っていますが、いずれも学則上は、「講義科目」にあたります。「講義科目」と「演習科目」の区別については、シラバスに記載されていますので、確認してください。

認定される単位数は、授業科目によって異なるので、授業科目を履修する際には認定される単位数を必ず確認するようにしてください。

卒業に必要な単位数は授業科目によって定められており、その単位数を満たすように履修する授業を選ばなければなりません。卒業するために必要な単位数を、「卒業所要単位」と呼びます。卒業所要単位については、「第一部Ⅵ. 卒業に必要な単位数」を参照してください。

単位は、それぞれの授業科目を履修し、試験など授業担当教員が定める方法で評価され、合格した学生だけに認定されます。単位の認定は、学期末、学年末及び集中講義終了時に行われます。単位の認定は以下の評語で通知します。Fは不合格で、単位が認定されなかったことを意味します。

【成績評価とGPの対応表】

評点	評語	GP(成績評定)	合否
100-90	S	4.0	合格
89-87	A ⁺	3.7	
86-83	A	3.3	
82-80	A ⁻	3.0	
79-77	B ⁺	2.7	
76-73	B	2.3	
72-70	B ⁻	2.0	
69-67	C ⁺	1.7	
66-63	C	1.3	
62-60	C ⁻	1.0	
59- 0	F	0.0	不合格

単位互換制度によって他大学で修得した単位、派遣留学・休学留学等で修得した単位、あるいは編入者が他大学で修得した単位については、認定によって得られた単位として、成績表に「認」とだけ記載されます。単位互換制度は第五部、留学は第四部Iで説明します。

② GPA (成績評定平均値)

GPA (成績評定平均値)とは「Grade Point Average」の略語で、各科目の成績から特定の算式によって算出された成績評価の数値のことであり、成績通知表および成績証明書に記載されます。

学生個人の成績を具体的かつ客観的に示すことで、適切な学修指導に資することを目的としています。また、留学しようとする際、派遣先の大学等での受け入れ判断に必要とされる場合があります。

GPAは、以下に示す計算式のとおり、履修した授業科目の成績を【成績評価とGPの対応表】の評語に対応したGPでそれぞれ換算し、それらに各科目の単位数を乗じて得た積の合計を、履修した総単位数で割って算出します(小数点第2位で四捨五入して小数点第1位まで算出)。計算式の分母は履修した総単位数なので、F(不合格)となった科目の単位数も含まれます。

【成績評価とGPの対応表】

$$\frac{4 \times S \text{の修得単位数} + 3.7 \times A^+ \text{の修得単位数} + \dots + 1 \times C^- \text{の修得単位数}}{\text{履修総単位数 (Fとなった科目の単位数を含む)}}$$

GPAの算出にあたり、成績がFとなった授業科目があると、分母が大きくなる分だけGPAが低く出てしまいます。これを防ぐために、再履修可能科目、履修中止の制度を利用しましょう。

再履修可能科目については、Fとなった授業科目を次学期以降に再度履修して単位が修得できた場合、Fであった成績に上書きすることができます。

反復履修可能な科目については、すでに修得している授業科目と同じ科目名の科目を履修して、その修得単位を卒業所要単位に加えることができます。反復履修可能な科目の中には履修の制限がある場合があります。反復履修可能科目は、新しい成績を以前にとった成績に上書きすることができません。反復履修可能科目は、Fとなった授業科目を次学期以降に再度履修することはできますが、Fとなった以

前の成績は記録として残ります。

また、卒業に必要な一部の授業科目（基礎リテラシー、基礎演習）と認定によって得られた単位に対応する科目および教職科目の一部はGPAの対象になりません。

再履修可能科目、反復履修可能科目、GPA対象外科目は、以下のように定められています。

(1) 再履修可能科目

- ・言語科目 「地域言語AⅠ」、「地域言語AⅡ」、「地域言語A(ウズベク語)」
- ・地域科目 「地域基礎1A」、「地域基礎1B」、「地域基礎2A」、「地域基礎2B」
- ・教養科目 「スポーツ・身体文化科目」
- ・専修科目 「選択科目」のうち、「専門演習」、「卒業論文演習」、「卒業論文(または卒業研究)」

(2) 反復履修可能科目

- ・言語科目 「地域言語AⅢ」、「地域言語C」
「GLIP英語科目」、「教養外国語」
- ・教養科目 「世界教養科目」
- ・専修科目 「導入科目」、「概論科目」
「選択科目」のうち、「専門演習」、「卒業論文演習」、
「卒業論文(または卒業研究)」を除く科目

(3) GPA対象外科目

- ・教養科目 「基礎リテラシー」、「基礎演習」、「現地で学ぶ」、
「キャリアデザイン論3A」、「キャリアデザイン論3B」、「協働基礎ゼミ」
- ・認定科目 「入学による認定」、「留学による認定」、「単位互換制度による認定」
- ・教職科目 「教職に関する科目」、「情報技法A/B」

③ 履修中止

中止期間に届け出ることにより履修中止をすることができます。通年で開講されている科目は、春学期の履修中止期間にのみ履修中止できます。なお、履修中止した科目も、単位数は履修登録単位数の合計に含まれ、50単位上限ルールの適用をうけます。

履修中止した科目は、学務情報システム上で確認が可能です。履修中止した科目は成績証明書には記載されず、GPAの対象にもなりません。

集中講義の履修中止は、集中講義開始2日目までに本部管理棟1階の教務課窓口へ申し出て手続きを行ってください。

なお、履修中止した科目については、次学期以降に再び履修登録することが可能です。

また、履修中止期間は本部管理棟1階の教務課前の掲示板および学務情報システムで通知しますので、その都度自分で確認してください。

抽選により登録した科目の中には、学務情報システムの履修登録画面で履修中止手続きができないものがあります。それらの科目を履修中止したい場合は、定められた期間内に教務課窓口へ申し出て手続きを行ってください。

④ 成績に関する問い合わせ等

通知した個別の成績に関して疑問点がある場合は、学務情報システムにおける成績の確認開始日から1週間以内に、所定の様式を教務課に提出することで、関係教員に問い合わせることができます。

また、成績に関する問い合わせを行った結果、更に疑問点がある学生は、問い合わせの回答の交付日から1週間以内に、所定の様式を教務課に提出することで、異議申し立てを行うことができます。

成績に関する問い合わせおよび異議申し立てに必要な様式は、教務課窓口で配付します。

なお、単位互換制度を利用して履修している他大学の科目については、成績に関する問い合わせおよび異議申し立てはできません。

また、卒業を予定している4年生の冬学期の成績に関する問い合わせおよび異議申し立ては、1～3年の日程とは異なる日程になります。詳しくは教務課の掲示などで確認してください。

⑤ 成績に関する個別指導について

本学では成績に関して個別指導が必要と考える基準を以下のとおり定めています。

この基準に該当する場合、指導教員等から個別指導を受ける場合があります。

- (1) 地域言語Aを10単位一括で認定する言語に所属する1年次学生は、夏学期終了後に修得単位が9単位以下の場合
- (2) 地域言語Aを1単位毎に認定する言語に所属する1年次学生は、夏学期終了後に修得単位が13単位以下の場合
- (3) 地域言語Aを10単位一括で認定する言語に所属する2年次学生は、前年度までに地域言語Aを10単位修得できなかった場合、又は地域言語Aを10単位修得したが進級要件に係る単位数が地域言語Aを除いて9単位以下の場合
- (4) 地域言語Aを1単位毎に認定する言語に所属する2年次学生は、前年度までに地域言語Aを6単位以上修得できなかった場合、又は地域言語Aを6単位以上修得したが進級要件に係る単位数が地域言語Aを除いて9単位以下の場合
- (5) 3年次学生は、春学期までに総単位数が50単位未満の場合
- (6) 4年次進級学生は、前年度までに総単位数が80単位未満の場合
- (7) 4年次留年学生は、総単位数が90単位未満の場合

Ⅳ. 履修ガイド

はじめに

第1年次と第2年次は世界教養プログラムを中心に学修を進めるのと併行して、専修プログラムの導入科目、概論科目の履修を行います。学年が進むと専修プログラムが中心になっていきます。第2年次にはコースと指導教員を決めて、第3年次以降は卒業論文や卒業研究に向けて本格的に学修を進めます。

履修年次が指定されている授業、進級要件にもとづき単位修得年次が指定されている授業もあることを念頭において履修してください。

以下に、在籍する年次ごとのおおよその学習の流れと留意すべきことについて説明します。なお、夏学期、冬学期には基本的に必修科目はありません。

第1年次春学期・夏学期

第1年次春学期には、大学で学ぶことがどのようなものかを知るための授業科目が用意されています。論理的思考、コミュニケーション力といった基礎力を身につけながら、各コースの導入科目を履修し、自分の興味のある学問分野を考え始めましょう。

第1年次秋学期・冬学期

専門的・学問的に学ぶことへ段階的に入っていきます。論文の読み方やレポートの書き方を学ぶと同時に、第3年次でのコースおよび希望する指導教員について考え始めてください。各コースで開講されている導入科目が2単位ずつ、計6単位修得できているように、計画的に履修しましょう。

第2年次春学期・夏学期

指導教員とコースの選択を具体的に考え始めます。そのための材料として、この学期から、専修プログラムの概論科目が履修可能になります。専門の基礎的なことから学び始め、どの分野の学修をこれから深めていきたいかを検討しましょう。

第2年次秋学期・冬学期

希望する指導教員の届け出を行い、コースを決定します。指導教員希望は受け入れられない場合があります。その場合に、他のどの指導教員を希望するか考えましょう。

希望する指導教員がほぼ決定している段階なので、所属する可能性のあるコースの概論科目を4単位修得しておきましょう。

第3年次春学期・夏学期

指導教員の下で専門の学修に入ります。指導教員が担当する専門演習を本ゼミと呼びます。本ゼミは必ず履修しなければなりません。また、指導教員に相談して、専修プログラムの中の科目の履修を決めます。概論科目や、選択科目の中の講義科目、指導教員以外の専門演習の履修を決めます。

第3年次秋学期・冬学期

引き続き、指導教員の本ゼミを履修します。その他の科目の履修については適宜、指導教員に相談してください。特に専門に関わることは指導教員に相談することを推奨します。

第4年次春学期・夏学期

指導教員の下で卒業論文の執筆または卒業研究の作成に入ります。1年間で卒業論文・卒業研究を仕上げます。今までの学修の集大成と考えて取り組んでください。

卒業に必要な単位が足りているかを確認しておきましょう。

第4年次秋学期・冬学期

引き続き、指導教員の下で卒業論文・卒業研究の執筆・作成を進め、提出します。

卒業に必要な単位が足りているかを履修登録前に十分確認しておきましょう。

履修イメージ

色の区分	標準的な履修年次	履修年次
------	----------	------

		年次	第1年次		第2年次		進級要件 単位数	第3年次		第4年次		卒業所要 単位数
		学期	春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期		春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期	
世界教養プログラム	言語科目	地域言語 A					15※					38
		地域言語 A (ウズベク語)										
		地域言語 C										
		教養外国語										
		GLIP 英語科目										
地域科目	地域基礎					6					6	
	基礎リテラシー					1					1	
教養科目	基礎演習					2					2	
	世界教養科目					8					16	
	スポーツ・身体文化科目										1	
専修プログラム	導入科目	導入科目					4					6
	概論科目	概論科目										10
		講義・専門演習										16
	選択科目	専門演習 (本ゼミ)										4
		卒業論文演習										4
	卒業論文・卒業研究										8	
	関連科目											13

※言語科目の進級要件単位数は「地域言語」によって異なります。

V. 第3・4年次の履修コース

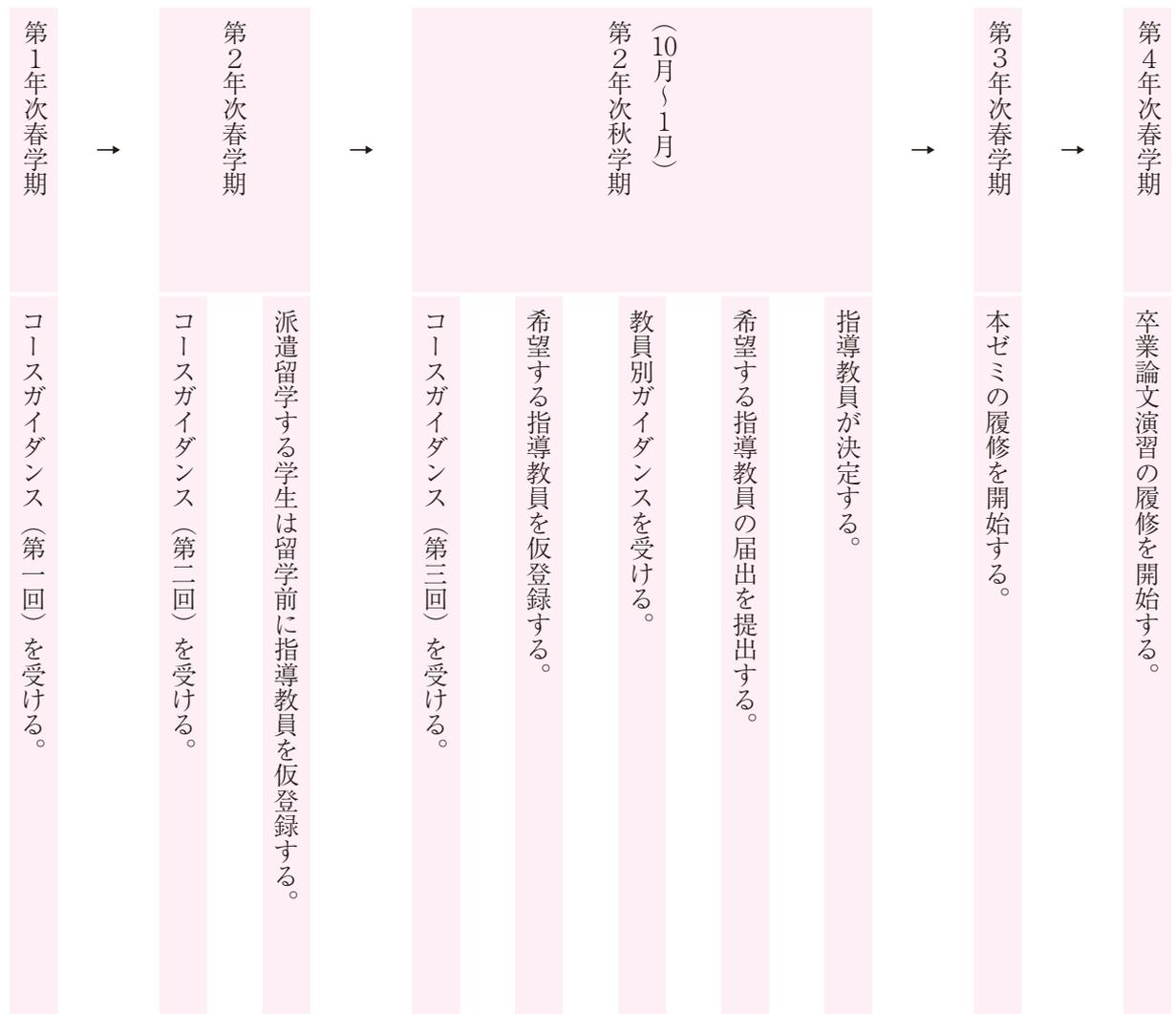
言語文化学部には、人文系の学問分野・方法論に対応した言語・情報コース、グローバルコミュニケーションコース、総合文化コースの3つのコースがあります。

言語・情報コース：言語一般や特定の言語の構造や機能、社会や文化、人間心理などとの関係やコンピューターを用いた言語情報処理などを学ぶコースです。

グローバルコミュニケーションコース：英語や日本語を中心にことばの教育や通訳・翻訳、多言語・多文化社会の問題などを実践的に扱う職業人を養成するコースです。

総合文化コース：世界各地の文学や文化、芸術さらには人間の精神的営みやそれらを扱う上で必要な批評理論を学ぶコースです。

履修コース選択のおおよその流れ



履修コースの決定

希望した指導教員によって所属するコースが決まります。複数のコースから導入科目を4単位以上修得することが、第2年次から第3年次への進級要件となっているので、注意してください。

指導教員と本ゼミ

指導教員とは、卒業論文または卒業研究を執筆・作成するために指導を受ける教員のことです。第3年次には指導教員の専門演習(本ゼミ)、第4年次には卒業論文演習を履修します(ただし特別な事情がある場合には、指導教員が指定する他の専門演習が本ゼミとして認められることもあります)。

指導教員を決めるために、第2年次の10月から11月までの間に教員別のゼミガイダンスが行われます。指導教員は、12月初旬に提出する希望届により決定しますが、仮登録の時点で希望する学生が基準となる人数を超えた場合は、10月～11月中に選抜が行われる場合があります。選抜の具体的な方法については教員別ゼミガイダンスや掲示によって説明されるので、注意してください。また、希望する指導教員の選抜に漏れた場合は、他の教員を指導教員とすることになります（なお、第2年次から第3年次に進級できなかった場合は、翌年度に改めて上記の手続きにより指導教員を届け出なければなりません）。

第3年次春学期からは、指導教員の担当する専門演習（本ゼミ）を履修します。また、第4年次春学期からは卒業論文演習を履修し、指導教員の指導の下で卒業論文・卒業研究を完成させます。

VI. 卒業に必要な単位数

授業科目区分	授業科目	各科目の履修要領	進級要件のある科目(※1)	標準的な履修年次	履修年次	A(日本以外) (※2)	A(JP1) (※2)	A(JP2) (※2)	B(中央アジア) (※2)
世界教養プログラム	地域言語 AI		○	第1年次		10(※3)	10	14	10
	地域言語 AII		○	第2年次		10(※3)	10	10	4
	地域言語 AIII			第3年次～第4年次		8(※3)	—	—	—
	地域言語A (ウズベク語)		○	第2年次		—	—	—	6
	地域言語A (ウズベク語)	P.37～P.45		第3年次		—	—	—	6
	地域言語 AIII				第3年次～第4年次				
	地域言語A (ウズベク語)				第2年次～第4年次				
	地域言語C				第1年次～第4年次	10(※4)	18(※4)	14(※4)	12(※4)
	教養外国語				第1年次～第4年次				
	GLIP 英語科目				第1年次～第4年次				
地域科目	地域基礎	P.42	○	地域(言語)によって異なる		6	6	6	6
教養科目	基礎リテラシー	P.42	○	第1年次春学期	第1年次春学期・第2年次春学期	1	1	1	1
	基礎演習	P.43	○	第1年次秋学期	第1年次秋学期・第2年次秋学期	2	2	2	2
	世界教養科目	P.43～P.44	○		第1年次～第4年次	16	16	16	16
	スポーツ・身体文化科目	P.44～P.45	○		第1年次～第4年次	1	1	1	1
導入科目	導入科目		○	第1年次		6	6	6	
概論科目	概論科目			第2年次		10	10	10	10
	講義・専門演習(※5)	P.45～P.51			第3年次～第4年次	16	16	16	16
	専門演習(本ゼミ)			第3年次	第3年次春学期～第4年次秋学期	4	4	4	4
選択科目	卒業論文演習	P.48～P.50		第4年次		4	4	4	4
	卒業論文・卒業研究			第4年次		8	8	8	8
関連科目(※6)	関連科目	P.47			第1年次～第4年次	13	13	13	13
卒業所要単位						125	125	125	125

- ※1 進級要件のある科目では第2年次終了時までには修得すべき単位数が定められている。「進級要件」(第一部Ⅷ)を参照。
- ※2 学部内の区分に関して、Aは「中央アジア(地域言語Aがロシア語)地域」以外の地域、Bは「中央アジア(地域言語Aがロシア語)」、J1は「地域言語が日本語の日本人学生」、J2は「地域言語が日本語の外国人留学生」を示す。
- ※3 履修方法の詳細は地域言語担当教員の指示に従うこと。地域言語によって、地域言語A I、地域言語A II、地域言語A IIIを合わせて28単位を卒業所要単位としているものがある。
- ※4 詳しくは第二部Ⅱ(1)「言語科目」を参照のこと。
- ※5 選択科目(講義・専門演習)16単位のうち、10単位までは所属コース以外の講義・専門演習も履修することができる。
- ※6 関連科目に含まれる科目:言語科目、世界教養科目、スポーツ・身体文化科目(1単位のみ)、卒業論文・卒業研究および卒業論文演習を除く専修プログラムの科目(他コース、他学部を含む)、他大学(派遣先大学の留学を含む)で修得した科目

Ⅶ. 履修要件と進級要件

各学年で進級する要件として、春学期・夏学期・秋学期・冬学期の全期間をその学年中に在学していることが必要です。進級の時期は4月になります。第1年次から第2年次に進級するときには、言語科目（地域言語A）の履修に指定があります。これを「履修要件」と呼びます。第2年次から第3年次に進級するときには修得科目とそれらの単位数について必要な指定があり、それらを満たさない場合は進級できません。これを「進級要件」と呼びます。第3年次から第4年次に進級するときにはそれに類する指定はありません。

1. 履修要件

言語科目の地域言語Aの中で、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語（J1）では、それぞれ10単位、日本（J2）は14単位を第1年次に修得していないと、第2年次の言語科目を履修することができません。第1年次に履修するように指定されている授業科目は必ず第1年次に履修してください（この点については第二部Ⅱの地域言語Aについての説明を参照してください）。ただし、地域言語A以外の科目については、第2年次から履修可能なあらゆる科目を履修することができます。

2. 進級要件

第2年次末までに、次の科目についてそれぞれの必要単位数を修得していなければなりません。修得していなかった場合は、進級要件を満たさないことになり、第3年次に進級できません。

地域言語 A	15単位	（中央アジア（ロシア語）については地域言語A（ウズベク語）を含む。 日本（J2）については18単位。）
地域基礎	6単位	
基礎リテラシー	1単位	
基礎演習	2単位	
世界教養科目	8単位	
導入科目	4単位	（複数のコースから履修すること）

VIII. 卒業のための手続き

学部を卒業すると学士（言語・地域文化）の学位が授与されます。卒業するためには以下の定められた手続きを行わなければなりません。

なお、卒業に当たっては、就職先、進学先等についての進路決定届けを学生課に提出してください。これは、大学の教育改善の資料として利用するもので、無断でそれ以外の目的には利用しません。

① 3月卒業のための手続き

最終年次の3月に卒業するためには、次の（1）～（3）の手続きを最終年次に行う必要があります。提出の期間と期限は、別冊子（『授業時間割』）で確認してください。

なお、卒業所要単位は最終年次の原則として秋学期までにすべて修得するようにしてください。

（1）卒業所要単位の確認

提出期間	提出先	提出要領
最終年次の4月中旬	教務課	<ul style="list-style-type: none">・卒業所要単位数を満たすために何単位修得する必要があるか学務情報システムで確認してください。・修得単位などに誤りがあった場合は、教務課の窓口申し出てください。

（2）「卒業論文」ではなく「卒業研究」を提出する場合の履修登録

提出期限	提出先	提出要領
最終年次の10月中旬	教務課	卒業研究を提出する学生は、4月の履修登録に加えて「卒業研究履修登録願」を10月の履修登録最終日の16時30分までに提出してください。期限を過ぎて提出された場合は、受け付けられません。

（3）「卒業論文」「卒業研究」の提出

提出期間	提出先	提出要領
最終年次の1月初旬の指定された2日間	「卒業論文」は教務課	指定された提出期間の最終日の16時30分までに教務課に提出してください。期限を過ぎて提出された場合は、受け付けられません。
	「卒業研究」の作品等は指導教員、「概要」は教務課	

② 9月卒業のための手続き

卒業を予定している年度の9月30日の時点で次の2つの条件をいずれも満たしている学生は、9月に卒業することができます。

- ・卒業を予定している9月30日の時点で第4年次を1年間在学した学生
- ・卒業所要単位125単位以上を修得見込の学生

9月卒業を希望する学生は、卒業を希望する年度の4月中旬に教務課に「9月卒業申請書」を提出して申請してください。提出の期間および期限は別冊子『授業時間割』で確認してください。

9月卒業に必要な手続きは、以下のとおりです。なお、第4年次の秋から1年間、協定校へ派遣留学した場合の9月卒業については、次の「③派遣留学生の9月卒業」を参照してください。

(1) 「9月卒業申請書」の提出

提出期間	提出先	提出要領
4月中旬	教務課	「9月卒業申請書」を提出してください。

(2) 「卒業論文」ではなく「卒業研究」を提出する場合の履修登録

提出期限	提出先	提出要領
4月中旬	教務課	卒業研究を提出する学生は、「卒業研究履修登録願」を4月の履修登録期間最終日の16時30分までに提出してください。期限を過ぎて提出された場合は、受け付けられません。

(3) 「卒業論文」「卒業研究」の提出

提出期間	提出先	提出要領
7月上旬の2日間	「卒業論文」は教務課	指定された提出期間の最終日の16時30分までに教務課に提出してください。期限を過ぎて提出された場合は、受け付けられません。
	「卒業研究」の研究成果物は指導教員、「概要」は教務課	

③ 派遣留学生の9月卒業

第4年次の秋から1年間、協定校へ派遣留学し、帰国後の9月に卒業を希望する場合は、以下の手続きを取ってください。派遣留学については、「留学」(第四部I)を参照してください。

(1) 派遣前に行う手続き

- ・第4年次4月中旬までに、指導教員に派遣留学から帰国した年の9月に卒業する意志を伝え、同意を得る。
- ・卒業論文演習、卒業論文(卒業研究)を第4年次の4月に履修登録する。
- ・履修予定の科目に関しては、派遣先大学で提供されるものの中から適切な科目をあらかじめ指導教員と相談したうえで選定し、承認を得る。
- ・卒業までに必要な単位数を確認する。

(2) 派遣留学中に行う手続き

- ・4月の履修登録期間中に、9月卒業申請書を書留で教務課に郵送する。
(発送記録は自己の責任で必ず保管しておくこと。後日確認することもあります。)
- ・卒業に必要な単位を留学中に派遣先の大学で修得する。

(3) 帰国後に行う手続き

- ・ 7月初めまでに帰国し、留学中に修得した単位の認定を申請し、卒業論文演習の継続聴講手続きをとる。
- ・ 上記の単位が認定された場合は、7月上旬に卒業論文または卒業研究を提出する。

(4) 注意

すべての手続きが完了しない場合は、9月卒業はできず、翌年の3月卒業となります。

第二部

履修方法

I. 履修登録手続き

■履修登録とは

大学で開講される授業を履修し単位を修得するためには、履修登録をしなければなりません。履修登録を行わないまま授業に出席し、試験を受験しても、その単位は認定されません。

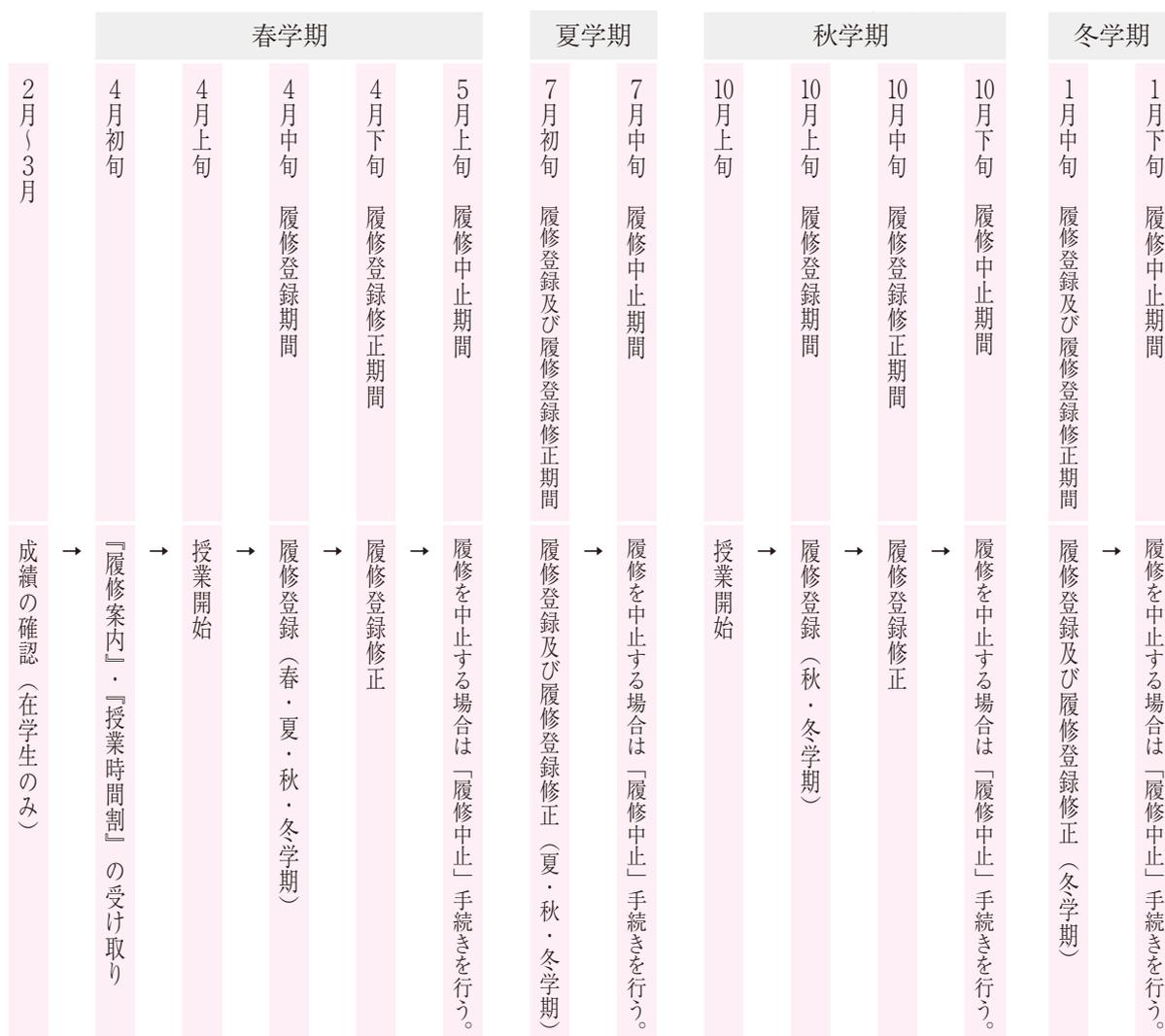
履修登録の手続きは学生個人の責任で行います。たとえ必修の授業であっても自動的に履修登録が行われることはありません。また、履修登録の手続きは学年によって異なることがあります。とくに第4年次学生は「卒業のための手続き」（第一部Ⅷ）もあわせて参照してください。

■開講される授業

開講される授業の概要・計画（これを「シラバス」と言います）、また開講学期・曜日・時限・教室などの情報は、本学ホームページ上にある学務情報システムの「シラバス」から検索・閲覧することができます。また、開講される授業の題目・学期・曜日・時限・教室・時間割コードの一覧は、毎年4月初旬に配布される冊子『授業時間割』にまとめられています。これらを見て、履修する授業を選んでください。

なお、授業時間割に変更があった場合は、学務情報システムに反映されます。

■履修登録のおおよその流れ



- ・履修登録期間、履修登録修正期間、履修中止期間の詳細な日程・時間は『授業時間割』や掲示、または学務情報システムで確認してください。
- ・GLIP 英語科目の一部は履修登録期間前に抽選登録が行われるので掲示に注意してください。

① 履修登録手続き

- ・履修する授業はすべて（春学期・夏学期・秋学期・冬学期とも）、4月の履修登録期間中に登録することができます。履修登録の手続きは、学務情報システムで行います。
- ・登録できる授業科目は、1つの時限について1つです。同じ時限に2つ以上の授業科目を登録しないように注意してください。

■50単位上限ルール

- ・1年間に履修登録をすることができる科目の単位は50単位までという上限があります。これは1単位の修得には教室外での学習も含めて45時間の学習時間を想定していることから設けられているものです。50単位のルールについては以下の点に注意してください。
- ・履修登録した科目の単位は、単位を修得できなかった場合や履修中止した場合も50単位上限ルールの対象になります。
- ・集中講義および他大学で履修する科目も50単位上限ルールの対象になります。ただし、四大学連合憲章による制度には例外があります。
- ・「卒業所要単位に含まれない教職科目」と「第4年次に履修する卒業論文8単位」は50単位上限ルールの対象にはなりません。
- ・第3年次編入学者については、50単位上限ルールは適用されません。年間50単位を超えて履修することができます。

■集中講義

- ・集中講義についても履修登録する必要があります。集中講義とは、学期ごとまたは通年で開講される授業に相当する時間数の授業を一定期間に集中して行う制度です。夏学期または冬学期中に3～6日程度の日程で開講されます。
- ・集中講義の日程は『授業時間割』には掲載されず、履修登録開始前に掲示などによって発表されます。集中講義の期間は短いため、2科目以上履修すると日程が重複することがあります。
- ・冬学期は集中講義期間となり、開講されている授業が限られます。卒業や進級に必要な単位は、該当年次の秋学期までに修得してください。

■夏学期以降に開講される授業

- ・夏学期以降に開講される授業については、当該期の履修登録期間中に、追加登録したり、変更したりすることができます。
- ただし、春学期に履修登録した授業が通年開講のものである場合は、その授業を取り消したり、秋学期の同じ時限に開講される別の授業に変更したりすることはできません。

■復学した学生

- ・復学した場合の履修登録は、「復学」に関する説明（第四部Ⅲ）を参照して行ってください。

■その他の注意

- ・履修登録は、すべての科目を、自身で余裕を持って早めに行ってください。
- ・この『履修案内』、『授業時間割』および「シラバス」の受講上の注意や指示に反して登録した場合は無効になります。
- また、所定の期間に適切に登録手続きをしなかったために生じた不利益については、大学側は一切責任

を負いませんので十分注意してください。

② 履修登録の修正

- ・履修登録内容を修正できる期間の日程は、別に配付する『授業時間割』、掲示で確認してください。
- ・履修登録修正期間を過ぎると、学務情報システムによる登録が停止し、一切修正ができません。この期間までに入力された結果が、最終の履修登録となります。

③ 履修中止

- ・履修登録を済ませた科目であっても、履修中止期間に履修登録を中止することができます。履修中止期間は、別に配付する『授業時間割』や掲示で確認してください。
- ・通年で開講されている科目は、春学期にのみ履修中止をすることができます。
- ・履修中止した科目は、学務情報システム上で確認が可能です。卒業時の成績証明書には記載されず、GPA（第一部Ⅲ 2参照）の対象にもなりません。ただし50単位上限ルールは適用されます。
- ・履修中止した科目は、次学期以降に再び履修登録することが可能です。
- ・集中講義の履修中止は、集中講義開始2日目までに教務課窓口申し出て手続きを行ってください。

■起こりうる履修登録ミス

履修登録では、しばしば同じようなミスが起こります。ミスを避けるためには、履修登録をした後に必ず学務情報システムで確認することが必要です。確認とともに、履修登録確認表を印刷しておいてください。

<履修登録ミスの例>

- ・第3年次への進級要件に必要な科目の履修登録ミス。たとえば、地域基礎科目や導入科目が未登録だった。
- ・4年生（卒業希望者）の卒業論文演習、卒業論文・卒業研究の履修登録忘れ。たとえば、「卒業論文演習」とは別に必要な「卒業論文」が未登録であったり、「卒業論文演習」の春学期分だけを登録しながら、秋学期分を登録し忘れている。
- ・集中講義の履修登録ミス。たとえば、集中講義の履修登録をせずに、集中講義に出席していた。
- ・クラスが指定されている科目の登録ミス。たとえば、基礎リテラシーや基礎演習の履修登録をせずに、授業に出席していた。
- ・履修登録を忘れたまま、あるいは間違った科目を履修登録したまま、授業に出席していた。

Ⅱ. 各授業科目の履修要領

① 世界教養プログラム

「言語科目」、「地域科目」、「教養科目」から構成されています。教養科目はさらに「基礎リテラシー」、「基礎演習」、「世界教養科目」、「スポーツ・身体文化科目」から構成されています。

(1) 言語科目

① 言語科目の種類

「地域言語 (A、C)」、「GLIP 英語科目」、「教養外国語」の3種類があります。

■ 地域言語 (A、C)

地域言語として開講される科目には「地域言語A」と「地域言語C」の2種類があります。地域言語Aは入学時に指定された言語を習得するために設けられた科目であり、必ず履修しなければなりません。地域言語Cは、自分が「地域言語A」としている言語以外の地域言語で、「GLIP英語科目」「教養外国語」に含まれない言語を履修する場合の呼び方です。初めて学ぶ場合、履修開始学期が秋学期からの言語もありますので、注意してください。

地域言語として提供される言語は、「地域言語 A (〇〇語 I)」のようにカッコ書きで言語名が表示されます。〇〇語の部分は該当する言語名 (英語／ドイツ語／フランス語など) に読み替えてください。また、言語名に続くローマ数字はレベルを示すもので、標準的に I は第 1 年次、II は第 2 年次、III は第 3 年次以降に履修することを意味します。

次に説明する地域言語 A (〇〇語 I) を除いて、地域言語 A (〇〇語 II)、地域言語 A (〇〇語 III)、地域言語 C は、すべて学期ごとに開講し、1 単位ごとの認定になります。

地域言語 A (〇〇語 I) は言語により開講形式、履修方法が異なります。次の 2 つのグループに分かれます。

1. 通年で開講し、10単位を一括の形で認定する言語

地域言語 A (英語 I)	地域言語 A (ロシア語 I)
地域言語 A (ドイツ語 I)	地域言語 A (中国語 I)
地域言語 A (フランス語 I)	地域言語 A (朝鮮語 I)
地域言語 A (イタリア語 I)	地域言語 A (アラビア語 I)
地域言語 A (スペイン語 I)	地域言語 A (日本語 I)
地域言語 A (ポルトガル語 I)	

これらの言語では、地域言語 A (〇〇語 I) の 10 単位 (ただし、日本 (J2) の場合は 14 単位) が修得できなかった場合、地域言語 A (〇〇語 II) の履修に進むことはできません。地域言語 A (〇〇語 II) と (〇〇語 III) の履修方法の詳細については、所属する地域 (言語) の教員の指示に従ってください。

2. 半期ごとに開講し、1単位ごとに認定する言語

地域言語 A (ポーランド語 I)	地域言語 A (ベトナム語 I)
地域言語 A (チェコ語 I)	地域言語 A (カンボジア語 I)
地域言語 A (ウズベク語)	地域言語 A (ビルマ語 I)
地域言語 A (モンゴル語 I)	地域言語 A (ウルドゥー語 I)
地域言語 A (インドネシア語 I)	地域言語 A (ヒンディー語 I)
地域言語 A (マレーシア語 I)	地域言語 A (ベンガル語 I)
地域言語 A (フィリピン語 I)	地域言語 A (ペルシア語 I)
地域言語 A (タイ語 I)	地域言語 A (トルコ語 I)
地域言語 A (ラオス語 I)	

これらの言語では、地域言語 A (〇〇語 I) の単位すべてを修得していなくても、地域言語 A (〇〇語 II および III) の履修に進むことが可能です。履修方法の詳細については、所属する地域 (言語) の教員の指示に従ってください。

3. 渡日前選抜により入学した日本語日本地域留学生プログラムの科目は別に配付する『履修案内』英文冊子を参照してください。

■ GLIP 英語科目

GLIP 英語科目は、英語の運用能力を高めることを目的とした科目で、「英語 A (Interactive English)」、
「英語 B (Academic English)」、「英語 C (Career English)」の 3 段階の科目群からなります。

[英語 A] Interactive English : 少人数で授業を行い、高校レベルの英語から大学レベルの英語へのステップアップを目的とします。Production と Reception の科目があり、授業は、原則として英語で行なわれます。

原則として、各学期、Production と Reception の科目を 1 つずつ履修します。修得できる単位は Production 2 単位、Reception 2 単位の計 4 単位までです。第 1 年次から履修が可能で、春学期・秋学期連続して同じクラスを受講します。

[英語 B] Academic English : 大学レベルで通用する英語運用能力を養うための授業で、言語技能を磨く Skill-based、英語で専門分野を学ぶ素地を作る Theme-based、そして Technical Writing の授業が用意されています。第 2 年次から履修可能です。

[英語 C] Career English : ビジネスの最前線で活躍するための実践的な英語力を養うことを目的とし、Task-based と Project-based の 2 種類の授業が用意されています。第 3 年次以上の学生を対象として開講します。

さらに、英語の 4 技能を集中的に訓練するための「英語 A/B (Intensive English)」や「英語 A (English Immersion Camp)」も用意されています。これから留学を予定している学生や留学から帰国した学生、短期間で集中的に英語学習を進めたい学生がそれぞれの目的に応じて履修することが可能です。

詳細は、別冊子の『GLIP 履修ガイド』を参照してください。

■教養外国語

英語以外の言語についても、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語は、地域言語Aとして履修できない学生でも教養外国語として履修することができます。

いずれの言語においても以下のようにレベル別の授業が提供されています。○○語の部分は該当する言語名（ドイツ語／フランス語／イタリア語など）に読み替えてください。

教養外国語（○○語 A1～4）：初級レベル

教養外国語（○○語 B1～4）：中・上級レベル

地域言語Aとして指定されている言語および母語を教養外国語として履修することはできません。『授業時間割』等に言語毎のルールに記載がありますので確認してください。

②最低修得単位数

言語文化学部では、いずれの地域（言語）に所属する学生も、卒業のために履修しなければならない言語科目の最低修得単位数は38単位です。最低修得単位数は、必修単位数と選択必修単位数の合計です。ただし、その内訳は地域（言語）によって異なります。なお、38単位を超えて修得した言語科目の単位は、関連科目として卒業所要単位に含めることができます。

言語科目の履修要領

■中央アジア、日本を除く地域（言語）を専攻する学生の場合

中央アジア、日本を除く地域（言語）の学生は、地域言語 A を最低28単位、GLIP 英語科目または教養外国語のうちいずれか1つの言語を最低6単位含むかたちで38単位を修得する必要があります。

ただし、地域言語 A として、英語を指定されている学生は、GLIP 英語科目をこの必修6単位とすることはできません。

選択必修単位は、必修単位のために履修した科目以外で、地域言語A、地域言語C、GLIP英語科目、教養外国語科目の中から任意の科目を履修し修得することができます。科目の内訳は問いません。

1) 英語を「地域言語 A」とする学生

授業科目名	履修年次	必修単位数	選択必修単位数
地域言語 A (英語 I)	第1年次	10	
地域言語 A (英語 II)	第2年次	10	
地域言語 A (英語 III)	第3年次以降	8	+ 4
地域言語 C	第1年次～第4年次		
GLIP 英語科目	第1年次～第4年次		
教養外国語	第1年次～第4年次	6	

2) ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語（ロシア地域）、中国語、朝鮮語、アラビア語を「地域言語 A」とする学生

授業科目名	履修年次	必修単位数	選択必修単位数
地域言語 A (○○語 I)	第1年次	10	
地域言語 A (○○語 II)	第2年次	10	
地域言語 A (○○語 III)	第3年次以降	8	+ 4
地域言語 C	第1年次～第4年次		
GLIP 英語科目	第1年次～第4年次	6	
教養外国語	第1年次～第4年次		

2) 上記以外の言語を「地域言語 A」とする学生

授業科目名	履修年次	必修単位数	選択必修単位数
地域言語 A (〇〇語 I)	第 1 年次	28	
地域言語 A (〇〇語 II)	第 2 年次		
地域言語 A (〇〇語 III)	第 3 年次以降		
地域言語 C	第 1 年次～第 4 年次	6	+ 4
GLIP 英語科目	第 1 年次～第 4 年次		
教養外国語	第 1 年次～第 4 年次		

■中央アジア（ロシア語）の場合

地域言語 A（ロシア語）を最低14単位、地域言語 A（ウズベク語）を最低12単位含むかたちで38単位を修得する必要があります。

選択必修単位は、必修単位のために履修した科目以外で、地域言語 A、地域言語C、GLIP 英語科目、教養外国語の科目の中から任意の科目を履修し修得することができます。科目の内訳は問いません。

授業科目名	履修年次	必修単位数	選択必修単位数
地域言語 A (ロシア語 I)	第 1 年次	10	+ 12
地域言語 A (ロシア語 II)	第 2 年次	4	
地域言語 A (ロシア語 III)	第 3 年次以降		
地域言語 A (ウズベク語)	第 2 年次以降	12	
地域言語 C	第 1 年次～第 4 年次		
GLIP 英語科目	第 1 年次～第 4 年次		
教養外国語	第 1 年次～第 4 年次		

■日本（JP1）の場合

地域言語 A（日本語）を最低20単位、GLIP 英語科目または教養外国語のうちいずれか1つの言語を最低6単位含むかたちで38単位を修得する必要があります。

選択必修単位は、必修単位のために履修した科目以外で、地域言語C、GLIP英語科目、教養外国語の科目の中から任意の科目を履修し修得することができます。科目の内訳は問いません。

授業科目名	履修年次	必修単位数	選択必修単位数
地域言語 A (日本語 I)	第 1 年次	10	+ 12
地域言語 A (日本語 II)	第 2 年次	10	
地域言語 C	第 1 年次～第 4 年次	6	
GLIP 英語科目	第 1 年次～第 4 年次		
教養外国語	第 1 年次～第 4 年次		

■日本（JP2）の場合

地域言語 A（日本語）を最低24単位、GLIP 英語科目または教養外国語のうちいずれか1つの言語を最低6単位含むかたちで38単位を修得する必要があります。

選択必修単位は、必修単位のために履修した科目以外で、地域言語C、GLIP英語科目、教養外国語の科目の中から任意の科目を履修し修得することができます。科目の内訳は問いません。ただし、自分の母語以外の言語を選んでください。

授業科目名	履修年次	必修単位数	選択必修単位数
地域言語 A (日本語 I)	第 1 年次	14	
地域言語 A (日本語 II)	第 2 年次	10	
地域言語 C	第 1 年次～第 4 年次		+8
GLIP 英語科目	第 1 年次～第 4 年次	6	
教養外国語	第 1 年次～第 4 年次		

■日本 (JP3) の場合

別に配付する英文冊子を参照してください。

③履修上の注意

■地域言語 (A、C)

- ・入学時に指定された言語以外の言語を、地域言語 A として履修することはできません。
- ・地域言語 A で履修する言語と同じ言語を、教養外国語として履修することはできません。
- ・地域言語 A は、第 3 年次への進級要件に含まれます。詳しくは「進級要件」(第一部Ⅶ)を参照してください。
- ・地域言語 C は自分の母語以外の言語を選んでください。

■ GLIP 英語科目および教養外国語 (GLIP 英語科目の詳細は別冊子の『GLIP 履修ガイド』を参照してください。)

中央アジア (ロシア語) に所属する学生を除いて、GLIP 英語科目または教養外国語からひとつの言語を選んで最低 6 単位を修得しなければなりません。

授業科目	履修年次	必修単位数
GLIP 英語科目	第 1 年次～第 4 年次	6
教養外国語	第 1 年次～第 4 年次	

- ・教養外国語として開設されている言語はドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語です。いずれも A (初級レベル) と B (中級レベル) の二つのレベルが設定されています。中級レベル (〇〇語 B) 以上の授業科目が少なくとも 2 単位含まれていれば、どのようなレベルの組み合わせでも履修することができます。ただし、初めて学ぶ言語の場合は A、B の同時履修は好ましくありません。履修方法の詳細についてはそれぞれの言語の担当教員の指示にしたがってください。

履修例：ドイツ語 A 4 単位、ドイツ語 B 2 単位、
フランス語 A 3 単位、フランス語 B 3 単位、
イタリア語 A 2 単位、イタリア語 B 4 単位

- ・GLIP 英語科目を英語・教養外国語の必修 6 単位として履修する場合は、英語 A を 4 単位、英語 B を 2 単位履修する必要があります。
- ・英語 A のうち Interactive English は TOEIC-IP のスコアによってクラスが指定され、英語 B、英語 C は抽選によって希望順にクラスが決まります。
- ・教養外国語を英語・教養外国語の必修 6 単位として履修し、GLIP 英語科目を選択必修科目あるいは関連科目として履修することができます。英語 A のうち Interactive English を選択必修科目あるいは関連科目として履修する場合は、TOEIC-IP のスコアによって指定されたクラスを履修することになります。英語 B、英語 C を選択必修科目あるいは関連科目として履修する場合は、『GLIP

履修ガイド』を参照してください。

- ・地域言語 A が英語の学生は、教養外国語をかならず6単位修得しなければなりません。選択必修科目として、GLIP英語科目を履修することができます。
- ・自分の母語以外の言語を選んでください。

(2) 地域科目

「地域基礎 1 A」、「地域基礎 1 B」、「地域基礎 2 A」、「地域基礎 2 B」の4つの区分があります。アラビア数字の1は広域的な内容を扱う授業、2は個別の地域に関わる内容を扱う授業であることを示します。また、Aは標準的に1年次で、Bは2年次で履修することを意味します。

『授業時間割』の地域基礎についての説明ならびに所属する地域の教員の指示に従って履修してください。

①卒業に必要な単位数

授業科目名	履修年次	必修単位数
地域基礎 1 A	第1年次～第2年次	6
地域基礎 1 B	第2年次	
地域基礎 2 A	第1年次～第2年次	
地域基礎 2 B	第2年次	

②履修上の注意

- ・地域基礎は第3年次への進級要件に含まれます。詳しくは「進級要件」(第一部Ⅶ)を参照してください。
- ・必修単位数を超えて修得した地域基礎は、受講指定された授業以外も含め、関連科目として卒業所要単位に含めることができます。

(3) 教養科目

教養科目は「基礎リテラシー」、「基礎演習」、「世界教養科目」、「スポーツ・身体文化科目」の4種類から構成されています。

■基礎リテラシー

第1年次春学期前半に開講される必修科目(8週、1単位)です。学部ごとの2クラスでの開講を原則としますが、4クラスで開講される週もあります。第1週目の授業時に受講方法・内容について説明するので、必ず出席してください。

①最低修得単位数

授業科目	履修年次	必修単位数
基礎リテラシー	第1年次(春学期)	1

②履修上の注意

比較的規模が大きな単位で行われる形式の授業です。大学生として必要な良識と発想と技能を身につける、もっとも基本的な授業です。授業の進行とともに、所属学部ごとに違う課題を違った形式で受講するように指定される回もありますから、注意が必要です。なお、基礎リテラシーは第3年次への進級要件に含まれます。詳しくは「進級要件」(第一部Ⅶ)を参照してください。

■基礎演習

上記の基礎リテラシーをすでに履修していることを前提にして設計されている授業です。第1年次秋学期に開講される必修科目です。自分に割り振られた授業を履修登録し、受講します。

①最低修得単位数

授業科目	履修年次	必修単位数
基礎演習	第1年次（秋学期）	2

②履修上の注意

20人余の規模の演習形式で行なわれます。学術的な資料の扱い方、論文の読み方、演習での討議の作法、議論の進め方、さらには実際的な学術レポートの製作術など、大学で本格的に授業を受けていくために欠かせない前提を学びます。学期中に課題として実際にレポートを執筆し、それに対して担当教員の添削と講評を受けることとなりますから、指定される課題の提出期限や提出方法についても注意が必要です。なお、基礎演習は第3年次への進級要件に含まれます。詳しくは「進級要件」(第一部Ⅶ)を参照してください。

■世界教養科目

世界教養科目は、「現代を生きる」、「地球社会と生きる」、「人生を拓く」、「知と文化に挑む」、「世界から日本を見る」、「現地で学ぶ」の合計6つの授業科目区分に分かれ、それぞれの中から所定の必修単位数分を履修し、合計16単位を修得する必要があります。なお、16単位を超えて修得した世界教養科目の単位は、関連科目として卒業所要単位に含めることができます。

①最低修得単位数

世界教養科目に関する科目区分および科目名と必修単位数は以下のとおりです。

授業科目区分		授業科目名	選択必修単位数	
ア	現代を生きる	くらしと社会制度	4 単位以上	16単位 ただし、 アから4単位、 イから6単位、 ウから2単位を 必ず含めること
		くらしと健康		
		憲法を読み解く		
		協働基礎ゼミ		
	地球社会と生きる	地球社会と共生		
	人生を拓く	キャリア・デザイン論		
イ	知と文化に挑む	ことばの不思議	6 単位以上	
		ことばとコミュニケーション		
		文化のおもしろさ		
		世界の文化		
		国際社会をひもとく		
		地域の視点から		
		人間と環境		
		こころの科学		
	世界のことば			
ウ	世界から日本を見る	世界の中の日本	2 単位以上	
エ	現地で学ぶ	短期海外留学	任意で履修	
		スタディツアー		
		就業体験		

②履修方法

- ア 授業科目区分「現代を生きる」(授業科目名「くらしと社会制度」、「くらしと健康」、「憲法を読み解く」、「協働基礎ゼミ」)、「地球社会と生きる」(授業科目名「地球社会と共生」)および「人生を拓く」(授業科目名「キャリア・デザイン論」)の授業の中から最低4単位を修得する必要があります。
- イ 授業科目区分「知と文化に挑む」(授業科目名「ことばの不思議」、「ことばとコミュニケーション」、「文化のおもしろさ」、「世界の文化」、「国際社会をひもとく」、「地域の視点から」、「人間と環境」、「このころの科学」、「世界のことば」)の授業の中から最低6単位を修得する必要があります。
- ウ 授業科目区分「世界から日本を見る」(授業科目名「世界の中の日本」)の授業の中から最低2単位を修得する必要があります。
- エ 授業科目区分「現地で学ぶ」(授業科目名「短期海外留学／スタディツアー／就業体験」)の授業の中から履修します。履修は任意です。

③履修上の注意

- ・授業によっては履修年次が限定されていますので、「シラバス」を見て、それぞれの担当教員の指示にしたがって履修してください。
- ・世界教養科目は第3年次への進級要件に含まれます。詳しくは「進級要件」(第一部Ⅶ)を参照してください。
- ・世界教養科目のなかには、英語で開講される「教養 GLIP 科目」と呼ばれる授業があります。これらの科目の履修方法は、日本語で開講される世界教養科目と同じですが、「グローバル人材育成言語教育プログラム (GLIP)」に位置づけられ、留学準備のためなどに推奨される授業です。詳しくは、別冊子の『GLIP 履修ガイド』を参照してください。

■スポーツ・身体文化科目

スポーツ・身体文化科目は1単位を修得する必要があります。なお、最低修得単位数を超えて修得したスポーツ・身体文化科目の単位は、1単位に限り関連科目として卒業所要単位に含めることができます。また、教育職員免許状の取得にあたっては2単位が必要です。

なお、2単位を超えて修得した単位は、単位数および成績は成績証明書に記載されますが、卒業所要単位に含めることはできません。

①最低修得単位数

授業科目	履修年次	必修単位数
スポーツ・身体文化科目	第1年次～第4年次	1

②履修方法

- ・単位は、春学期・秋学期(1単位)または夏学期・冬学期(1単位)で修得できます。
 - ア 春学期・秋学期(1単位)
 - イ 夏学期・冬学期(1単位)
- ・スポーツ・身体文化科目の単位は、第1年次春学期に修得することを推奨します。

③履修上の注意(種目の選択と決定について)

- ・種目決定日に欠席した場合は、希望する種目を選択できないことがあるので、かならず下記の種目決定日に出席してください。

- ・各種目とも、定員を超えた場合は、抽選等により受講を許可する学生を決定します。
- ・種目が決定した後は、特別な理由がある場合を除き、決定した種目を変更することはできません。

ア 春学期・秋学期

- ・開講種目については、『授業時間割』と「シラバス」を参照してください。
- ・春学期の種目決定は、4月の授業開始第1週に行います。
- ・秋学期の種目決定は、10月の授業開始第1週に行います。
- ・各学期の種目選択の日時・場所は掲示します。
- ・第1年次の地域言語Aの曜日や時限に重なる授業は選択できません。

イ 夏学期・冬学期（学内および学外）

- ・開講種目については、『授業時間割』と「シラバス」を参照してください。
- ・種目の決定は、春学期の授業開始第2週に行います。
- ・種目選択の日時・場所は掲示します。
- ・学外で開講する種目は宿泊費や交通費が必要です。場所・日程等を十分に検討したうえで履修してください。

② 専修プログラムと関連科目、卒業論文・卒業研究

専修プログラムは、第1年次の導入科目から履修を進め、第4年次の卒業論文・卒業研究によって完結する学部独自のプログラムです。専修プログラムは3つのコース（言語・情報コース、グローバルコミュニケーションコース、総合文化コース）が提供します。

（1）専修プログラム

専修プログラムは、導入科目から概論科目へ、概論科目から選択科目へと、順次レベルを上げながら履修するよう体系が組まれています。

①履修方法

導入科目：各コースのものを2単位ずつ、合計6単位履修しなければなりません。第1年次春学期と秋学期に履修するのが標準的です。3つのコースの内容をひととおり知ったうえで、第2年次以降に進学するコースを選択することになります。

概論科目：第2年次春学期から卒業するまでのあいだに10単位履修しなければなりません。その際、以下の2つの条件を両方とも満たす必要があります。

- ・言語・情報コースで開講される「言語学概論A」「言語学概論B」「音声学概論A」「音声学概論B」、グローバルコミュニケーションコースで開講される「言語教育学概論A」「言語教育学概論B」、総合文化コースで開講される「文化・文学概論A」「文化・文学概論B」「思想文化概論A」「思想文化概論B」の中から6単位を含むこと。
- ・上記6単位を含めた10単位のうちの4単位以上を、第3年次以降に進むコースの概論科目から履修すること。

選択科目：導入科目と概論科目以外の専修プログラムの科目を、第3年次以降、全部で32単位修得する必要があります。第3年次の専門演習（本ゼミ）4単位、最終年次の卒業論文演習4単位、卒業論文・卒業研究8単位のほか、講義または専門演習を16単位修得します。その16単位のうち10単位までは所属コース以外の講義や専門演習を含めて履修することができます。第3年次の専門演習（本ゼミ）と最終年次の卒業論文演習は、原則として同じ指導教員が担当す

る授業でなくてはなりません（ただし、特別な事情がある場合はこの限りではありません）。
なお、卒業論文・卒業研究については「(3) 卒業論文または卒業研究」（後述）を参照してください。

②履修上の注意

- ・卒業所要単位数として認定された6単位を超えて修得した導入科目は、関連科目として認定されます。
- ・卒業所要単位数として認定された10単位を超えて修得した概論科目は、関連科目として認定されます。
- ・「専門演習（本ゼミ）」は、第2年次秋学期に決定される指導教員が担当するものを4単位履修しなければなりません。原則として、卒業論文演習を履修する前の年度までに（通常は第3年次に）修得します。
- ・「卒業論文演習」は、指導教員が担当するものを4単位履修しなければなりません。履修は卒業論文を執筆する年度に行います。提出した卒業論文が不合格となった場合、当該年度の卒業論文演習の単位は認定されません。
- ・卒業論文を執筆する年度には、「卒業論文演習」のほか、「卒業論文」も履修登録する必要があります。
- ・指導教員以外の専門演習も選択科目として履修することができます。
- ・卒業所要単位数として認定された32単位を超えて修得した選択科目は、関連科目として認定されます。

一般的な注意

- ・専修プログラムの科目は、指導教員と相談のうえ、選択することを推奨します。「専門演習（本ゼミ）」「卒業論文演習」以外の選択科目についてはもちろんのこと、概論科目の履修についても、できる限り助言を得るようにしてください。
- ・受講上の条件が付されている授業もあるので、履修に際しては、「シラバス」の「受講上の注意」をよく読んでください。
- ・専修プログラムの講義科目の中には、英語で開講される「専修GLIP科目」と呼ばれる授業があります。これらの科目の履修方法は、日本語で開講される専修科目と同じですが、「グローバル人材育成言語教育プログラム（GLIP）」に位置づけられ、留学準備のためなどに推奨される授業です。詳しくは別冊子の『GLIP 履修ガイド』を参照してください。

専修プログラムの履修年次と卒業に必要な履修単位数をまとめると、次のようになります。

科目区分	授業科目	標準的な履修年次	履修年次	単位数	説明
導入科目	導入科目	第1年次	第1年次～第4年次	6	各コースの導入科目を2単位ずつ履修（複数のコースから履修した4単位が進級要件）
概論科目	概論科目	第2年次	第2年次～第4年次	10	指定された概論科目および選択コースが開講している概論科目の中から履修
選択科目	講義・専門演習	第3年次	第3年次～第4年次	16	このうち10単位までは所属コース以外の講義・専門演習も履修できる
	専門演習（本ゼミ）	第3年次	第3年次～第4年次	4	指導教員が担当するものを履修
	卒業論文演習	第4年次	最終年次	4	
	卒業論文・卒業研究	第4年次	最終年次	8	後述

(2) 関連科目

世界教養プログラムと専修プログラム（一部除外）で卒業所要単位数を超えて修得した場合、合計13単位まで「関連科目」として認定されます。また他学部、他コースの専修プログラムの中の科目（卒業論文・卒業研究および卒業論文演習を除く）や他大学（派遣留学先の大学を含む）で修得した単位も「関連科目」として数えることができます。

①履修方法

関連科目として履修できるのは具体的には以下の科目です。

- ・卒業所要単位を超えて修得した、言語科目（ただし再履修可能科目を除く）、地域科目、世界教養科目、スポーツ・身体文化科目。ただしスポーツ・身体文化科目の場合、認められるのは1単位のみです。
- ・卒業所要単位を超えて修得した、卒業論文・卒業研究および卒業論文演習を除く専修プログラムの中の科目
- ・国際社会学部の専修プログラムの中の科目（卒業論文・卒業研究および卒業論文演習を除く）
- ・他大学（派遣留学先の大学を含む）で修得した科目

科目区分	履修年次	必修単位数
関連科目	第1年次～第4年次	13

②履修上の注意

- ・卒業論文・卒業研究および卒業論文演習は対象となりません。

(3) 卒業論文または卒業研究

卒業論文演習は、原則として指導教員が担当する授業を履修し、その教員の指導のもとで卒業論文を執筆、または卒業研究を作成します。

論文という形式で提出するものを「卒業論文」、作品等を提出する場合は「卒業研究」と呼びます。いずれを選択するかは、指導教員と相談して決めてください。

卒業論文の執筆または卒業研究の作成のために必要となる専修プログラムの講義科目・専門演習の履修については、指導教員から指導を受けてください。指導教員から履修するよう指導された講義科目や専門演習の単位を第3年次で修得できなかった場合は、指導教員に相談してください

①履修方法

- ・指導教員が担当する「卒業論文演習」（第4年次春学期・秋学期各2単位）と、「卒業論文」または「卒業研究」（いずれも8単位）をあわせて履修してください。
- ・卒業研究を作成する場合も、4月の履修登録時には「卒業論文演習」を登録して履修してください。そのうえで10月の履修登録期間中に教務課に「卒業研究履修登録願」を提出してください。
- ・9月卒業を希望する学生は、4月の履修登録期間中に指導教員の「卒業論文演習」（2単位）、「卒業論文」（8単位）、指導教員が指定した自コースの選択科目（2単位）を登録してください。そのうえで、4月の履修登録期間中に教務課へ「9月卒業申請書」を提出してください。9月卒業希望で卒業研究を提出する場合は、教務課に「卒業研究履修登録願」を提出してください。
- ・卒業までの手続きは「卒業のための手続き」（第一部Ⅷ）も参照してください。

科目区分	履修年次	必修単位数
卒業論文演習	第4年次	4
卒業論文または卒業研究	第4年次	8

②履修上の注意

- ・卒業論文演習の単位数は、春学期・秋学期に2単位ずつ分割して登録（時間割コードは別）します。ただし成績評価は、卒業論文または卒業研究を提出した学年末に、合計4単位として認定されます。
- ・卒業論文または卒業研究の単位が認定されない場合には、卒業論文演習の4単位はすべて無効となります。
- ・卒業論文演習の単位は関連科目として複数履修することはできません。
- ・留学などの理由で休学していた学生が10月1日までに復学し、3月に卒業する場合、または9月卒業を認められた場合には、卒業論文演習の単位は1学期分を2単位として認定します。
なお、この場合は、指導教員が指定した自コースの選択科目（留学で履修した授業で単位認定を受けたものを含む）の単位を修得し、これを不足する残り2単位に振り替えることで、卒業論文演習として必要とされる4単位を充足されることとしています。この場合は所定の用紙に指導教員が指定した科目を記入し、押印してもらったうえ、履修登録期間中に教務課に提出してください。
- ・指導教員の都合により、卒業論文演習が半期しか開講されない場合については、指導教員に相談してください。所定の手続きを経て、別の指導教員の指導を受けることになります。

③ 「卒業論文」または「卒業研究」の提出形式

卒業論文

- ・日本語または外国語で A4判用紙に執筆してください。
- ・書式、字数等の規定はありません。指導教員の指示に従ってください。
- ・作成した論文は簡易製本し、教務課で配付する「卒業論文・研究届」の用紙を添付して提出してください。

卒業研究

- ・「作品」等のほかに、文書による「概要」（タイトル、要旨、方法などを記したもの）を提出してください。
- ・「概要」は、日本語または外国語で執筆し、A4判用紙を使用してください。
- ・提出形式は、指導教員の指示に従ってください。
- ・「作品」等は、指導教員に直接提出してください。
- ・「概要」は、教務課で配付する所定の用紙を表紙にしてください。なお、表紙の所定欄に指導教員の作品等受領確認印を受けたうえ、提出期間内に教務課へ提出してください。

④ 「卒業論文」または「卒業研究」の提出期間

- ・提出期間と期限は別途配付する『授業時間割』で確認してください。提出期間・時間以外には受け付けられないので十分に注意してください。

3月卒業の場合

受け付け期限	提出先	提出要領
最終年次の1月初旬の 指定された2日間	「卒業論文」は教務課	指定された提出期間の最終日の16時30分までに教務課に提出してください。期限を過ぎて提出された場合は、受け付けられません。
	「卒業研究」の研究成果物は指導教員、「概要」は教務課	

9月卒業の場合

受け付け期限	提出先	提出要領
7月上旬の指定された 2日間	「卒業論文」は教務課	指定された提出期間の最終日の16時30分までに教務課に提出してください。期限を過ぎて提出された場合は、受け付けられません。
	「卒業研究」の研究成果物は指導教員、「概要」は教務課	

⑤ 指定期間外の提出が特別に認められる場合

- ・病気、あるいは事故等やむをえない理由で提出期間内に提出できない（できそうにない）場合は、指導教員と教務課に速やかに連絡してください。
- ・「卒業論文受理願」および遅延理由に関する公的証明書（診断書、事故証明書等）を添付し、提出してください。公的証明書が無いものは受理できません。

⑥ その他の注意

- ・卒業論文または卒業研究の郵送による提出はいっさい認めません。
- ・卒業論文または卒業研究に合格した学生が、それ以外の「卒業要件」を満たさなかった場合、「卒業論文演習」と「卒業論文」、「卒業研究」の修得単位は、翌年度に限り有効とします。ただし、翌年度1年間休学した場合は、無効になります。
- ・いったん提出された卒業論文および卒業研究の作品等は返却しません。また、提出後の閲覧または

複写などの問い合わせには応じません。必ず、提出前に各自でコピー等により、保存しておくようにしてください。

③ 学期末試験

(1) 学期末試験とは

授業担当教員の指示により実施される試験です。

(2) 受験上の注意

- ・全ての試験の答案用紙およびレポートには、学部・学籍番号・学年(クラス)・氏名・履修コード・授業科目・授業題目を記入してください。
- ・受験者は、原則として1人おきに着席し、机の右上に必ず「学生証」を提示してください。
- ・試験開始後、30分以内は退出できません。
- ・試験開始後、30分以内の遅刻者は、試験監督者の入室許可を得て受験することができます。
- ・答案は、解答の有無にかかわらず、署名のうえ、提出してください。
- ・その他、試験中は、すべて試験監督者等の指示に従ってください。

(3) やむを得ず試験を欠席した場合

以下に該当した場合には、追試験等を受けられることもあります。教務課で公欠届または欠席事由届を受け取り、授業担当教員に提出してください。

- (1) 『東京外国語大学大学院・学士課程における授業の欠席の取扱いに関する申合せ』(P.13参照) 第3条もしくは第4条に該当する場合
- (2) 単位互換協定により、派遣されている大学の試験と本学の試験が重複した場合は、派遣先大学の授業科目の履修を証明するもの

(4) 不正行為

不正行為をした学生には、同一学期、もしくはその年度に受講した全ての科目の成績を不合格とするなどの措置がとられるほか、学則に基づき懲戒されます。

④ 論文・レポートを執筆する際に注意すべきこと

論文・レポートを執筆する際には、必ず守らなければならないルールがあります。自ら考え、調査して得た結論を、正確な事実と情報に基づいて発信していくことで、そのレポートや論文の信頼性が担保され、学術的意義も高まります。ところが、他人の書いた文章や論文を、自分が考え調査したかのようにして記すと、故意でなかったとしても、その学術的意義が損なわれ、社会的にも道義的責任を追求されることとなります。

そこで、本学の学生の皆さんには、レポートや論文を執筆する際のルールをきちんと身につけていただきたいと思い、注意すべきポイントをまとめましたので、十分配慮してください。

1. 誰もが共有していると思われる情報（例えば「ブルネイ・ダルサラーム国の首都はバンダリブガワンである」といった情報）を除き、引用・データ・アイデア・文・表現などの情報源を必ず明記しなければなりません。文献・資料については、著者名、書名もしくは論文名、出版社名もしくは掲載雑誌名、掲載頁、（必要に応じて行）を必ず明記すること。

<書誌情報の記載方法は文化や分野により異なります。具体的には授業・ゼミ担当教員の指示に従ってください。書誌情報一般については、本学図書館のサイトを参照してください。

<http://www.tufs.ac.jp/library/guide/literacy/2005/2-6-6.htm>>

Web上の情報であれば、URL及び参照した年月日を明記すること。ただし、そのWeb上の情報に出典・情報源などの学術的根拠が明示されていない場合は、その情報自体が学術的価値を欠いているものですから、参照すべきではありません。

2. 他人の意見・見解、あるいはデータを引用する際には、出典を明示した上で忠実に引用し、勝手に変更を加えてはいけません。出典を明示せずに、自分の考えのように記すことは剽窃行為であり、ルール違反です。また、外国語のテキストから自分で翻訳して引用する場合も、自分が翻訳したことを必ず明示し、必要に応じて原文も併せて引用することが望まれます。引用部分の提示の仕方については、ゼミ教員などの指示に従ってください。

以上のようなルールを逸脱すると、剽窃・盗用・改竄などの不正行為と見なされ、本学の学則・規程に徴して処罰の対象となりますので十分注意してください。

⑤ 履修コースの変更等

第3年次以降で、正当な理由がある場合は、コース変更と指導教員変更が認められます。

いずれの場合も指導教員とよく相談のうえ、以下の手続きを行ってください。

・第3年次の場合

その時点までの成績証明書と理由書を添えたコース変更願を教務課に提出してください。旧指導教員と新指導教員の了解が得られていることが必要です。原則として旧コースで修得した本ゼミの単位はそのまま卒業要件の本ゼミの単位とすることができます。ただし、新指導教員から履修指導がある場合は、それに従ってください。選択科目の単位は、変更後のコースに基づいて計算し直すことになるので、注意してください。

- ・コース変更を伴わない指導教員の変更

指導教員をやむを得ず変更する必要がある場合は、速やかに所定の用紙で教務課に申請してください。旧指導教員と新指導教員の了解が得られていることが必要です。

学部の変更

国際社会学部への転学部は、第2年次から第3年次に進級する段階で認められることがあります。転学部願については慎重な審査を行い、可否については、所定の手続きにしたがって連絡します。転学部の許可が出なかった場合は、選択コースと指導教員は元のままです。転学部手続きと申請期日の詳細については、本部管理棟1階の教務課前の掲示板または学務情報システムでお知らせしますから、確認してください。

大学院博士前期課程先取り履修制度

所定の手続きを経て、特別に認められた学生は、第4年次に本学大学院博士前期課程の授業を10単位を上限に、先取りして履修することができます。これにより、本学大学院入学後に在学期間短縮を申請して許可されれば、残りの単位を1年間で修得し、修士論文を提出のうえ、5年間で修士号を取得することも可能です。

ただし、大学院入学後の専攻によっては先取り履修科目のすべてが大学院科目として認定されるとは限りません。また、入学後の1年間で残りの必要単位を修得し、同時に修士論文を作成するためには事前の十分な計画が必要ですので、指導教員とよく相談してください。

第三部

教育職員免許状の取得

教員免許取得を希望する学生へ

卒業に必要な単位の他に、所定の単位を修得し教育実習を行うことによって、中学校・高等学校の教員免許を取得できる「教職課程」を開講しています。

免許の種類は、言語文化学部では、中学校教諭一種（外国語）、高等学校教諭一種（外国語）、国際社会学部では、中学校教諭一種（社会）、高等学校教諭一種（地理歴史）です。

このうち外国語については、英語だけではなく、いくつかの地域言語についても教員免許を取得できることになります。本学で資格を得ることができる免許状の種類と免許教科については、『教職ガイド』を参照してください。

教員免許取得には、卒業所要単位に算入できる科目とは別に、卒業単位に算入されない、「教職に関する科目」[情報技法A/B]の単位の修得が必要です。さらに中学校の教員免許の場合は介護等体験が課せられます。

なお、留学などを予定している場合、また第3年次から編入学した場合は標準の修業年限では免許取得に必要な単位の修得が困難な場合もありますので、履修計画を十分検討してください。

教職課程の詳しい履修に関しては、別途配付する『教職ガイド』を参照してください。

I. 教職課程の概略

教職課程：本学で教員免許状を取得するための単位一覧

教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	免許法第66の6条に定める科目
20単位 ※	38単位 (中学校) 30単位 (高等学校)	8単位 (中学校) 16単位 (高等学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 2単位 ・体育 2単位 ・外国語コミュニケーション 2単位 ・情報機器の操作 2単位

※外国語の教員免許の一部に「教科に関する科目」の最低修得単位数が22単位のものがあります。

- 教職カルテの作成
1. 教職カルテ① < 教職関連科目の履修状況 >
 2. 教職カルテ② < 自己評価シート >

介護等体験および事前指導オリエンテーション (中学校1種免許状取得希望者のみ)

1. 第1～2 (3) 年次の5、6月
介護等体験事前指導説明会に参加し「介護等体験事前指導参加申込書」を入手する
2. 事前指導説明会後1週間以内
「介護等体験事前指導参加申込書」を提出する
3. 日程は掲示等で確認
車椅子操作実習に参加し、1週間以内に感想文を提出する
4. 日程は掲示等で確認
講演会に参加し、1週間以内に感想文を提出する
5. 日程は掲示等で確認
「介護等体験申込書」を提出する
6. 第2～3 (4) 年次の6月下旬～翌年2月
体験に参加

教育実習

1. 第3年次の4月上旬
実習希望校に学生が直接連絡を取り、受入れ校を確保する
2. 第3年次の5月下旬
教育実習説明会に参加し、「教育実習参加意志確認調書」を入手する
3. 第3年次の5月下旬～9月上旬
「教育実習参加意志確認調書」を教務課に提出する
4. 第3年次の5月下旬～10月中旬
大学から、教育実習受入れ校へ依頼状を送付する
5. 第3年次の5月下旬～3月末
受入れ校から大学宛に送付されてきた承諾書の写しを受け取る
6. 第4年次の5月～10月
教育実習

第四部

留学、休学、復学

I. 留学

留学するためには、短期海外留学の他に、次の3つの方法があります。

①「派遣留学」②「休学留学」③「休学（海外研修等）」です。

それぞれの手続きについては、次ページの表および教務課で配付している「留学・単位認定に関する手続きマニュアル」を参照してください。

① 派遣留学制度

派遣留学は、学生が、本学と大学間交流協定を締結している海外の大学に、3ヶ月以上1年以内の範囲で交換留学生として派遣される制度です。留学先で修得した単位は、本学の単位に読み替え、単位認定を受けることが可能です。派遣留学および休学留学等を含む他大学で修得した単位認定の上限は、60単位です。

大学間交流協定校へは第3年次以降に留学できますが、第2年次春学期試験終了後から留学することが可能な協定校もあります。

協定校への派遣留学を希望する場合、派遣される前年度の秋に実施される選考試験を受ける必要があります。

仮に第2年次春学期試験終了後からの留学を希望する場合、第1年次の秋に実施される選考試験を受けなくてはなりませんので、第1年次春学期から準備を進める必要があります。さらに、第2年次春学期終了時には進級要件を満たせるように計画的な履修をするよう注意が必要です。

派遣留学の制度を利用して、第4年次の秋から1年間、協定校に派遣留学し、翌年度の9月に卒業することを希望する場合は、派遣前からそのための手続きが必要になります。詳しくは、「③派遣留学者の9月卒業」（第一部Ⅷ）を参照してください。

指導教員（2年生の場合は希望する指導教員）との連絡は頻繁に取りましょう。

② 休学留学

休学留学とは、第3年次以上の学生が、休学したうえで、原則として、6ヶ月以上1年以内の範囲で以下の2つの方法で海外の大学等に行く場合が対象になります。教務課に事前申請している場合、留学先で修得した単位を、本学の授業に読み替え、単位認定を受けることが可能です。

派遣留学および休学留学等を含む他大学で修得した単位認定の上限は、60単位です。

- ① 本学と大学間交流協定を締結している海外の大学に、本学を通さず本人が直接申請して留学する場合
- ② 本学と大学間交流協定を締結していないが、本学が十分な教育内容とレベルを有すると認めた海外の大学等に留学する場合

②に関しては、留学先の大学等が十分な教育内容とレベルを有する機関かどうかを委員会で審議します。審議によっては認められない場合もありますので、注意してください。認められない場合は、「休学留学」ではなく、次項の「休学（海外研修等）」扱いとなりますので、帰国後の単位認定はできません。

③ 休学（海外研修等）

留学先で修得した単位を本学の授業の単位に読み替えない場合は、休学手続きをとって、海外の大学や語学学校などで研修することもできます。

休学については、「Ⅱ. 休学」（後述）を参照してください。

留学の方法

派遣留学、休学留学、海外研修等の事務手続きは、それぞれ以下のとおりです。

	派遣留学	休学	
		休学留学	海外研修等
内 容	大学間交流協定校へ大学を通して留学すること。	休学したうえで、大学間交流協定校に大学を通さずに個人的に留学すること。または本学が十分な教育内容と、レベルを有すると認めた外国の大学等に留学すること。	休学したうえで、個人的に探した海外の大学や語学学校に留学すること、またはインターンシップ等に参加すること。
単 位 認 定 (注1)	先方大学の成績を単位認定可能(注2)	休学留学する前に申請した場合のみ、先方大学で修得した単位を認定することが可能。	先方の海外の大学や語学学校で修得した単位は認定できない。
期 間	3ヶ月以上1年未満	原則として、6ヶ月以上1年未満	最長3年
授 業 料	本学へ授業料納付 留学先は免除	本学の授業料免除 留学先の授業料は納付 (一部の国は除く)	本学の授業料免除(ただし、休学する期日により、授業料免除されない場合がある。)
学 年 進 行	進級(修学年限および在学年限に通算する。)	留年(修学年限および在学年限に通算しない)	留年(修学年限および在学年限に通算しない)
学籍異動時の学年	第2年次春学期試験終了後または第3年次以上	第3年次以上	全学年
学籍異動前に提出する書類と入手先、提出先	留学願、留学計画書 (入手先、提出先:留学生課)	休学願、休学留学申請書、受入大学等の内容が分かる資料・入学許可書等(入手先、提出先:教務課)	休学願、受入大学等の入学許可書等 (入手先、提出先:教務課)
学籍異動終了後に提出する書類と提出時期、提出先	留学終了届(提出時期:帰国後速やかに、提出先:留学生課) 単位認定申請書および先方大学の成績証明書、シラバス等 (提出時期:帰国後速やかに、提出先:教務課)	復学届(提出時期:復学する日の1ヶ月前まで、提出先:教務課) 留学終了届(提出時期:速やかに、提出先:教務課) 単位認定申請書および先方大学の成績証明書、シラバス等 (提出時期:帰国後速やかに、提出先:教務課)	復学届(提出時期:復学する日の1ヶ月前まで、提出先:教務課)

注(1) 単位認定には、協議会・教授会での承認が必要ですので、教務課で所定の手続きをとってください。審議結果によっては、単位が認定されない場合があります。手続きについて、詳しくは教務課窓口で配付している「留学・単位認定に関する手続きマニュアル」を参照してください。

(2) 派遣留学・休学留学等を含む他大学等で修得した単位は、60単位を上限として卒業所要単位とすることができます。

Ⅱ. 休学

① 休学

疾病、その他の理由により、継続して2ヶ月以上修学することができない場合、学長の許可を得て休学することができます。ただし、休学期間中は、履修登録はできませんので注意してください。

② 休学の要件

休学の要件については、以下を参照してください。

- (1) 病気のため継続して2ヶ月以上修学することができないとき
- (2) 海外の教育・研究施設において修学するため2ヶ月以上本学で修学できないとき
- (3) 海外における調査・見学のため2ヶ月以上本学で修学できないとき
- (4) 経済的理由によって2ヶ月以上本学で修学できないとき
- (5) 以上に定めるもののほか、特別の理由があるとき

内 容	病気、経済的理由、家庭の事情、進路の再考等
授 業 料	本学の授業料免除（ただし、休学を届けた日によっては、授業料が免除されない場合もありますので、注意してください）
学 年 進 行	留年（修学年限および在学年限に通算しない）
休学可能な学年	全学年
学籍異動前に提出する書類と提出先	診断書、理由書、参考資料（提出先：教務課）
海外渡航前に提出する書類の提出時期	休学する1ヶ月前
学籍異動終了後に提出する書類と提出時期・提出先	復学届（提出時期：復学する日の1ヶ月前まで、提出先：教務課） なお、病気で休学した場合は、復学できる旨の診断書を添付してください。

③ 休学の手続き

休学する日の1ヶ月前までに、教務課に休学願を提出してください。休学願には、保証人の認印のほか、言語文化学部の1・2年生においては地域言語代表教員、国際社会学部の1・2年生においては、地域代表教員の認印が、3・4年生においては指導教員の認印が必要となりますので、早めに手続きしてください。

なお、休学願の用紙は教務課にあります。大学のホームページからダウンロードすることもできます。学部学生は、合計して3年間まで休学ができます。ただし、1回の「休学願」で申請できるのは、最長1年間ですので、休学の継続を希望する場合には、休学期間が満了する1ヶ月前までに、再度「休学願」を提出してください。

④ 休学終了の手続き

休学期間が満了する1ヶ月前までに、「復学届」を教務課に提出しなければなりません。復学については次の「Ⅲ. 復学」を参照してください。

⑤ 注意

休学して海外の大学や語学学校へ留学する際の手続きは、第四部Ⅰの表中の「休学（海外研修等）」を参照してください。

Ⅲ. 復学

① 復学

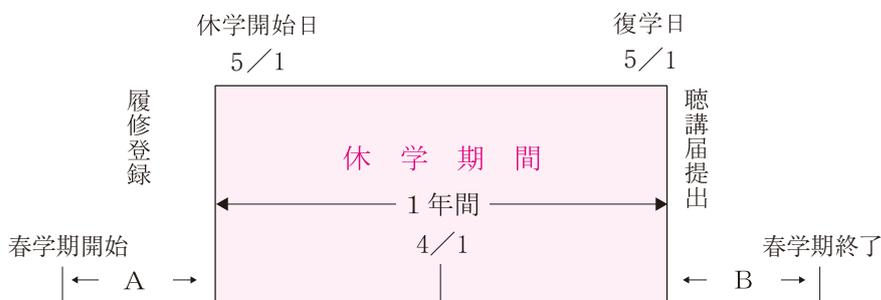
休学および休学留学した学生は、休学および休学留学の期間が終了する1ヶ月前までに、「復学届」を教務課に提出してください。なお、休学および休学留学の期間中に復学を希望する場合は、「復学願」を教務課に提出してください。許可が得られた場合、休学期間の途中で復学することができます。

② 復学者の科目履修

学年暦の途中で休学し、復学した場合、休学以前に履修登録していた科目について、継続聴講届を出すことにより継続聴講が認められる場合があります。以下を参照してください。

(1) 学期単位で開講される授業の場合

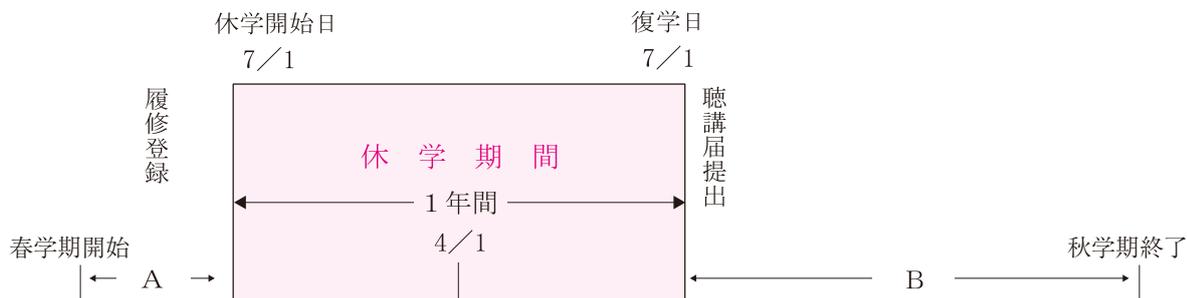
例 5月1日に休学し、翌年5月1日に復学した場合（休学期間1年間）



休学前に履修した期間Aと、復学後に履修する期間Bを合わせて履修すると、継続聴講が認められます。

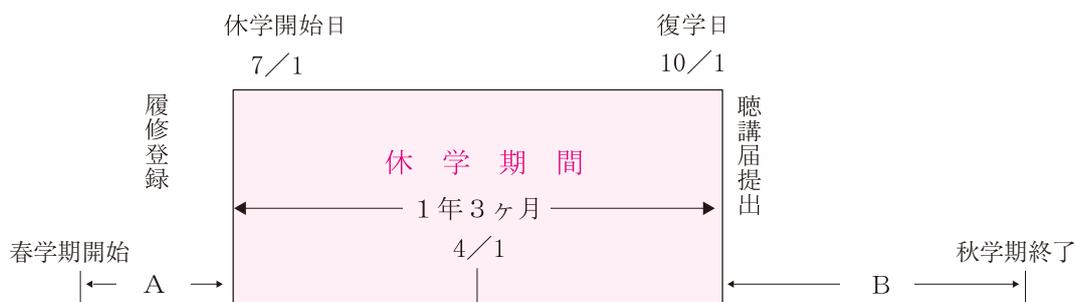
(2) 通年開講授業の場合

例1 7月1日に休学し、翌年7月1日に復学した場合（休学期間1年間）



休学前に履修した期間Aと、復学後に履修する期間Bを合わせて履修すると、継続聴講が認められます。

例2 7月1日に休学し、翌年10月1日に復学した場合（休学期間1年3ヶ月）



休学前に履修した期間Aと、復学後に履修する期間Bを合わせても、必要な履修期間を満たさないの
で、継続聴講は認められません。

第五部

単位認定、他大学への派遣等

I. 入学時の単位認定

① 第1年次に入学した大学等卒業者等の既修得単位の認定

本学入学以前に、大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の卒業者、中途退学者または他大学等の科目等履修生であった学生で、既に修得した単位がある場合、第1年次に入学した時点で、本学における授業にそれを読み替え、審査の上、単位認定することができる制度があります。

この単位認定は、入学年度の所定の期日を過ぎると申請できませんので注意してください。手続きについては、次のとおりです。

☆対象

- ① 国内（外）の大学
- ② 国内（外）の短大
- ③ 短期大学専攻科
- ④ 高等専門学校専攻科
- ⑤ 大学専攻科
- ⑥ 高等専門学校の課程
- ⑦ 高等学校専攻科
- ⑧ 専修学校専門課程のうち2年以上のもの
- ⑨ 科目等履修生

単位認定科目 ・認定単位数	提出書類	提出期間	提出先	備考
GLIP 英語科目 教養外国語 基礎リテラシー 基礎演習 世界教養科目 スポーツ・身体文化科目 導入科目 合計60単位まで	<ul style="list-style-type: none"> ・単位認定願 ・前大学等の成績証明書 ・該当科目の講義内容が明記してあるもの ・卒業証明書（中途退学者は退学証明書） 	4月初旬 詳しい日程は入学手続き時の案内を参照してください。	教務課	<ul style="list-style-type: none"> ・審査のうえ本学で開講されている授業科目に該当する場合は単位を認定します。 ・特に、高等専門学校および専修学校の専門課程で修得したものは大学教育に相当する水準のもののみ単位として認定します。 ・この単位認定にもとづき本学における卒業所要単位が充足されない場合は、その不足単位を修得してください。

② 第3年次に編入学した大学等卒業者等の既修得単位の認定

第3年次編入学者で、すでに前大学等で修得した単位については、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる制度があります。単位認定の上限は、以下の【入学をもって単位認定する科目】と【審査の上、単位認定する科目】を併せて63単位までです。

この単位認定は、入学年度の所定の期日を過ぎると申請できませんので注意してください。

【入学をもって単位認定する科目】

- ・地域言語科目・・・20単位

（地域言語A I 10単位、地域言語A II 10単位。ただし、日本語（JP2）は地域

言語A I 14単位、地域言語A II 10単位)

- ・地域基礎科目・・・6単位
- ・基礎リテラシー・・・1単位
- ・基礎演習・・・2単位
- ・導入科目・・・6単位

【審査の上、単位認定する科目】

単位認定科目 ・認定単位数	提出書類	提出期間	提出先	備考
GLIP 英語科目 教養外国語 地域言語C 概論科目 世界教養科目 スポーツ・身体文化科目	・単位認定願 ・前大学等の成績証明書 ・該当科目の講義内容が明記してあるもの ・卒業証明書（中途退学者は退学証明書）	3月中旬 成績証明書が締め切り日までに間に合わない時は、あらかじめ教務課まで届けてください。	教務課	・審査のうえ、本学で開講されている授業科目に該当する場合は単位を認定します。 ・既修得単位数に応じて、特定の授業科目が指定され、履修上の指導が行われることがあります。

③ 第3年次編入学生の扱いについて

- ・入学時期、修業年限および在学年限

入学時期は、4月とします。第3年次編入学生の修業年限は2年、在学年限は4年とします。

- ・卒業資格および学位

別表（第一部Ⅵ）に示した卒業に必要な最低修得単位数（既修得単位数を含む125単位）を修得した者には、学士（言語・地域文化）の学位を授与します。

- ・第3年次編入学生の卒業所要単位数は、入学の前々年度の規則が適用されます。

例:2017年（平成29年）度に第3年次編入した学生は、2015年（平成27年）度の規則が適用されます。

④ 地域言語既習入学生の振替履修の扱いについて

英語、日本語を除く地域言語では、帰国子女など、地域言語の既習入学生を対象に、地域言語の**振替履修**を認めています。

詳細については、入学時のオリエンテーションで教員の説明を受け、希望する場合は所定の期間に申請書を教務課に提出してください。

- *振替履修とは、すでに高度な語学力を持っている学生が、地域言語A I に代わって地域言語A II等を履修することによって地域言語の単位を修得する制度です。

Ⅱ. 他大学等への派遣制度等

学生が、本学学生としての身分を保有したまま、学長の許可を得て他大学等において授業科目を履修しようとする場合の学生の派遣は、国立大学法人東京外国語大学派遣学生規程に基づいて行われます(規程は Web 上に掲載しているので確認してください)。

なお、派遣で修得した単位数には1年間の履修登録単位数の上限を50単位とする50単位上限ルール(第二部Ⅰ)が適用されますから履修登録の際には充分注意してください。ただし、四大学連合憲章による制度には例外があります。(次ページ以後参照)また、受け入れ大学において修得できる単位数のうち、卒業単位として認定できる単位数は、留学などによる単位認定と併せて60単位までです。

	協定制度	派遣先大学	派遣年次	募集時期
①	多摩地区国立5大学単位互換制度	東京農工大学・東京学芸大学・電気通信大学・一橋大学	第2年次から	毎年1月下旬か2月上旬および6月上旬の2度
②	四大学連合憲章による制度	東京医科歯科大学・東京工業大学・一橋大学	第2年次から	第1年次1月下旬
③	三大学連携事業に係る単位互換協定	東京農工大学・電気通信大学	第1年次から	日程は掲示等で通知
④	東京女子大学との単位互換制度	東京女子大学	第3年次から	毎年3月下旬か4月上旬
⑤	EU Institute in Japan(EUIJ)東京コンソーシアムにおける四大学間の単位互換協定	一橋大学、国際基督教大学、津田塾大学	第2年次から	毎年3月下旬か4月上旬
⑥	お茶の水女子大学との単位互換協定	お茶の水女子大学	第2年次から	毎年3月下旬か4月上旬
⑦	首都大学東京との単位互換協定	首都大学東京	第2年次から	毎年3月下旬か4月上旬および6月上旬の2度
⑧	国際基督教大学との単位互換協定	国際基督教大学	第2年次から	TACにより募集
⑨	津田塾大学との単位互換制度	津田塾大学	第2年次から	毎年3月下旬か4月上旬
⑩	TAC単位互換制度	国際基督教大学、国立音楽大学、武蔵野美術大学、東京経済大学、津田塾大学	第2年次から	毎年3月下旬～4月上旬(国際基督教大学のみ3月下旬、9月中旬、11月中旬の3度)
⑪	東京農工大学との単位互換制度	東京農工大学	第2年次から	7月中旬、1月下旬
⑫	清泉女子大学との単位互換協定	清泉女子大学		毎年3月下旬か4月上旬

① 多摩地区国立5大学単位互換制度

1. 本制度の実施趣旨

本制度は、多摩地区国立5大学間の相互の交流と教育課程の充実を図ることを目的とする。

本制度により、受入大学で授業科目を履修し授与された単位は、本学において修得した単位として認定する。

2. 受入大学

東京農工大学、東京学芸大学、電気通信大学、一橋大学

3. 実施方法

(1) 出願資格

本学に在籍する2年次以上の学部学生

(2) 受入大学での身分

特別聴講学生

(3) 授業料等

特別聴講学生の検定料・入学料および授業料は徴収しない。

(4) 履修可能な科目

受入大学の履修対象授業科目一覧による。

(5) 履修計画

本学から受入大学までの通学時間を念頭に置き、履修計画を立てること。

受入大学で履修する授業の前後の時限では、本学の授業科目を履修することは不可能であるので、その点を考慮のうえ履修計画を立てること。

(6) 履修期間

履修する授業科目が開講される学期または年度とし、1年以内とする。

(7) 定期試験等の実施方法

履修科目に係わる受験上の取扱いおよび追試験・再試験の実施等については、受入大学の規則による。

また、本学と受入大学の試験日時が重複した場合には、本学の授業科目について、追試等の措置をする。

(8) 単位認定等

受入大学において授与された単位は、本学の科目区分、「教養科目（基礎リテラシー・基礎演習およびスポーツ・身体文化科目を除く）」、「専修科目（導入科目、概論科目、卒業論文演習を除く選択科目）」として開講している授業科目または「関連科目」のいずれかに振り替える。どの科目に振り替えるかは、本人の申請に基づき、受入大学の授業内容により本学が判断する。

単位認定にあたっては、単位修得後、受入大学の授業概要のコピーを申請書に添付し、教務課窓口で認定の手続きを行うこと。手続きの詳細は、時期が来たら掲示により連絡する。

(9) 成績原簿への記載

単位の認定された授業科目の成績原簿への記載は「認」とする。単位については、受入大学で修得した単位数を記載する。

授業科目の名称は「教養科目」、「専修科目」として開講している授業科目に振り替えた場合は当該授業科目とし、受入大学名を併記する。「関連科目」に振り替えた場合は、受入大学での授業科目名とし、受入大学名を併記する。

② 四大学連合憲章による制度

四大学とは、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学を指す。

東京工業大学との国際テクニカルライティング・コース、四大学間との海外協力コースが実施されている。

(1) 国際テクニカルライティング・コース

東京工業大学—東京外国語大学2大学募集要項

近年の急速で著しいグローバル化、ボーダーレス化の進展に伴い、企業の海外進出のみならず、産業の国際的再編が日常的に行われる時代が到来している。技術者にとっても外国語の文献を読む能力だけでなく、最新の技術情報を論文や仕様書として発信し、成果を発表し、外国語で交渉できる能力が必須となってきている。また、技術者と一緒になって、技術言語を理解し、外国事情に通じ、外国語を駆使できるエキスパートとしての産業人の養成も強く求められている。

このコースでは、こうした産業界から強く求められている国際的エンジニアおよびテクニカルライターを養成し、グローバル化された国際ビジネスのエリアに優れた人材を供給することを目的とする。

このコースのコアカリキュラムとしては、実用性の高い外国語能力と工学の基本思想とに精通した専門家の養成を目指す。英語を中心とする国際語に精通するだけでなく、日本の産業界との結びつきの強いアメリカ、アジア、ヨーロッパ、中南米の各国語およびそれらの地域の文化や事情にも通じた国際人の養成を目指す。

1. 募集対象者、募集期間

2年次進級予定者を対象に、1月下旬頃に募集する。

2. 履修期間

2年次から卒業時まで

3. 履修登録

(1) 科目登録期間 4月中旬

(2) 受付窓口 教務課

4. 履修要領

(1) 修了所要単位

2大学で合計20単位（各大学10単位以上）。修了要件は次の表のとおり。

東京外国語大学	本学が本コースにて開設する「推奨科目」から6単位以上、「選択科目」から4単位以上の計10単位以上	各大学10単位以上
東京工業大学	本コース開設科目から10単位以上	

なお、本コースを修了した学生には、その証明として四大学連合による国際テクニカルライティング・コース修了証が発行される。

(2) 開講科目および開講曜日・時限

開講科目一覧（1月の説明会で配付）のとおり。

(3) 履修相談

本コースの説明会は、第2年次以上の学生を対象に1月に行うので掲示に注意すること。開講科目一覧はこの説明会で配付される。

(4) アカデミック・アドバイザー

（責任者） 大谷 直輝

鈴木 陽子

（問い合わせ先） tw@tufs.ac.jp

5. 履修上の注意事項

- (1) 本コースは東京工業大学との連携プログラムであり、学則に定められた卒業要件としてのコースではない。本コースを履修するものは、各学部が開講されたいずれか一つのコースを選んで、同時に履修すること。
- (2) 修了所要単位は、本学で開設する「推奨科目」(GLIP 英語科目「英語B」)を6単位以上、「選択科目」(「世界教養科目」、「導入科目」、「概論科目」)を4単位の計10単位以上、および東京工業大学で開設する本コースの科目の中から10単位以上を修得すること。

6. 単位の認定について

- (1) 東京工業大学で開設されている本コースの科目を履修し、修得した単位については、本学の授業科目および単位に読み替えのうえ、卒業所要単位として認定する。なお、授業科目が読み替えできない場合は、講義内容に応じて「関連科目」の単位として認定する。
- (2) 本コースの科目は、英語Bとして開講する。従って、これらの科目の単位は本コースの単位であると同時に卒業所要単位としても充当することができる。その場合には、卒業に必要な「GLIP 英語科目・教養外国語の必修単位」の履修要件も同時に満たすように単位を修得すること。なお、本コースを履修する学生はAcademic English: Technical Writingの科目を、抽選を経ずに優先的に履修することができる。
- (3) 東京外国語大学の学生で、GLIP 英語科目・教養外国語の必修6単位を超えて修得した単位は、卒業所要単位のうち、言語科目の「選択必修科目」あるいは「関連科目」の単位として認定することができる。
- (4) 東京外国語大学の学生で、英語を地域言語Aとして履修する学生の場合、本コースで修得した単位は、Academic English: Technical Writing科目も含め卒業所要単位のうち、言語科目の「選択必修科目」あるいは「関連科目」の単位として認定することができる。

(2) 四大学連合複合領域コース 海外協力コース案内

4大学間 共通コース(東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学)

海外協力コース

(1) コースのねらい、趣旨

21世紀の海外協力(および技術開発)においては、海外に対する広い視野と見識及び卓越した専門技術を習得した人材が不可欠である。もとより、このような人材を育成する努力は各大学で行われているが、4大学が協力することにより、さらに幅広い見識及び能力を有する人材を育成することを目的とする。

すなわち、各大学の多様なバックグラウンドを持つ学生が、本コースにより他分野の素養と海外に対する広い視野、見識を身につけ、グローバル化社会で活躍することを可能にする。

(2) 開設科目

開講科目一覧(1月の説明会で配付)のとおり。

(3) 履修要領

・コース担当者

東工大担当者: 日野出洋文(環境・社会理工学院)、山下幸彦(環境・社会理工学院)

医歯大担当者: 森尾郁子(統合国際機構)、高野健人(健康推進医学)

一橋大担当者：児玉谷史朗（社）

東外大担当者：成田節（総合国際学研究院）

・募集人数：若干名

・修了所要単位

コース修了要件単位数：20単位、

自大学：12単位、他大学：各大学2単位以上で合計8単位

単位数（自大学－他大学－他大学－他大学）：12－4－2－2、12－3－3－2

・履修期間：2年次から卒業時まで

（4）履修登録

・科目登録期間：4月中旬

・受付窓口：教務課

（5）募集対象者、募集期間

2年次進級予定者を対象に1月下旬頃に募集する。

（6）コース修了証明書

本コース修了者には、履修コース名を記載した修了証明書を発行する。

③ 東京外国語大学、東京農工大学及び電気通信大学が実施する三大学連携事業に係る単位互換に関する覚書

「東京外国語大学、東京農工大学及び電気通信大学の連携・協力の推進に関する基本協定書」（以下「基本協定書」という。）の1.（2）に基づき、三大学連携事業に係る単位互換に関しては、本覚書により実施する。

（学生の身分）

1. この覚書により受入れる学生の身分は、特別聴講学生とする。

（履修期間）

2. 特別聴講学生の履修期間は1年以内とし、当該年度を超えないものとする。

（開講科目等）

3. 特別聴講学生を受入れる大学（以下「受入れ大学」という。）は、履修可能な授業科目、修得単位数及び受入れ人数（以下「開講科目等」という。）を定める。

4. 受入れ大学は、特別聴講学生を派遣する大学（以下「派遣大学」という。）に、開講科目等を通知する。

（履修手続き）

5. 派遣大学は、開講科目等ごとに希望学生を取りまとめ、所定の期日までに、受入れ大学に通知する。

6. 受入れ大学は、希望学生の受入れの可否について、派遣大学に通知する。

（単位授与等）

7. 特別聴講学生の成績の評価及び単位の授与は、受入れ大学が定めるところによる。

8. 特別聴講学生の単位の認定は、派遣大学の定めるところによる。

（授業料等）

9. 特別聴講学生の検定料、入学料及び授業料は徴収しない。ただし、実験、実習等で、別に係る費用は徴収することができる。

- (施設等の利用)
10. 受入れ大学は、特別聴講学生が履修上必要とする施設・設備について、原則として利用を許可する。
(学生証の交付)
 11. 受入れ大学は、特別聴講学生証を発行する。
(保険等)
 12. 特別聴講学生は、受入れ大学が必要とする場合は、学生教育研究災害傷害保険等に加入しなければならない。ただし、派遣大学において加入している場合は、この限りではない。
(規則等の遵守及び身分の取消)
 13. 特別聴講学生は、受入れ大学の規則等を遵守しなくてはならない。特別聴講学生が規則等に違反した場合、受入れ大学は派遣大学と協議の上、その身分を取り消すことができる。
(その他)
 14. この覚書に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。
(有効期間)
 15. この覚書は、調印の日から効力を有し、有効期間は基本協定書の3を準用する。

④ 東京女子大学との単位互換制度

東京外国語大学と東京女子大学との単位互換に関する実施要項

1. 東京外国語大学と東京女子大学（以下「両大学」という。）の大学間における単位互換に関する事務手続、運用体制等については、この要項に基づき実施することとする。
2. 実施学部
 - (1) 東京外国語大学 言語文化学部・国際社会学部
 - (2) 東京女子大学 現代教養学部
3. 出願資格
特別聴講学生として出願できる者は、両大学に在学する3年次以上の学部学生とし、科目等履修生および研究生等を除く。
4. 互換学生数
受入れる学生数の上限は、受入れ大学の定めるところによる。
5. 履修科目および単位数
 - (1) 特別聴講学生が履修できる授業科目は、受入れ大学が定める。
 - (2) 特別聴講学生が履修できる単位数の上限は派遣大学において定めるところによる。
6. 特別聴講学生の受入れ手続き
 - (1) 特別聴講学生として志願する学生は、所定の期間に履修申請書（別記様式）を所属大学に提出する。
 - (2) 派遣大学は希望学生を取りまとめ、選考の上受入れ大学の長または当該部局の長へ受入れを依頼する。
 - (3) 受入れ大学は、受入れの可否を派遣大学へ通知する。
 - (4) 派遣大学は、出願学生に速やかに受入れの可否を通知する。

7. ガイダンスの実施

- (1) 派遣大学は、希望学生に対するガイダンスを行い、所属学生に対して、特に次の点について注意を促すこととする。
 - ① 申請した授業科目の変更および取消しは、原則として認めない。
 - ② 受入れ大学と派遣大学の講義時間帯およびキャンパス間の移動時間を考慮して履修を申請する授業科目を決定する。
 - ③ 受入れ大学の諸規則を遵守する。
 - ④ その他受入れ大学が特に注意する事項
- (2) 受入れ大学は、各大学の定めるところにより、特別聴講学生に必要な説明を行う。

8. 履修

- (1) 特別聴講学生は、所属大学において在籍する年次の上位年次に配当されている授業科目を履修することができない。
- (2) 許可を受けた授業科目の変更および履修の取消しは、認めない。ただし、卒業、進級等やむを得ない事情がある場合は、所属大学の判断により当該授業科目の履修の許可を取り消すこととし、速やかに受入大学にその旨通知する。

9. 「特別聴講学生証」の発行

受入れ大学は、特別聴講学生証を当該学生に交付する。

10. 履修期間

特別聴講学生としての履修期間は、当該学生の履修する授業科目の開設年度または開設学期とする。

11. 試験の実施方法

- (1) 受験上の取り扱いおよび追試験の実施については、受入れ大学の規則の定めるところによる。
- (2) 試験日程等に関する通知は、受入れ大学が通常その大学の学生に対する通知方法により行い、特別聴講学生の責任において確認することとする。ただし、緊急に通知する必要がある場合は、派遣大学に通知することがある。
- (3) 派遣大学と受入れ大学の試験日時が重複した場合は、派遣大学の授業科目について追試験等の措置を講ずるものとする。
- (4) 不合格科目に対する再試験等は、行わない。

12. 成績の通知、管理および成績証明書の発行

- (1) 受入れ大学は、特別聴講学生の成績（欠席等成績以外の情報を含む。）を所定期日までに派遣大学に通知する。追試験等を行った場合も、同様とする。
- (2) 成績評価は、受入れ大学の基準および表示方法により行い、派遣大学において、当該大学の基準および表示方法に置き換えて認定する。
- (3) 成績の管理は、派遣大学が行う。
- (4) 成績に関する質問は、受入れ大学の定めるところによる。
- (5) 成績証明書は、原則として派遣大学が発行する。受入れ大学は、原則として、受入れた学生の履修および成績に関する証明を行わない。

13. 施設等の利用

特別聴講学生の履修上必要な施設・設備の利用については、便宜を供与する。

14. 特別聴講学生に係る通知

- (1) 特別聴講学生が、休学、退学等をした場合は、派遣大学は受入れ大学へ通知する。
- (2) 特別聴講学生が履修している授業の変更、試験日程（日程の変更を含む）等については、受入れ大学が派遣大学へ通知する。

15. 授業中の事故等への対応

特別聴講学生が授業中に事故等にあった場合の対応は、次のとおりとする。

- ① 急を要する治療が必要な場合は、受入れ大学の診療施設を利用することができる。
- ② 生命にかかわるような重大な事故等が発生した場合は、直ちに受入れ大学において取り得る救急措置を講じるとともに、速やかに所属大学に通知し、救急措置に必要な保健情報の提供その他必要な事項について、当該大学間で対応を協議する。
- ③ ①および②において学生教育研究災害傷害保険を適用する場合の手続は、当該学生の所属大学が行う。

16. 連絡会議

- (1) 本実施要項による単位互換を円滑に実施するため、連絡会議を置く。
- (2) 連絡会議は、必要に応じ開催するものとする。

17. 改正

本実施要項の改正は連絡会議での協議により行う。

18. 発効

この実施要項は、平成24年4月1日から効力を生じるものとし、平成16年6月16日付けで取り決めた「東京外国語大学と東京女子大学との単位互換に関する実施要項」は、平成24年3月31日をもって廃止する。

19. 適用

「2 実施学部」の規定にかかわらず、東京女子大学文理学部および現代文化学部が存続する間、当該学部 に在学する学生は、本実施要項の適用を受けるものとする。

⑤ EU Institute in Japan (EUIJ) 東京コンソーシアムにおける四大学間の単位互換協定

EU Institute in Japan プログラム (EU コース) 制度の概要

四大学（一橋大学、国際基督教大学、東京外国語大学および津田塾大学）は、EU Institute in Japan (EUIJ) 東京コンソーシアム協定書に基づき、EU に関する教育プログラム (EU コース) が開設する授業科目 (EU 関係授業科目) を相互に提供することにより、EU についてより一層の理解を有する次世代人材を育成することを目的としている。

この制度は、所属大学在学中に EU コースで定められた履修科目（以下、「EU 関係授業科目」という。）及びヨーロッパ研究に関連した履修科目（以下、「ヨーロッパ研究関連授業科目」という。）の所要単位を修得し、かつ卒業要件を満たした場合に EU コース修了を認定するものである。

出願資格等

1. 出願資格

各大学に在学する第2年次以上の学部学生とする。(但し、国際基督教大学9月入学の者については、第1年次2学期以上在籍した学生を含む。科目等履修生、研究生および委託生等を除く。)

2. 学生の身分

学生の身分は、「特別聴講学生」とする。

3. 授業料等

特別聴講学生となるための授業料等は、徴収しない。

4. 履修提供科目

特別聴講学生が履修できる授業科目は、EU関係授業科目及びヨーロッパ研究関連授業科目とする。科目は毎年発表する。

5. 評価の方法

授業科目の評価(試験・レポート等)の方法については、受入れ大学の定めるところによる。なお、受入れ大学と所属大学の試験日時が重複した場合には、所属大学の授業科目について追試験等の措置を講ずるものとする。

単位認定および学業成績

1. 単位認定

- ① EUコース特別聴講学生が履修した授業科目の成績評価および単位の授与については、受入れ大学の定めるところによる。
- ② EUコース特別聴講学生が履修した授業科目の単位の認定については、所属大学の定めるところによる。
- ③ 学業成績単位を認定された授業科目の「学業成績記録簿」への記載については、所属大学の方針に従う。また、その際の授業科目の名称は、受入れ大学のEUコースの開講授業科目名をそのまま記載する。

2. 証明書の発行

EUコースの履修科目の成績は、所属大学の方針に従い、所属大学が発行する成績証明書または単位取得証明書に記載される。

EUコース修了の認定

1. EUコース修了の認定

EUコースで定められた履修科目の所要単位を修得し、かつ卒業要件を満たした場合にEUコース修了を認定する。

2. EUコース修了の要件

EUコース修了の要件は、他の協定大学のEU関係授業科目を含む12単位以上(ヨーロッパ研究関連授業科目は4単位まで含めることができる。)を修得し、かつ卒業要件を満たすこと。

但し、重複履修を認めない科目は、別に定める。

また、ヨーロッパ研究関連授業科目については、2012年度以降に履修したものについて、EUコース修了のための要件に含めることができる。

3. EU コース修了証の発行

EU コース修了に対し、所属大学は、EU コース修了証を発行する。

その他

4月の初めにガイダンスを行うので、希望者は参加すること。ガイダンスの日時等は掲示で知らせる。協定の見直し等により、制度の変更がある場合があるので注意すること。

⑥ お茶の水女子大学との単位互換協定

東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部とお茶の水女子大学文教育学部・理学部・生活科学部との単位互換に関する実施要領

本覚書は、東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部とお茶の水女子大学文教育学部・理学部・生活科学部（以下「両大学」という）との単位互換に関する協定書に基づき、単位互換実施に必要な事項について定める。

(授業科目の履修)

第1条 本覚書を交換する東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部に在籍する学生並びにお茶の水女子大学文教育学部・理学部・生活科学部に在籍する学生は、受入先大学が開設する授業科目を履修し、単位を修得することができる。

2 前項において、履修することができる学年は2年次以上の学部学生とする。

(開講科目の通知)

第2条 両大学は、毎学年度につきその前年度末までに、履修を認める当該年度開講科目および受入人数を受入先大学に通知するものとする。

2 両大学の開講科目において当該大学正規生の科目登録がない場合は、開講を取り消すことができるものとする。

(履修の申請)

第3条 受入先大学の授業科目の履修を希望する学生は、所属大学を通して受入大学に申請書を提出するものとする。

(成績評価および単位の認定)

第4条 受入学生の成績評価は、受入先大学において行う。但し、学生の所属する大学における成績評価および単位認定は、学生の所属する大学の方式による。

(成績の通知)

第5条 成績および単位は、各学期両大学の定める期日までに学生の所属する大学に通知するものとする。

(協議)

第6条 本覚書に定めるもののほか、実施に必要な事項が生じた場合は、両大学の協議により対処するものとする。

⑦ 首都大学東京との単位互換協定

首都大学東京と東京外国語大学との学部間における単位互換に関する実施要領

首都大学東京都市教養学部、都市環境学部、システムデザイン学部、健康福祉学部と東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部との単位互換に関する覚書（以下「覚書」という。）第5条第2項に基づき、首都大学東京と東京外国語大学（以下「両大学」という。）の大学間における単位互換の運用については、この要領によるものとする。

1. 実施学部

- (1) 首都大学東京 都市教養学部、都市環境学部、システムデザイン学部、健康福祉学部
- (2) 東京外国語大学 言語文化学部、国際社会学部

2. 出願資格

覚書第2条に定める、履修学生は、首都大学東京は1年次から、東京外国語大学は2年次からとし、科目等履修生および研究生等の非正規生は除く。

3. 受入学生数

受け入れる学生数の上限は、受入大学の定めるところによる。

4. 履修科目および単位数

- (1) 履修学生が履修できる授業科目は、受入大学が定める。
- (2) 履修学生が履修できる単位数の上限は派遣大学において定めるところによる。

5. 履修学生の受入手続き等

- (1) 履修学生として、志願する学生は、覚書第2条に基づき、両大学が定める募集時期（年2回）に所属大学に提出する。
- (2) 受入大学は、覚書第3条に基づき、受入の可否を派遣大学に通知する。
- (3) 派遣大学は、履修申請者に速やかに受入の可否を通知する。
- (4) 両大学の開講する授業科目において当該大学正規生の履修登録がない場合は、開講を取り消すことができるものとする。

6. 学生証の発行

受入大学は、特別科目等履修生学生証、もしくは特別聴講生学生証を当該学生に交付する。

7. 履修期間

履修学生としての履修期間は、当該学生の履修する授業科目の開設年度または開設学期とする。

8. 試験の実施

- (1) 受験上の取扱および追試験の実施については、受入大学の規定等の定めるところによる。
- (2) 派遣大学と受入大学の試験日時が重複した場合は、派遣大学の授業科目について追試験等の措置を講ずるものとする。
- (3) 不合格科目に対する再試験等を行わない。

9. 成績の通知

- (1) 受入大学は、履修学生の成績を所定期日までに派遣大学に通知する。
- (2) 成績の管理は、派遣大学が行う。
- (3) 成績に関する質問は、受入大学の定めるところによる。
- (4) 履修学生の成績証明書は、派遣大学が発行する。

10. 履修学生に係る連絡

- (1) 履修学生が、休学、退学等をした場合は、派遣大学は受入大学に通知する。
- (2) 履修学生が履修している授業・試験日程が変更された場合は、派遣大学は受入大学に通知する。

11. 施設等の利用

履修学生の履修上必要な施設・設備の利用については、便宜を供する。

12. その他

この実施要領で疑義が生じた場合、両大学間で協議するものとする。

8 国際基督教大学との単位互換協定

東京外国語大学と国際基督教大学との学部間における単位互換に関する実施要項

1. 東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部と国際基督教大学教養学部との単位互換に関する覚書（以下「覚書」という。）第5条第2項に基づき、東京外国語大学と国際基督教大学（以下「両大学」という。）の大学間における単位互換の運用については、この要項によるものとする。

2. 実施学部

- (1) 東京外国語大学 言語文化学部、国際社会学部
- (2) 国際基督教大学 教養学部

3. 出願資格

覚書第2条に定める履修学生は、国際基督教大学は2年次から、東京外国語大学は2年次からとし（但し、国際基督教大学9月入学の者については、1年次2学期以上在籍した者を含む）、科目等履修生および研究生等の非正規生は除く。また、国際基督教大学の6月卒業予定者が卒業学期に履修学生となることはできない。東京外国語大学の3月卒業予定者が卒業学期に履修学生となることはできない。

4. 受入学生数

受け入れる学生数の上限は、受入大学の定めるところによる。

5. 履修科目および単位数

- (1) 履修学生が履修できる授業科目は、受入大学が定める。
- (2) 履修学生が履修できる単位数の上限は派遣大学において定めるところによる。

6. 履修学生の受入手続き等

- (1) 履修学生として、志願する学生は、覚書第2条に基づき、両大学が定める募集時期に所属大学に提出する。
- (2) 受入大学は、覚書第3条に基づき、受入の可否を派遣大学に通知する。
- (3) 派遣大学は、履修申請者に速やかに受入の可否を通知する。
- (4) 両大学の開講する授業科目において当該大学正規生の履修登録がない場合は、開講を取り消すことができるものとする。

7. 学生証の発行

受入大学は、単位互換履修生学生証、もしくは特別聴講生学生証を当該学生に交付する。

8. 履修期間

履修学生としての履修期間は、当該学生の履修する授業科目の開設年度または開設学期とする。

9. 試験の実施

- (1) 受験上の取扱いおよび追試験の実施については、受入大学の規程等の定めるところによる。
- (2) 派遣大学と受入大学の試験日時が重複した場合は、派遣大学の授業科目について追試験等の措置を講ずるものとする。
- (3) 不合格科目に対する再試験等を行わない。

10. 成績の通知

- (1) 受入大学は、履修学生の成績を所定期日までに派遣大学に通知する。
- (2) 成績の管理は、派遣大学が行う。
- (3) 成績に関する質問は、受入大学の定めるところによる。
- (4) 履修学生の成績証明書は、派遣大学が発行する。

11. 履修学生に係る連絡

- (1) 履修学生が、休学、退学等をした場合は、派遣大学は受入大学に通知する。
- (2) 履修学生が履修している授業・試験日程が変更された場合は、派遣大学は受入大学に通知する。

12. 施設等の利用

履修学生の履修上必要な施設・設備の利用については、便宜を供する。

13. その他

この実施要項で疑義が生じた場合、両大学間で協議するものとする。

⑨ 津田塾大学との単位互換協定

東京外国語大学と津田塾大学との学部間における単位互換に関する実施要項

1. 津田塾大学学芸学部、総合政策学部と東京外国語大学言語文化学部、国際社会学部、外国語学部との単位互換に関する覚書（以下「覚書」という。）第5条第2項に基づき、津田塾大学と東京外国語大学（以下「両大学」という。）の大学間における単位互換の運用については、この要項によるものとする。

2. 実施学部

- (1) 津田塾大学学芸学部、総合政策学部
- (2) 東京外国語大学言語文化学部、国際社会学部、外国語学部

3. 出願資格

覚書第2条に定める履修学生は、両大学とも2年次からとし、科目等履修生、研究生及び聴講生等の非正規生は除く。また、両大学の卒業予定者が卒業学期（津田塾大学においては、第4ターム、東京外国語大学においては、夏学期及び冬学期とする。）に履修学生となることはできない。

4. 受入学生数

受け入れる学生数の上限は、受入大学の定めるところによる。

5. 履修科目及び単位数

- (1) 履修学生が履修できる授業科目は、受入大学が定める。
- (2) 履修学生が履修できる単位数の上限は派遣大学において定めるところによる。

6 履修学生の受入手続き等

- (1) 履修学生として、志願する学生は、覚書第2条に基づき、両大学が定める募集時期（年1回）に所属大学に提出する。
- (2) 受入大学は、覚書第3条に基づき、受入の可否を派遣大学に通知する。
- (3) 派遣大学は、履修申請者に速やかに受入の可否を通知する。
- (4) 両大学の開講する授業科目において、当該大学正規生の履修登録がない場合は、開講を取り消すことができるものとする。

7. 学生証の発行

受入大学は、履修学生に学生証を交付する。

8. 履修期間

履修学生としての履修期間は、当該学生の履修する授業科目の開設年度又は開設学期とする。

9. 試験の実施

- (1) 受験上の取扱及び追試験の実施については、受入大学の規程等の定めるところによる。
- (2) 派遣大学と受入大学の試験日時が重複した場合は、派遣大学の授業科目について追試験等の措置を講ずるものとする。
- (3) 不合格科目に対する再試験等は行わない。

10. 成績の通知

- (1) 受入大学は、履修学生の成績を所定期日までに派遣大学に通知する。
- (2) 成績の管理は、派遣大学が行う。
- (3) 成績に関する質問は、受入大学の定めるところによる。
- (4) 履修学生の成績証明書は、派遣大学が発行する。

11. 履修学生に係る連絡

- (1) 履修学生が、休学、退学等をした場合は、派遣大学は受入大学に通知する。
- (2) 履修学生が履修している授業・試験日程が変更された場合は、受入大学は派遣大学に通知する。

12. 授業中の事故等への対応

履修学生が授業中に事故等にあった場合の対応は、次のとおりとする。

- ① 急を要する治療が必要な場合は、受入大学の診療施設を利用することができる。
- ② 生命にかかわるような重大な事故等が発生した場合は、直ちに受入大学において取り得る救急措置を講じるとともに、速やかに当該学生が所属する大学に通知し、救急措置に必要な保健情報の提供その他必要な事項について、当該大学間で対応を協議する。
- ③ ①及び②において学生教育研究災害傷害保険を適用する場合の手続は、当該学生の所属する大学が行う。

13. 施設等の利用

履修学生の履修上必要な施設・設備の利用については、便宜を供する。

14. その他

この実施要項で疑義が生じた場合、両大学間で協議するものとする。

⑩ TAC 単位互換制度

本学は、多摩アカデミックコンソーシアム [TAMA ACADEMIC CONSORTIUM] (以下「TAC」という。)に加盟している。

TACは、多摩地区に所在し、特色のある専門分野を有する大学が、相互にその特質を生かしつつ協力し交流を深め、教育・研究活動の推進と、併せて地域社会との共存共栄をはかることを目的としている。平成29年4月現在、国際基督教大学、国立音楽大学、武蔵野美術大学、東京経済大学、津田塾大学(以下「他大学」という。)および本学の6大学が加盟している。加盟大学は、各大学の学生がそれぞれの大学が指定する学部授業科目を履修し、単位を修得することを認めることとしている。

本学の学生は、以下の要領でTACで開講される各大学の授業科目を履修し、単位を修得することができる。

履修を計画する際は、時間的な制約(本学または自宅からの移動時間や本学で履修する授業の前後に開講される授業科目など)に十分注意すること。

1. 履修資格

2年次以上の学部学生。

2. 授業料等

選考料および受講料は、徴収しない。

3. 履修可能な授業科目

各大学が指定する授業科目。（「履修対象授業科目一覧」参照）

4. 履修期間

各大学が指定した期間とする。

5. 定期試験等の実施方法

期末試験および追・再試験等の試験制度については、各大学の定めによるものとする。また、本学での履修授業科目と他大学の授業科目の試験日時が重複した場合には、本学の履修授業科目において追試験等の措置をする。

6. 単位認定等

各大学において修得した単位は、本学の「教養科目（基礎リテラシー、基礎演習およびスポーツ・身体文化科目を除く。）」「専修科目（導入科目、概論科目、選択科目の卒業論文演習を除く。）」「関連科目」の単位に振り替えることができる。単位認定にあたっては、単位修得後、本学教務課窓口で手続きを行うこと。他大学において修得できる単位数のうち、卒業単位として認定できる単位数は、60単位を限度とする。ただし、4年生が卒業学期に修得した単位を卒業単位とすることはできない。

7. 成績原簿への記載

単位の認定された授業科目の成績原簿への記載は「認」とする。単位については、他大学で修得した単位数を記載する。授業科目の名称は「教養科目（基礎リテラシー、基礎演習およびスポーツ・身体文化科目を除く。）」「専修科目（導入科目、概論科目、選択科目の卒業論文演習を除く。）」として開講している授業科目に振り替えた場合は当該授業科目名とし、他大学名を併記する。「関連科目」に振り替えた場合は、他大学での授業科目名とし、当該大学名を併記する。

① 東京農工大学農学部と東京外国語大学言語文化学部及び国際社会学部との間における単位互換に関する覚書

「東京農工大学と東京外国語大学との間における連携・協力の推進に関する基本協定書」（以下「基本協定書」という。）の1.(1)に基づき、東京農工大学農学部と東京外国語大学言語文化学部及び国際社会学部（以下「実施学部」という。）との間における単位互換に関しては、本覚書により実施する。

（受入れ）

1. 実施学部にて在学する学生が、他方の大学の実施学部の授業科目の履修及び単位の修得を希望する場合は、受入大学の実施学部は、教育研究上支障のない限り、当該学生を受け入れる。

（受入学生の身分）

2. この覚書により受け入れられた学生は「特別聴講学生」として取り扱う。

（履修期間）

3. 特別聴講学生の受け入れ時期は学期の始めとする。また、履修期間は1年以内とし、当該年度を超えないものとする。

（履修科目の範囲及び単位数、受入学生数）

4. 特別聴講学生として履修できる授業科目の範囲、修得できる単位数、受け入れる学生数については、受入大学が定め、所定の期日までに派遣大学に通知する。
(履修手続き)
5. 派遣大学は、授業科目毎に希望学生を取りまとめ、所定の期日までに受入大学に通知する。受入大学は、希望学生の履修の可否について、派遣大学へ通知する。
(単位の授与等)
6. 特別聴講学生が履修した授業科目の成績の評価及び単位の授与については、受入大学の定めるところによる。
特別聴講学生が履修した授業科目の単位の認定については、派遣大学の定めるところによる。
(授業料等)
7. 特別聴講学生の検定料、入学料及び授業料は徴収しない。ただし、実験、実習等で別にかかる費用については、費用を徴収することができる。
(施設等の利用)
8. 受入大学は、特別聴講学生の履修上必要な施設・設備の利用について便宜を供与する。
(保険等)
9. 特別聴講学生は、受入大学が必要とする場合は、学生教育研究災害傷害保険等に加入しなければならない。ただし、派遣大学において加入している場合は、この限りでない。
(規則等の遵守及び身分の取消)
10. 特別聴講学生は、受入大学の規則を遵守しなくてはならない。特別聴講学生が規則等に違反した場合、受入大学はその身分を取り消すことができる。
(その他)
11. この覚書に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。
(有効期間)
12. この覚書は、調印の日から効力を有し、有効期間は基本協定書の3を準用する。
(適用)
13. 第1の規定にかかわらず、東京外国語大学外国語学部が存続する間、当該学部に在学する学生は、本覚書の適用を受けるものとする。

⑫ 清泉女子大学と東京外国語大学との間における単位互換に関する協定

「清泉女子大学と東京外国語大学との連携・協力に関する基本協定書」(以下「基本協定書」という。)の1.(1)に基づき、清泉女子大学と東京外国語大学との間における単位互換に関して、本協定書により実施する。

(実施学部・研究科等)

1. 本協定に基づく単位互換は次の学部・研究科等において実施する。

- (1) 清泉女子大学 文学部、人文科学研究科
- (2) 東京外国語大学 言語文化学部、国際社会学部、総合国際学研究科
アジア・アフリカ言語文化研究所

(受入れ)

2. 実施学部・実施研究科等に所属する学生が、他方の大学の授業科目の履修及び単位の修得を希望する場合、受入大学は、教育研究上支障のない限り、当該学生を受け入れる。

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所に所属する研究生が、清泉女子大学の授業科目の

受講を希望する場合は、単位の修得を目的としない聴講に限り、清泉女子大学は教育研究上支障のない範囲で、当該研究生を受け入れる。

(受入学生等の身分)

3. 本協定により受け入れられた学生又は研究生の身分は、次により取り扱う。

(1) 清泉女子大学 「科目等履修生」、「聴講生(単位の修得を目的としない聴講)」

(2) 東京外国語大学 「特別聴講学生」

(履修期間)

4. 科目等履修生、聴講生又は特別聴講学生(以下「特別聴講学生等」という。)の受け入れ時期は学期の始めとする。また、履修期間は1年以内とし、当該年度を超えないものとする。

(履修科目の範囲及び単位数、受入学生数)

5. 特別聴講学生等として履修できる授業科目の範囲、修得できる単位数、受け入れる学生数については、受入大学が定め、所定の期日までに派遣大学に通知する。

(履修手続き)

6. 派遣大学は、授業科目毎に希望学生を取りまとめ、所定の期日までに受入大学に通知する。受入大学は、希望学生の履修の可否について、派遣大学へ通知する。

(単位の授与等)

7. 科目等履修生又は特別聴講学生が履修した授業科目の成績の評価及び単位の授与については、受入大学の定めるところによる。科目等履修生又は特別聴講学生が履修した授業科目の単位の認定については、派遣大学の定めるところによる。

(授業料等)

8. 特別聴講学生等の検定料、入学料及び授業料(清泉女子大学の場合は、選考料、科目等履修料及び単位認定料)は徴収しない。ただし、実習等で別途かかる費用については、費用を徴収することができる。

(施設等の利用)

9. 受入大学は、特別聴講学生等の履修上必要な施設・設備の利用について便宜を供与する。

(規則等の遵守及び身分の取消)

10. 特別聴講学生等は、受入大学の規則を遵守しなければならない。特別聴講学生等が規則等に違反した場合、受入大学はその身分を取り消すことができる。

(その他)

11. 本協定に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

(有効期間)

12. 本協定は、平成28年4月1日から効力を有し、有効期間は基本協定書の3を準用する。

(運用)

13. 第1の規定にかかわらず、東京外国語大学外国語学部が存続する間、当該学部に所属する学生は、本協定の運用を受けるものとする。

第六部

注意事項、履修に関する Q & A

I. 注意事項

① 一般学生および編入学生の修業年限および在学年限について

修業年限は、学則第14条第1項で、一般には4年間、第3年次に編入学の者は2年間となっています。
また、在学年限は、学則第15条により、修業年限の2倍に相当する年限を超えることができないと規定されています。

☆一般学生の在学できる期間（学則上可能な組合せ）の例

第1年次	第2年次	第3・4年次	通算
1年間	1年間	6年間	8年間
1年間	2年間	5年間	
1年間	3年間	4年間	

② 証明書の発行について

下記の証明書は、月曜日から金曜日（祝日（祝日授業日を含む）・年末年始休業日・夏季一斉休業日は含まない）までの9時から17時、証明書自動発行機でその場で発行できます。証明書自動発行機では発行できない証明書は、発行までに日数がかかりますので、余裕を持って申請してください。

- ・在学証明書（和文・英文）
- ・成績証明書（和文・英文）
- ・卒業見込み証明書（4年生対象、和文・英文）
- ・健康診断書（定期健康診断を受診した方のみ発行可、和文）

それ以外（英文版やその他の証明書）を申請する場合、窓口で所定用紙に記入して申し込んでください。また、郵便・FAX・E-mailでの申し込みについては、以下について自由な様式で記入してください。

- ①学籍番号・氏名・生年月日・地域言語・入学年度
- ②必要な証明書の種類
- ③発行部数
- ④発行理由および提出先
- ⑤厳封の有無

発行までの日数：和文3日 英文・教職に関する証明書・特別な様式7日（土日・祝日（祝日授業日を含む）・年末年始休業日・夏季一斉休業日を含まない）手数料：無料

なお、郵送による場合には、返信用封筒および切手を同封願います。

卒業後に各種証明書の発行を希望する場合も、証明書自動発行機では発行できません。窓口や郵送で所定用紙に記入し申し込んでください。その場合も、同様の発行日数がかかります。

★ 卒業見込証明書使用上の注意について

卒業見込証明書は、当該学生の修得済み単位数、現在履修登録して履修中の単位が卒業所要単位数・条件を満たしているか否かを大学が確認したうえで発行してはなりません。卒業所要単位数等卒業に必要な条件を満たした場合は卒業できる旨を、便宜的に証明しているもので、この観点で第4年次在籍学生のみ、卒業見込証明書が証明書自動発行機によって発行されています。

卒業単位の管理・計算は、学生が自らの責任で行うもので、卒業所要単位を学生が誤って計算した場合でも、申し込めば自動発行されますので、この点を承知してください。

★ 大学院受験のための調査書の発行方法について

大学院受験のための願書等を提出する時に調査書の発行を要する場合は、受験しようとする大学所定の書式に教務課で記入・捺印しますので、必ず募集要項等に付いている書式を添付のうえ、証明書交付願により申請してください。

即日交付はできません。所要日数を事前に確認のうえ余裕をもって申請してください。

なお、「推薦書」に大学印が必要とされる場合は、本人から教員に直接依頼し、記入してもらったうえで交付願に添えてください。

③ 学生本人または保証人に住所変更があった場合について

教務課に直ちに「住所等変更届」を提出してください。関係する課には教務課から周知しますので、学生が手続きをすることは不要です。

引っ越しにより住所を移した場合、自治体へ住民票異動の届出が必要です。

④ キャンパスカード（学生証）を毀損（紛失）した場合の手続きについて

速やかに「キャンパスカード再発行申請書」を教務課に提出してください。発行に1週間程度かかります。

⑤ 単位修得状況に関するお知らせについて

学生が進級に必要な（あるいはそれに相当する）単位を修得できなかった場合、また、卒業所要単位数（125単位）を修得できずに修業年限（4年間）を超えて在籍することになった場合に、単位取得状況を保証人の方に文書でお知らせすることになっています（ただし、休学や本学の派遣留学制度により留学をした場合は除きます）。

個人情報保護の観点から、お知らせに同意するか否か、学生本人の意思を確認することになっています。学生本人の同意がない場合はお知らせしません。

所定の様式（単位取得状況に関するお知らせについて）に学生本人の同意の有無を自筆で記入し、捺印のうえ、教務課へ提出してください。

Ⅱ. 履修に関する Q & A

Q1 履修登録修正期間中であれば、どの授業の登録でも修正できますか？

A 当該期以降に開講される授業は修正が可能です。ただし、通年科目については、春学期の履修登録期間に登録しますが、夏学期以降に修正することはできません。詳しくは次の Q & A をご覧ください。

Q2 春学期に通年科目を登録しましたが、興味が持てないので、秋学期には別の授業に変えたいと思っています。秋学期になってから、同じ時間帯の別の授業（半期）に登録を変更できますか？

A できません。春学期に履修登録した通年科目については、秋学期履修登録期間に取り消して、新たに登録することはできません。春学期の修正期間中に登録変更するようにしてください。

Q3 どの言語を教養外国語として履修することができますか？

A 各自の入学時に指定された地域言語以外で、教養外国語として開講されている言語から一つを選んでください。「教養外国語」（第二部Ⅱ（1）「言語科目」）を参照してください。

Q4 進級要件について

(Q-1) 留年しないかと心配です。進級するために必要な最低条件はなんですか？

(Q-2) 地域言語の単位が足りず第3年次に進級することができませんでした。もし3年目の春学期で不足単位を取ることができれば、10月から進級できますか？

A-1 進級要件は、言語文化学部と国際社会学部で異なります。具体的には、「進級要件」（第一部Ⅶ）を参照してください。

A-2 進級は4月のみです。10月進級の制度はありませんので、このような場合でも次の4月にならないと進級することはできません。

Q5 留学する関係で、9月に卒業したいのですが、どうすればいいのでしょうか？

A 9月卒業を希望する場合は、4月の履修登録期間に必ず9月卒業申請書を提出してください。申請するためには、以下の2つの条件を満たしている必要があります。

① 卒業を予定している年度の9月30日現在、第1年次から第4年次まで合計4年以上（各学年1年以上）在学している学生。

② 卒業を予定している年度の9月30日現在、卒業所要単位125単位以上を修得している学生。
詳細は「9月卒業のための手続き」（第一部Ⅷ）を参照してください。

ただし、第4年次の秋から1年間、協定校へ派遣留学し、帰国後の9月に卒業を希望する場合は、これとは別の手続きが必要です。この詳細については「派遣留学生の9月卒業」（第一部Ⅷ）をご覧ください。

Q6 集中講義について

(Q-1) 集中講義はいつ実施されるのでしょうか？

(Q-2) 集中講義の履修登録は、いつ行えばいいのですか？

(Q-3) 履修を希望している集中講義の日程が授業時間割に見あたりません。どこを見ればよいのでしょうか？

A-1 集中講義は、夏学期中および冬学期中に行います。

A-2 履修登録は、通常の授業と同期間に行います。たとえば冬学期中の集中講義は、春学期・夏学期・秋学期または冬学期の履修登録期間に登録してください。

A-3 履修登録期間までに授業日程が決定していないことがあります。

それらの授業については、後日掲示で学生に周知します。

日程の決定している集中講義については、春学期の履修登録期間に履修登録を行ってもよいのですが、2つ以上の集中講義を履修する場合、日程が1時間でも重複しているものについては、どちらか一方のみを登録してください。

Q7 履修のことで直接先生と会って相談したいのですが、いつ会うことができますか？

A 学生からの質問や相談を受けるために、各教員はオフィスアワーを設けています。オフィスアワーの実施概要については、別冊子『学生便覧』を参照してください。

(単位認定関係)

Q8 成績を見たのですが、疑問に思う点がありました。大学に調べてもらうことはできますか？

A 個別の成績評価に関して疑問点がある場合、学務情報システムにおける成績確認開始日から所定の期限内に、所定の様式に記入して教務課に提出してください。そうすれば教務課から、関係教員に問い合わせることができます。

ただし、この問い合わせができるのは、本学で開講されている科目に限ります。

単位互換制度を利用して履修している他大学の科目は含みません。また科目等履修生など非正規生も対象外です。

(休学・復学関係等)

Q9 休学したいのですが、休学中の期間に対しても授業料は支払わねばならないのでしょうか？

A 休学期間中は、原則として授業料は免除になります。ただし、休学の開始、届出の時期によって、その金額が違ってきます。

学生からは、教務課にのみ届出を行ってください。別途に会計課へ届け出る必要はありません。詳細は学生便覧の該当ページを参照してください。

Q10 休学できる期間に、上限はありますか。

A 通算（合計）して3年間まで休学ができます。ただし、1回の「休学願」で申請できるのは、最長で1年間までです。

このため、休学の継続を希望する者は、休学期間が満了する1か月前までに、再度「休学願」を提出しなければなりません。

Q11 休学中でも在学証明書や成績証明書を出してもらえますか？

A 休学期間中でも、各種証明書の交付が可能です。ただし休学期間中には、履修登録はできません。

Q12 年度の途中で復学したいのですが、途中からでも単位はとれるのでしょうか？

A 年度の中途において復学した者でも、履修案内の第四部Ⅲに記載してある条件を備える場合は、復学した年度の終わりに、履修科目の単位認定を受けることができます。詳細は「復学」(第四部Ⅲ)を参照してください。

Q13 退学するときの手続きを教えてください。もし手続きをとらずに大学を離れたらどうなりますか？

A 退学予定日の1か月前までに、「退学願」及び「学生証」を教務課に提出してください。この「退学願」は、「休学願」と同様、保証人の認印のほか、言語文化学部の1・2年生においては地域言語代表教員、国際社会学部の1・2年生においては地域代表教員の認印が、3・4年生においては両学部とも指導教員の認印が必要となりますので、早めに手続きしてください。

なお、学期の途中に退学する場合であっても、当該学期の授業料を納入しないと退学は許可されません（ただし休学等で免除された分は除きます）。

以上の手続きをとらず、授業料の納入がないまま大学を離れた場合は、年度末で除籍となります。

Q14 本学に在籍したまま他大学を受験することは可能でしょうか？

A 可能です。ただし、事前に所定の受験許可願（言語文化学部の1・2年生においては地域言語代表教員、国際社会学部の1・2年生においては地域代表教員の認印が、3・4年生においては両学部とも指導教員の認印が必要となります）を教務課に提出し、受験許可を受けなければなりません。

Q15 在学中に引越しました。新しい住所も大学に届けるのでしょうか？

A 住所変更があった場合は、必ず速やかに教務課窓口で手続きを行ってください。引越しにより住所を移した場合、自治体へ住民票異動の届出が必要です。

Q16 在学中に保証人が変更になった場合に、提出すべき書類はありますか？

A 保証人が変更になった場合は、以下の書類を教務課に提出する必要があります。

- ・保証人変更届
- ・誓約書（新保証人）
- ・住所等変更届

Q17 学務情報システムの使い方がわかりません。

A 学務情報システムは、本学の総合情報コラボレーションセンターから発行されるIDおよびパスワードでログインができます。IDとパスワードの通知は基礎リテラシーの授業内で本人確認のうえ配付します。IDとパスワードがわからなくなった場合は、すぐに総合情報コラボレーションセンターに問い合わせてください。

規程

- 国立大学法人東京外国語大学学則
- 東京外国語大学言語文化学部に開設する授業科目及び単位数に関する規程
- 東京外国語大学言語文化学部に開設する授業科目の履修方法、卒業所要単位数等に関する規程
- 東京外国語大学において授与資格を得させることができる教員の免許状の種類等に関する規程

東京外国語大学規程集

<http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/outline/regulations.html>

(昭和52年4月1日)
制 定

改正	昭和53年4月1日	昭和54年4月1日
	昭和55年4月1日	昭和56年4月1日
	昭和56年7月1日	昭和57年4月1日
	昭和58年7月1日	昭和59年4月1日
	昭和60年4月17日	昭和61年4月5日
	昭和61年4月16日	昭和61年10月22日
	昭和62年3月13日	昭和62年4月6日
	昭和63年1月20日	昭和63年4月1日
	昭和63年4月7日	平成元年4月1日
	平成元年4月19日	平成2年4月1日
	平成2年6月27日	平成3年3月6日
	平成3年4月1日	平成3年4月12日
	平成3年12月19日	平成4年4月1日
	平成4年6月19日	平成5年1月19日
	平成5年4月1日	平成6年2月2日
	平成6年10月12日	平成7年6月7日
	平成8年4月1日	平成9年5月28日
	平成10年4月23日	平成11年4月1日
	平成11年4月28日	平成12年4月1日
	平成13年4月1日	平成13年7月31日
	平成14年1月30日	平成14年9月25日
	平成15年4月1日	平成15年4月30日規則第26号
	平成15年9月19日規則第46号	平成16年3月26日規則第44号
	平成18年3月28日規則第13号	平成19年2月27日規則第3号
	平成19年10月2日規則第67号	平成20年1月7日規則第1号
	平成20年3月25日規則第24号	平成21年3月31日規則第9号
	平成22年9月28日規則第48号	平成23年3月29日規則第7号
	平成23年11月22日規則第41号	平成24年3月30日規則第85号
	平成25年3月26日規則第7号	平成26年3月27日規則第29号
	平成27年3月27日規則第75号	平成28年3月25日規則第9号
	平成28年7月26日規則第83号	平成28年11月8日規則第86号

東京外国語大学学則の全部を次のように改正する。

第1章 総則

第1節 目的

(目的)

第1条 東京外国語大学（以下「本学」という。）は、世界の言語とそれを基底とする文化一般につき、理論と実際にわたり研究教授し、国際的な活動をするために必要な高い教養を与え、言語を通して世界の諸地域に関する理解を深めることを目的とする。

第2節 組織

(役員)

第1条の2 国立大学法人東京外国語大学（以下「本法人」という。）に、次の役員を置く。

学長

理事

監事

2 役員に関する規則は、別に定める。

(副学長及び学長補佐)

第1条の3 本法人に、学長を支える補佐として、副学長、学長補佐をそれぞれ若干名置くことができる。

2 副学長、学長補佐に関する規則は、別に定める。

(役員会)

第1条の4 本法人に、国立大学法人法（平成15年法律第112号）（以

下「法人法」という。）第11条第2項に規定する役員会を置く。

2 役員会に関する規則は、別に定める。

(経営協議会)

第1条の5 本法人に、法人法第20条第1項に規定する経営協議会を置く。

2 経営協議会に関する規則は、別に定める。

(教育研究評議会)

第1条の6 本法人に、法人法第21条第1項に規定する教育研究評議会を置く。

2 教育研究評議会に関する規則は、別に定める。

(学長選考会議)

第1条の7 本法人に、法人法第12条第2項に規定する学長選考会議を置く。

2 学長選考会議に関する規則は、別に定める。

第1条の8 削除

(企画・執行等の組織)

第1条の9 本法人に、企画・立案、執行等を効率的に行う室その他必要な組織を置くことができる。

(学部)

第2条 本学に、言語文化学部及び国際社会学部（以下「学部」という。）を置く。

2 この学則に定めるもののほか、学部に関する規則は、別に定め

る。

(大学院)

第3条 本学に、大学院を置く。

2 大学院の組織並びに運営の細目については、別に定める。

(附置研究所)

第4条 本学に、アジア・アフリカ言語文化研究所を附置する。

2 アジア・アフリカ言語文化研究所に関する規則は、別に定める。

3 アジア・アフリカ言語文化研究所に、附属情報資源利用研究センターを置く。

4 附属情報資源利用研究センターに関する規則は、別に定める。

(留学生日本語教育センター)

第5条 本学に、留学生日本語教育センターを置く。

2 留学生日本語教育センターに関する規則は、別に定める。

第6条 削除

(附属図書館)

第6条の2 本学に、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関する規則は、別に定める。

(総合情報コラボレーションセンター)

第6条の3 本学に、総合情報コラボレーションセンターを置く。

2 総合情報コラボレーションセンターに関する規則は、別に定める。

(保健管理センター)

第7条 本学に、保健管理センターを置く。

2 保健管理センターに関する規則は、別に定める。

(事務局)

第8条 本学に、事務局を置く。

2 事務局に関する規則は、別に定める。

(内部監査室)

第8条の2 本学に、内部監査室を置く。

2 内部監査室に関する規則は、別に定める。

第3節 構成員

第9条 本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員及び技能職員を置く。

(学部長)

第9条の2 学部に、それぞれ学部長を置く。

2 この学則に定めるもののほか、学部長に関する規則は、別に定める。

(研究科長及び研究院長)

第9条の3 大学院に研究科長及び研究院長を置く。

2 研究科長及び研究院長については、別に定める。

(附置研究所長)

第9条の4 アジア・アフリカ言語文化研究所に、アジア・アフリカ言語文化研究所長を置き、当該研究所の教授をこれに充てる。

(留学生日本語教育センター長)

第9条の5 留学生日本語教育センターに、留学生日本語教育センター長を置き、当該センター教授会構成員の教授をこれに充てる。

第9条の6 削除

(附属図書館長)

第9条の7 附属図書館に、附属図書館長を置き、教授をこれに充てる。

(総合情報コラボレーションセンター長)

第9条の8 総合情報コラボレーションセンターに、総合情報コラボレーションセンター長を置き、教授をこれに充てる。

(保健管理センター所長)

第9条の9 保健管理センターに、保健管理センター所長を置き、

教授をこれに充てる。

(事務局長)

第9条の10 事務局に、事務局長を置き、事務職員をこれに充てる。

第4節 教授会

第10条 削除

(教授会)

第11条 本学の学部、大学院総合国際学研究院、大学院国際日本学研究院、大学院総合国際学研究科、アジア・アフリカ言語文化研究所及び留学生日本語教育センターに教授会を置く。

2 前項の教授会に関する規則は、別に定める。

(運営委員会)

第11条の2 保健管理センターに、運営委員会を置く。

2 運営委員会に関する規則は、別に定める。

第5節 建学記念日及び創立記念日

(建学記念日及び創立記念日)

第12条 本学の建学記念日は、11月4日とし、創立記念日は、4月22日とする。

第2章 学部

第1節 目的及び学科並びに収容定員

(目的)

第13条 言語文化学部は、世界諸地域の言語と文化に精通し、言語や文化の壁を越えたコミュニケーション能力とコーディネート能力を備え、国内外において言語間・文化間の架け橋となり、新たな価値観の創成に寄与する人材を育成することを目的とする。

2 国際社会学部は、世界諸地域の複雑な仕組みを把握し、分析するリサーチ能力と、グローバルな視点から問題を解決する実践的な能力を備え、国内外において、社会・政治・経済等の領域で活躍できる人材を育成することを目的とする。

(学科及び収容定員)

第13条の2 学部に置く学科及び収容定員は、次表のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	第3年次 編入学定員	収容定員
言語文化学部	言語文化学科	370人	15人	1,510人
国際社会学部	国際社会学科	375人	15人	1,530人
合 計		745人	30人	3,040人

第2節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第14条 学部の修業年限は、4年(第41条に規定する派遣留学の期間を含む。)とする。ただし、次の各号に掲げる者の修業年限は、当該各号に定める年限とする。

(1) 第24条の規定により第2年次に編入学等を許可された者 3年

(2) 第20条第2項及び第24条の規定により第3年次に編入学等を許可された者 2年

2 第49条に規定する科目等履修生(大学の学生以外の者に限る。)として本学において一定の単位(学校教育法第90条の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。)を修得し、本学に入学を許可された者で当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、2年を超えない期間を前項本文に規定する修業年限に通算することができる。

(在学年限)

第15条 学部に在学できる年限は、8年(第41条に規定する派遣留学の期間を含む。)とする。

2 第2年次までの在学年限は、前項の規定にかかわらず、4年を

超えることはできない。

3 第24条及び第20条第2項の規定により編入学等を許可された者は、前条第1号及び第2号に定める修業年限の2倍に相当する年限を超えて在学することができない。

4 前条第2項により修業年限に通算する期間がある場合における在学年限は、4年から当該期間を控除した年数の2倍に相当する年数を超えることはできない。

第3節 学年、学期及び休業日

(学年)

第16条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第17条 学年を春学期、夏学期、秋学期及び冬学期に分ける。

2 前項の各学期の期間は、別に定める。

(休業日)

第18条 授業の定期休業日は、次のとおりとする。

(1) 土曜日及び日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(3) 夏期休業日

(4) 冬期休業日

(5) 春期休業日

2 学長は、必要があるときは、前項の休業日に授業を行い、又は臨時の休業日を定めることができる。

3 第1項第3号から第5号の期間は、別に定める。

第4節 入学

(入学の時期)

第19条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、本学が教育上有益と認めるときは、秋学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第20条 学部に入學することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

2 第13条の2の表に掲げる第3年次に編入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 学士の学位を有する者

(2) 大学において2年次以上在学した者

(3) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

(4) 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定するものに限る。)

(5) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)

(6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者

(7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年以上の課程を修了した者

(8) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年以上の課程を修了したとされる者に限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(9) 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者で、学校教育法による大学(短期大学を除く。)へ編入した場合の在学すべき年数が2年以上又は1年以上と定められているもの

(10) その他本学において、前各号に掲げる者と同等以上の学力があると認められた者

(入学の出願)

第21条 本学に入學を志願する者は、入学願書に所定の検定料及び必要書類を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

第22条 前条の入學志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第23条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに所定の書類を提出するとともに、入学科徴収免除又は猶予申請を受理された者を除き、所定の入学科を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入學を許可する。

(編入学、転入学、再入学及び転学部)

第24条 第20条第2項に定める第3年次編入学者のほか、次の各号の一に該当する者で、本学に入學を志願する者があるときには、選考のうえ、相当年次に入學を許可することができる。

(1) 学士の学位を有する者

(2) 大学において1年次以上在学し、所定の単位を修得した者

(3) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

(4) 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定するものに限る。)

(5) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)

(6) 外国において、学校教育における13年以上の課程を修了した者

(7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国にお

いて履修することにより当該外国の学校教育における13年以上の課程を修了した者

- (8) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における13年以上の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (9) 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者
- (10) その他本学において、前各号に掲げる者と同等以上の学力があると認めたる者

第24条の2 転学部を志願する者については、別に定めるところにより、転学部を許可することができる。

2 転学部に関する規則は、別に定める。

第5節 教育課程及び履修方法等

(教育課程の編成方法)

第25条 教育課程は、学部の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に編成する。

(授業科目の区分)

第26条 学部で開設する授業科目の区分は、言語科目、地域科目、教養科目及び専修科目とする。

第26条の2 前条の言語科目、地域科目及び教養科目は学部共通科目として開設し、これらを世界教養プログラムと総称する。

(教職科目)

第27条 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に定める教員の免許状を得ようとする者のために、教職科目を開設する。

2 授与資格を得させることができる教育職員免許状の種類及び免許教科については、別に定める。

(履修コース)

第28条 言語文化学部には、履修コースとして、言語・情報コース、グローバルコミュニケーションコース及び総合文化コースを設定する。

2 国際社会学部に、履修コースとして、地域社会研究コース、現代世界論コース及び国際関係コースを設定する。

3 学生は、在籍する学部のコースのいずれか一つを選んで履修しなければならない。

(開設授業科目及び履修方法等)

第29条 第26条から前条までの規定により開設する授業科目及び単位数、並びに履修方法等については、別に定める。

(単位の計算方法)

第30条 授業科目等の単位数は、1単位の授業科目が45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準として、次の基準により計算する。

- (1) 講義については、毎週1時間15週の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習及び実技については、毎週2時間15週の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験及び実習については、毎週3時間15週の授業をもって1単位とする。

(単位の授与)

第31条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(成績の評価)

第32条 各授業科目の成績、合否、評語等は、別に定めるところによる。

(他大学等における授業科目の履修等)

第33条 学長は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学（以下「他大学等」という。）との協議に基づき、学生が他大学等において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合及び外国の大学又は短期大学が行う通信教育による授業科目を国内において履修し、修得した単位の取扱いについて準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第34条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることのできる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第35条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第33条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 入学前の既修得単位等の認定に関する必要な事項は、別に定める。

(編入学等の単位等の取扱い)

第36条 第20条第2項及び第24条の規定により編入学等を許可された者に係る既履修授業科目及び単位数（科目等履修生として修得した単位を含む。）の取扱いについては、別に定める。

第6節 休学、転学、留学及び退学

(休学)

第37条 疾病その他特別の理由により、引き続き2ヶ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 学長は、疾病等のため、修学することが適当でないと認められる者については、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第38条 休学期間は、1年以内とする。ただし、学長は特別の理由があるときは、1年を超えない範囲内において休学期間の延長を許可し、又は命ずることができる。当該延長に係る期間が満了した場合において、これを更に延長しようとするときも、同様とする。

2 休学期間は、通算して3年を超えることができない。

3 休学期間は、第14条の修業年限及び第15条の在学年限に算入しない。

(復学)

第39条 学生は、休学期間中にその理由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第40条 他の大学へ入学又は転入学を志願する者又は本学の他の学部へ入学を志願する者は、あらかじめ学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第41条 外国の大学に留学を志願する者は、あらかじめ学長の許可を受けなければならない。

第41条の2 この学則において前条の留学の用語の意義は、次の各号に定めるところによる。

(1) 派遣留学 第2年次以上の学部学生が本学を休学せず別に定めるところにより協定大学等に派遣されるもの

(2) 休学留学 第3年次以上の学部学生が本学を休学し、外国の大学等において修学を目的として留学し、修得した単位を本学の単位として認定を希望するもの

(3) ショートビジット 学部学生が、原則として本学の休業期間を利用し、本学が指定する留学プログラムに参加するもの(退学)

第42条 退学しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第43条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

(1) 第15条に定める在学年限を超えた者

(2) 第38条第1項及び第2項に定める休学期間を超えた者

(3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(4) 入学料の免除若しくは徴収猶予を申請した者のうち、免除若しくは徴収猶予が不許可になった者若しくは半額免除が許可になった者で所定の期日までに入学料を納付しない者又は徴収猶予を許可された者で猶予された期日までに入学料を納付しない者

第7節 卒業及び学位

(卒業の要件)

第44条 学部に第14条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、125単位以上を修得した者については、教授会の議を経て学長が卒業を認定する。

2 卒業に要する授業科目及び履修単位については、別に定める。

3 学長は、卒業を認定した者に対し、本学学位規程の定めるところにより、卒業証書・学位記を授与する。

(学位)

第45条 学部において授与する学位は、学士(言語・地域文化)とする。

第8節 賞罰

(表彰)

第46条 学生として、表彰に値する行為があったときは、学長は、これを表彰する。

(懲戒)

第47条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者については、教育研究評議会の議を経て学長がこれを懲戒する。

2 前項の懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で、改善の見込みがない者

(2) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学の期間は、第15条の在学年限に算入し、第14条の修業年限に算入しない。ただし、停学の期間が3月を超えないときは、教授会の議を経て第14条の修業年限に算入することができる。

第3章 雑則

第1節 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生

(研究生)

第48条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、学生の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関する規則は、別に定める。

(科目等履修生)

第49条 本学において、特定の授業科目について履修を志願する者があるときは、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関する規則は、別に定める。

(特別聴講学生)

第50条 他大学等、外国の大学又は短期大学(以下「外国の大学等」という。)並びに大学以外の教育施設等の学生で、本学において授業科目の履修を志願する者があるときは、当該他大学等、外国の大学等又は大学以外の教育施設等との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に関して必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第51条 外国人で、教育又は研修を受ける目的、若しくは研究を行う目的をもって我が国に入学し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第2節 学寮

(寄宿寮)

第52条 本学に学寮を置く。

2 学寮に関する規則は、別に定める。

第3節 授業料、入学料、検定料及び寄宿料

(授業料等)

第53条 授業料、入学料、検定料及び寄宿料の額及び徴収方法は、国立大学法人東京外国語大学授業料その他の費用に関する規程の定めるところによる。

2 国費外国人留学生の授業料、入学料及び検定料は、徴収しない。(休学の場合の授業料)

第54条 休学を許可し、又は命じた場合、休学した月の翌月から復学した月の前月までの授業料を免除する。

(授業料、入学料及び寄宿料の免除及び徴収猶予)

第55条 経済的な理由により納付が困難であり、かつ学業優秀と認める場合、又はその他止むを得ない事情があると認める場合は、願出により授業料、入学料及び寄宿料の全部又は一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

2 授業料、入学料及び寄宿料の免除及び徴収の猶予については、別に定める。

(検定料の免除)

第55条の2 風水害等の災害を受ける等止むを得ない事情があると認める場合は、願出により検定料の全額を免除することがある。

2 検定料の免除については、別に定める。

(研究生、科目等履修生等の授業料等)

第56条 研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の授業料、入学料及び検定料については、別に定める。

(既納の授業料等)

第57条 既納の授業料、入学料、検定料及び寄宿料は、還付しない。ただし、授業料については、入学を許可するときに納付した者が、入学する月の前月末日までに入学を辞退した場合及び前半期(4

月1日から9月30日までをいう。)分授業料徴収の際、後半期(10月1日から翌年3月31日までをいう。)分授業料を併せて納付した者が、後半期分授業料の徴収時期前に休学又は退学した場合、並びに検定料のうち第2段階目の選抜に係る額については、納付者が第1段階選抜で不合格となった場合、及び第55条の2の規定により免除された場合は、この限りでない。

第4節 公開講座

(公開講座)

第58条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することがある。

2 公開講座に関し、必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この学則は、昭和52年4月1日から施行する。
- 2 この学則の改正に伴い、特設日本語学科に関し、東京外国語大学学則の特例を定める規則(昭和46年12月17日制定)は、廃止する。
- 3 この学則の施行日現在に在学する学生については、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和56年7月1日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和59年4月1日から施行し、インドネシア・マレーシア語学科のマレーシア語学文学講座に開設する授業科目及びその修得すべき単位数については、昭和59年4月11日から適用する。
- 2 インドネシア語学科は、この学則による改正後の学則第11条の規定にかかわらず、昭和59年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、当該学科学生に開設する授業科目及びその履修方法については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和60年4月17日から施行し、昭和60年4月1日から適用する。
- 2 特設日本語学科は、この学則による改正後の学則第11条の規定にかかわらず、昭和60年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、当該学科学生に開設する授業科目及びその履修方法については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、昭和61年4月5日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。
- 2 第11条に定める総定員は、同条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和63年度までは、次のとおりとする。

学 科	昭和 61 年度	昭和 62 年度	昭和 63 年度
英米語学科	282名	284名	286名
フランス語学科	242名	244名	246名
イタリア語学科	122名	124名	126名
ドイツ語学科	242名	244名	246名
ロシア語学科	242名	244名	246名
スペイン語学科	282名	284名	286名
ポルトガル・ブラジル語学科	122名	124名	126名
中国語学科	242名	244名	246名
朝鮮語学科	62名	64名	66名
モンゴル語学科	62名	64名	66名
インド・パーキスタン語学科	123名	126名	129名
インドネシア・マレーシア語学科	112名	124名	126名
インドシナ語学科	135名	150名	165名
アラビア語学科	62名	64名	66名
ペルシア語学科	62名	64名	66名
日本語学科	150名	165名	180名
合 計	2,544名	2,613名	2,672名

3 昭和60年度以前の入学者については、第23条第1項、第24条第1項、第31条第1項第2号及び第32条第1項第2号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、昭和61年4月16日から施行し、昭和61年4月5日から適用する。

附 則

この学則は、昭和61年10月22日から施行する。

附 則

この学則は、昭和62年3月13日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、昭和62年4月6日から施行し、昭和62年4月1日から適用する。
- 2 第11条に定める総定員は、同条の規定にかかわらず、昭和62年度から平成元年度までは、次のとおりとする。

学 科	昭和 62 年度	昭和 63 年度	平成 元年度
英米語学科	286名	290名	294名
フランス語学科	246名	250名	254名
イタリア語学科	126名	130名	134名
ドイツ語学科	246名	250名	254名
ロシア語学科	246名	250名	254名
スペイン語学科	286名	290名	294名
ポルトガル・ブラジル語学科	126名	130名	134名
中国語学科	246名	250名	254名
朝鮮語学科	66名	70名	74名
モンゴル語学科	66名	70名	74名
インド・パーキスタン語学科	130名	137名	144名
インドネシア・マレーシア語学科	126名	130名	134名
インドシナ語学科	150名	165名	180名
アラビア語学	66名	70名	74名

学 科	昭和 62年度	昭和 63年度	平成 元年度
ペルシア語学科	66名	70名	74名
日本語学科	165名	180名	180名
合 計	2,643名	2,732名	2,806名

附 則

この学則は、昭和63年1月20日から施行し、インド・パーキスタン語学科の講座及び授業科目の名称改正については、昭和62年5月21日から適用する。

附 則

この学則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、昭和63年4月7日から施行し、昭和63年4月1日から適用する。

2 第11条に定める総定員は、同条の規定にかかわらず、昭和63年度から平成2年度までは、次のとおりとする。

学 科	昭和 63年度	平成 元年度	平成 2年度
英米語学科	292名	298名	302名
フランス語学科	251名	256名	259名
イタリア語学科	131名	136名	139名
ドイツ語学科	251名	256名	259名
ロシア語学科	251名	256名	259名
スペイン語学科	291名	296名	299名
ポルトガル・ブラジル語学科	130名	134名	136名
中国語学科	251名	256名	259名
朝鮮語学科	71名	76名	79名
モンゴル語学科	70名	74名	76名
インド・パーキスタン語学科	137名	144名	148名
インドネシア・マレーシア語学科	131名	136名	139名
インドシナ語学科	165名	180名	180名
アラビア語学科	71名	76名	79名
ペルシア語学科	71名	76名	79名
日本語学科	180名	180名	180名
合 計	2,744名	2,830名	2,872名

附 則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成元年4月19日から施行し、平成元年4月1日から適用する。

2 第11条に定める総定員は、同条の規定にかかわらず、平成元年度から平成3年度までは、次のとおりとする。

学 科	平成 元年度	平成 2年度	平成 3年度
英米語学科	298名	302名	304名
フランス語学科	256名	259名	260名
イタリア語学科	136名	139名	140名
ドイツ語学科	256名	259名	260名
ロシア語学科	256名	259名	260名
スペイン語学科	296名	299名	300名
ポルトガル・ブラジル語学科	134名	136名	136名

学 科	平成 元年度	平成 2年度	平成 3年度
中国語学科	256名	259名	260名
朝鮮語学科	76名	79名	80名
モンゴル語学科	74名	76名	76名
インド・パーキスタン語学科	144名	148名	148名
インドネシア・マレーシア語学科	136名	139名	140名
インドシナ語学科	180名	180名	180名
アラビア語学科	76名	79名	80名
ペルシア語学科	76名	79名	80名
日本語学科	180名	180名	180名
合 計	2,830名	2,872名	2,884名

附 則

1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。

2 平成2年4月1日前に在学し、卒業するまでに改正前の学則に規定する教育職員免許状の所要資格を得た者は、当該旧免許状に対応する新免許状に係る所要資格を得たものとみなす。

附 則

1 この学則は、平成2年6月27日から施行し、平成2年4月1日から適用する。

2 第11条に定める総定員は、同条の規定にかかわらず、平成2年度から平成4年度までは、次のとおりとする。

学 科	平成 2年度	平成 3年度	平成 4年度
英米語学科	302名	304名	304名
フランス語学科	259名	260名	260名
イタリア語学科	139名	140名	140名
ドイツ語学科	259名	260名	260名
ロシア語学科	259名	260名	260名
スペイン語学科	299名	300名	300名
ポルトガル・ブラジル語学科	136名	136名	136名
中国語学科	259名	260名	260名
朝鮮語学科	79名	80名	80名
モンゴル語学科	76名	76名	76名
インド・パーキスタン語学科	148名	148名	148名
インドネシア・マレーシア語学科	139名	140名	140名
インドシナ語学科	180名	180名	180名
アラビア語学科	79名	80名	80名
ペルシア語学科	79名	80名	80名
日本語学科	180名	180名	180名
合 計	2,872名	2,884名	2,884名

附 則

この学則は、平成3年3月6日から施行し、平成2年4月1日から適用する。

附 則

1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。

2 ロシア語学科は、この学則による改正後の学則第11条の規定にかかわらず、平成3年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 第11条に定める総定員は、同条の規定にかかわらず、平成3年度から平成5年度までは、次のとおりとする。

学 科	平成 3年度	平成 4年度	平成 5年度
英米語学科	304名	304名	304名
フランス語学科	260名	260名	260名
イタリア語学科	140名	140名	140名
ドイツ語学科	260名	260名	260名
ロシア・東欧語学科	300名	340名	380名
スペイン語学科	300名	300名	300名
ポルトガル・ブラジル語学科	136名	136名	136名
中国語学科	260名	260名	260名
朝鮮語学科	95名	110名	125名
モンゴル語学科	76名	76名	76名
インド・パキスタン語学科	148名	148名	148名
インドネシア・マレーシア語学科	140名	140名	140名
インドシナ語学科	180名	180名	180名
アラビア語学科	80名	80名	80名
ペルシア語学科	80名	80名	80名
日本語学科	180名	180名	180名
合 計	2,939名	2,994名	3,049名

附 則

- この学則は、平成3年4月12日から施行する。
- ロシア語学科に開設する授業科目及びその履修方法については、この学則による改正後の学則第27条別表第4の規定にかかわらず、平成3年3月31日に当該学科に在学する者が在学しなくなるまでの間は、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成3年12月19日から施行する。

附 則

- この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- インドネシア・マレーシア語学科及びインドシナ語学科は、この学則による改正後の学則第11条の規定にかかわらず、平成4年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

- この学則は、平成4年6月19日から施行し、平成4年4月10日から適用する。
- インドネシア・マレーシア語学科及びインドシナ語学科に開設する授業科目及びその履修方法については、この学則による改正後の学則第27条別表第4の規定にかかわらず、平成4年3月31日に当該学科に在学する者が在学しなくなるまでの間は、なお従前の例による。

附 則

- この学則は、平成5年4月1日から施行する。
- アラビア語学科及びペルシア語学科は、この学則による改正後の学則第11条の規定にかかわらず、平成5年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとし、当該学科学生に開設する授業科目及びその履修方法については、なお従前の例による。
- 第11条に規定するロシア・東欧語学科、朝鮮語学科、東南アジア語学科及び中東語学科の収容定員は、改正後の同条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学 科	平成5年度	平成6年度
ロシア・東欧語学科	315名	
朝鮮語学科	125名	
東南アジア語学科	240名	360名
中東語学科	55名	110名

- 改正後の第11条の規定にかかわらずロシア語学科、インドネシア・マレーシア語学科、インドシナ語学科、アラビア語学科及びペルシア語学科の収容定員は、次のとおりとする。

学 科	平成 5年度	平成 6年度	平成 7年度
ロシア語学科	65名		
インドネシア・マレーシア語学科	70名	35名	
インドシナ語学科	90名	45名	
アラビア語学科	60名	40名	20名
ペルシア語学科	75名	55名	35名

附 則

この学則は、平成6年2月2日から施行し、平成5年4月1日から適用する。

附 則

- この学則は、平成7年6月7日から施行し、平成7年4月1日から適用する。
- 第13条に定める収容定員は、同条の規定にかかわらず、平成7年度から平成9年度までは、次のとおりとする。

課 程	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度
欧米第一課程	141名	282名	423名
欧米第二課程	209名	418名	627名
ロシア・東欧課程	105名	210名	315名
東アジア課程	119名	238名	357名
東南アジア課程	120名	240名	360名
南・西アジア課程	92名	184名	276名
日本課程	45名	90名	135名
合 計	831名	1,662名	2,493名

- この学則改正前の各学科は、改正後の学則第13条の規定にかかわらず、平成7年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間存続するものとし、当該学科に開設する授業科目及びその履修方法については、なお従前の例による。
- 各学科の収容定員は、改正後の第13条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学 科	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度
英米語学科	228名	152名	76名
フランス語学科	195名	130名	65名
イタリア語学科	105名	70名	35名
ドイツ語学科	195名	130名	65名
ロシア・東欧語学科	315名	210名	105名
スペイン語学科	225名	150名	75名
ポルトガル・ブラジル語学科	102名	68名	34名
中国語学科	195名	130名	65名
朝鮮語学科	105名	70名	35名

学 科	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度
モンゴル語学科	57名	38名	19名
インド・パキスタン語学科	111名	74名	37名
東南アジア語学科	360名	240名	120名
中東語学科	110名	110名	55名
日本語学科	135名	90名	45名
合 計	2,438名	1,662名	831名

附 則

- この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 第13条に定める収容定員は、平成8年度から平成10年度までは、同条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

課 程	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度
欧米第一課程	282名	423名	564名
欧米第二課程	413名	617名	821名
ロシア・東欧課程	205名	305名	405名
東アジア課程	238名	357名	476名
東南アジア課程	240名	360名	480名
南・西アジア課程	184名	276名	368名
日本課程	90名	135名	180名
合 計	1,652名	2,473名	3,294名

附 則

- この学則は、平成9年5月28日から施行し、平成9年4月1日から適用する。
- 第13条に定める収容定員は、平成9年度から平成11年度までは、同条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

課 程	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度
欧米第一課程	443人	604人	604人
欧米第二課程	617人	821人	816人
ロシア・東欧課程	305人	405人	400人
東アジア課程	352人	466人	461人
東南アジア課程	360人	480人	480人
南・西アジア課程	271人	358人	353人
日本課程	135人	180人	180人
合 計	2,483人	3,314人	3,294人

附 則

- この学則は、平成10年4月23日から施行し、平成10年4月1日から適用する。
- 第13条に定める収容定員は、平成10年度から平成12年度までは、同条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

課 程	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度
欧米第一課程	599人	594人	589人
欧米第二課程	808人	790人	777人
ロシア・東欧課程	405人	400人	400人
東アジア課程	476人	481人	476人
東南アジア課程	480人	480人	480人
南・西アジア課程	346人	329人	312人
日本課程	180人	180人	180人
合 計	3,294人	3,254人	3,214人

附 則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成11年4月28日から施行し、平成11年4月1日から適用する。
- 第13条に定める収容定員は、平成11年度から平成13年度までは、同条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

課 程	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度
欧米第一課程	588人	577人	566人
欧米第二課程	789人	775人	761人
ロシア・東欧課程	400人	400人	400人
東アジア課程	472人	458人	449人
東南アジア課程	460人	440人	420人
南・西アジア課程	329人	312人	300人
日本課程	180人	180人	180人
合 計	3,218人	3,142人	3,076人

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年7月31日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年1月30日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年9月25日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月30日から施行し、平成15年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成15年9月19日から施行する。

附 則

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成19年10月2日から施行し、平成19年9月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成22年10月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成23年3月29日から施行する。

附 則

- この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 外国語学部は、平成24年3月31日に同学部に在学する者（以下「外国語学部在学者」という。）及び同年4月1日以降に外国語学

部在学者の属する年次に入学する者が外国語学部在学しなくなるまでの間、存続するものとし、教育課程、履修方法、その他学生の教育に必要な事項、学部長の設置及び教授会の設置は従前のおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 外国語学部は、第2条第1項の規定にかかわらず、平成24年3月31日に同学部に在学する者及び同年4月1日以降に同学部に入学する者が当該学部在学しなくなるまでの間、存続するものとし、学部長その他の規定の適用については、なお従前の例による。ただし、学則第41条の2第3号に定めるショートビジットについては、準用できるものとする。
- 3 第13条の2に定める収容定員は、同条の規定にかかわらず、平成24年度から平成26年度にあつては、次のとおりとする。

学 部	学 科	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
言語文化学部	言語文化学科	370人	740人	1,125人
国際社会学部	国際社会学科	375人	750人	1,140人
合 計		745人	1,490人	2,265人

附 則

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、第9条の5の規定については、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成28年7月26日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、平成28年11月8日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

平成24年3月27日
規則 第12号
(改正年月日：省略)

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人東京外国語大学学則（昭和52年4月1日制定）第29条の規定に基づき、言語文化学部に開設する授業科目及び単位数について必要な事項を定める。

(授業科目)

第2条 授業科目の編成は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 共通科目 言語科目、地域科目、教養科目、教職科目
- (2) 専修科目 導入科目、概論科目、選択科目
- (3) 関連科目

2 前項第1号のうち言語科目、地域科目、教養科目は、言語文化学部、国際社会学部共通（以下「両学部共通」という。）の科目とし、世界教養プログラムと総称する。

3 第1項第1号に規定する言語科目、第1項第2号に規定する概論科目及び選択科目は、学生が選択できる科目の範囲を指定するため、言語類別に区分する。

(言語科目)

第3条 両学部共通の科目として、地域言語A、地域言語C、GLIP英語科目、教養外国語を開設する。

2 前項の科目は演習とし、授業科目及び単位数は、別表1から3に掲げるとおりとする。

(地域科目)

第4条 両学部共通の科目として、地域科目を開設する。

2 地域科目は講義とし、授業科目及び単位数は、別表4に掲げるとおりとする。

(教養科目)

第5条 両学部共通の教養科目を開設する。

2 教養科目は講義、演習又は実技とし、授業科目及び単位数は、別表5に掲げるとおりとする。

(教職科目)

第6条 教育職員免許状の所要資格取得のため、教科に関する科目、教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目を開設する。

2 前項の科目は、講義、演習又は実習とし、授業科目及び単位数は、別表6から9に掲げるとおりとする。

3 教育実習及び教職実践演習の単位の取扱等については、別に定める。

(導入科目)

第7条 学科の共通科目として、各履修コースに導入科目を開設する。

2 前項の科目は講義とし、授業科目及び単位数は、別表10に掲げるとおりとする。

(概論科目及び選択科目)

第8条 各履修コースに概論科目及び選択科目を開設する。

2 前項の科目は講義とし、授業科目及び単位数は、別表11及び12に掲げるとおりとする。

3 類別の区分は、別表13のとおりとする。

(卒業論文、卒業研究)

第9条 卒業論文、卒業研究は、執筆等により行うものとする。

2 卒業論文、卒業研究の単位は、8単位とする。

(関連科目)

第10条 関連科目は、より広い教養を身につけるために、選択して履修する科目とする。

2 関連科目は、世界教養プログラム、専修科目から選択するものとする。

(科目開講一覧)

第11条 第3条から前条までに規定する各授業科目については、科目開講一覧を別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

2 平成28年3月31日に在学する学生については、改正後の規定にかかわらず、従前の例によるものとする。ただし、平成28年4月1日以降に新たに開講する授業科目及び単位数については、当該学生にも適用する。

附 則

1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。

2 改正後の規定にかかわらず、平成29年3月31日に在学する学生に係る授業科目及び単位数については、なお従前の例による。

3 前項にかかわらず、別表4の「地域基礎1A（日本2）」、別表5の、「協働基礎ゼミ」、「就業体験」、「キャリアデザイン論3A」、「キャリアデザイン論3B」、別表7、別表11及び別表13の「アメリカ文化概論A（ポルトガル語圏文学）」、「ヨーロッパ文化概論B（ドイツ文学）」、「アジア・アフリカ言語研究概論A（ビルマ語学）」、「西アジア・北アフリカ文化概論A（ペルシア文学1）」は、平成29年3月31日に在学する学生についても履修することができる。

別表1 (第3条関係)

地域言語

類	授業科目	単位	
英語類	地域言語A (英語 I)	10	
	地域言語A (英語 I - 1)	1	
	地域言語A (英語 I - 2)	1	
	地域言語A (英語 I - 3)	1	
	地域言語A (英語 I - 4)	1	
	地域言語A (英語 I - 5)	1	
	地域言語A (英語 I - 6)	1	
	地域言語A (英語 I - 7)	1	
	地域言語A (英語 I - 8)	1	
	地域言語A (英語 I - 9)	1	
	地域言語A (英語 I - 10)	1	
	地域言語A (英語 II - 1)	1	
	地域言語A (英語 II - 2)	1	
	地域言語A (英語 II - 3)	1	
	地域言語A (英語 II - 4)	1	
	地域言語A (英語 II - 5)	1	
	地域言語A (英語 II - 6)	1	
	地域言語A (英語 II - 7)	1	
	地域言語A (英語 II - 8)	1	
	地域言語A (英語 II - 9)	1	
	地域言語A (英語 II - 10)	1	
	地域言語A (英語 III - 1)	1	
	地域言語A (英語 III - 2)	1	
	地域言語A (英語 III - 3)	1	
	地域言語A (英語 III - 4)	1	
	地域言語A (英語 III - 5)	1	
	地域言語A (英語 III - 6)	1	
	地域言語A (英語 III - 7)	1	
	地域言語A (英語 III - 8)	1	
	ドイツ語類	地域言語A (ドイツ語 I)	10
		地域言語A (ドイツ語 II - 1)	1
		地域言語A (ドイツ語 II - 2)	1
地域言語A (ドイツ語 II - 3)		1	
地域言語A (ドイツ語 II - 4)		1	
地域言語A (ドイツ語 II - 5)		1	
地域言語A (ドイツ語 II - 6)		1	
地域言語A (ドイツ語 II - 7)		1	
地域言語A (ドイツ語 II - 8)		1	
地域言語A (ドイツ語 II - 9)		1	
地域言語A (ドイツ語 II - 10)		1	
地域言語A (ドイツ語 III - 1)		1	
地域言語A (ドイツ語 III - 2)		1	
地域言語A (ドイツ語 III - 3)		1	
地域言語A (ドイツ語 III - 4)		1	
地域言語A (ドイツ語 III - 5)		1	
地域言語A (ドイツ語 III - 6)	1		
地域言語A (ドイツ語 III - 7)	1		
地域言語A (ドイツ語 III - 8)	1		

類	授業科目	単位
フランス語類	地域言語A (フランス語 I)	10
	地域言語A (フランス語 II - 1)	1
	地域言語A (フランス語 II - 2)	1
	地域言語A (フランス語 II - 3)	1
	地域言語A (フランス語 II - 4)	1
	地域言語A (フランス語 II - 5)	1
	地域言語A (フランス語 II - 6)	1
	地域言語A (フランス語 II - 7)	1
	地域言語A (フランス語 II - 8)	1
	地域言語A (フランス語 II - 9)	1
	地域言語A (フランス語 II - 10)	1
	地域言語A (フランス語 III - 1)	1
	地域言語A (フランス語 III - 2)	1
	地域言語A (フランス語 III - 3)	1
	地域言語A (フランス語 III - 4)	1
	地域言語A (フランス語 III - 5)	1
	地域言語A (フランス語 III - 6)	1
	地域言語A (フランス語 III - 7)	1
	地域言語A (フランス語 III - 8)	1
	イタリア語類	地域言語A (イタリア語 I)
地域言語A (イタリア語 II - 1)		1
地域言語A (イタリア語 II - 2)		1
地域言語A (イタリア語 II - 3)		1
地域言語A (イタリア語 II - 4)		1
地域言語A (イタリア語 II - 5)		1
地域言語A (イタリア語 II - 6)		1
地域言語A (イタリア語 II - 7)		1
地域言語A (イタリア語 II - 8)		1
地域言語A (イタリア語 II - 9)		1
地域言語A (イタリア語 II - 10)		1
地域言語A (イタリア語 III - 1)		1
地域言語A (イタリア語 III - 2)		1
地域言語A (イタリア語 III - 3)		1
地域言語A (イタリア語 III - 4)		1
地域言語A (イタリア語 III - 5)		1
地域言語A (イタリア語 III - 6)	1	
地域言語A (イタリア語 III - 7)	1	
地域言語A (イタリア語 III - 8)	1	
スペイン語類	地域言語A (スペイン語 I)	10
	地域言語A (スペイン語 II - 1)	1
	地域言語A (スペイン語 II - 2)	1
	地域言語A (スペイン語 II - 3)	1
	地域言語A (スペイン語 II - 4)	1
	地域言語A (スペイン語 II - 5)	1
	地域言語A (スペイン語 II - 6)	1
	地域言語A (スペイン語 II - 7)	1
	地域言語A (スペイン語 II - 8)	1
	地域言語A (スペイン語 II - 9)	1
	地域言語A (スペイン語 II - 10)	1
	地域言語A (スペイン語 III - 1)	1

類	授業科目	単位
スペイン語類	地域言語A (スペイン語Ⅲ-2)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅲ-3)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅲ-4)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅲ-5)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅲ-6)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅲ-7)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅲ-8)	1
ポルトガル語類	地域言語A (ポルトガル語Ⅰ)	10
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-10)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅲ-1)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅲ-2)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅲ-3)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅲ-4)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅲ-5)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅲ-6)	1
地域言語A (ポルトガル語Ⅲ-7)	1	
地域言語A (ポルトガル語Ⅲ-8)	1	
ロシア語類	地域言語A (ロシア語Ⅰ)	10
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-10)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅲ-1)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅲ-2)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅲ-3)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅲ-4)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅲ-5)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅲ-6)	1
地域言語A (ロシア語Ⅲ-7)	1	
地域言語A (ロシア語Ⅲ-8)	1	
中国語類	地域言語A (中国語Ⅰ)	10
	地域言語A (中国語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-4)	1

類	授業科目	単位	
中国語類	地域言語A (中国語Ⅱ-5)	1	
	地域言語A (中国語Ⅱ-6)	1	
	地域言語A (中国語Ⅱ-7)	1	
	地域言語A (中国語Ⅱ-8)	1	
	地域言語A (中国語Ⅱ-9)	1	
	地域言語A (中国語Ⅱ-10)	1	
	地域言語A (中国語Ⅲ-1)	1	
	地域言語A (中国語Ⅲ-2)	1	
	地域言語A (中国語Ⅲ-3)	1	
	地域言語A (中国語Ⅲ-4)	1	
	地域言語A (中国語Ⅲ-5)	1	
	地域言語A (中国語Ⅲ-6)	1	
	地域言語A (中国語Ⅲ-7)	1	
	地域言語A (中国語Ⅲ-8)	1	
	朝鮮語類	地域言語A (朝鮮語Ⅰ)	10
		地域言語A (朝鮮語Ⅱ-1)	1
		地域言語A (朝鮮語Ⅱ-2)	1
地域言語A (朝鮮語Ⅱ-3)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅱ-4)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅱ-5)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅱ-6)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅱ-7)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅱ-8)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅱ-9)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅱ-10)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅲ-1)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅲ-2)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅲ-3)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅲ-4)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅲ-5)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅲ-6)		1	
地域言語A (朝鮮語Ⅲ-7)	1		
地域言語A (朝鮮語Ⅲ-8)	1		
ポーランド語類	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-1)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-2)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-3)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-4)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-5)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-6)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-7)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-8)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-9)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅰ-10)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅱ-1)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅱ-2)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅱ-3)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅱ-4)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅱ-5)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅱ-6)	1	
	地域言語A (ポーランド語Ⅱ-7)	1	

類	授業科目	単位	
アラビア語類	地域言語A (アラビア語Ⅲ-3)	1	
	地域言語A (アラビア語Ⅲ-4)	1	
	地域言語A (アラビア語Ⅲ-5)	1	
	地域言語A (アラビア語Ⅲ-6)	1	
	地域言語A (アラビア語Ⅲ-7)	1	
	地域言語A (アラビア語Ⅲ-8)	1	
ペルシア語類	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-1)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-2)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-3)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-4)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-5)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-6)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-7)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-8)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-9)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅰ-10)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-1)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-2)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-3)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-4)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-5)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-6)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-7)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-8)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-9)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-10)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅲ-1)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅲ-2)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅲ-3)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅲ-4)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅲ-5)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅲ-6)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅲ-7)	1	
	地域言語A (ペルシア語Ⅲ-8)	1	
	トルコ語類	地域言語A (トルコ語Ⅰ-1)	1
		地域言語A (トルコ語Ⅰ-2)	1
地域言語A (トルコ語Ⅰ-3)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅰ-4)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅰ-5)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅰ-6)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅰ-7)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅰ-8)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅰ-9)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅰ-10)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅱ-1)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅱ-2)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅱ-3)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅱ-4)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅱ-5)		1	
地域言語A (トルコ語Ⅱ-6)		1	

類	授業科目	単位	
トルコ語類	地域言語A (トルコ語Ⅱ-7)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅱ-8)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅱ-9)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅱ-10)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅲ-1)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅲ-2)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅲ-3)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅲ-4)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅲ-5)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅲ-6)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅲ-7)	1	
	地域言語A (トルコ語Ⅲ-8)	1	
	日本語類	地域言語A (日本語Ⅰ)	10
		地域言語A (日本語Ⅰ-1)	14
		地域言語A (日本語Ⅱ-1)	1
地域言語A (日本語Ⅱ-2)		1	
地域言語A (日本語Ⅱ-3)		1	
地域言語A (日本語Ⅱ-4)		1	
地域言語A (日本語Ⅱ-5)		1	
地域言語A (日本語Ⅱ-6)		1	
地域言語A (日本語Ⅱ-7)		1	
地域言語A (日本語Ⅱ-8)		1	
地域言語A (日本語Ⅱ-9)		1	
地域言語A (日本語Ⅱ-10)		1	
地域言語A (日本語総合-1)		10	
地域言語A (日本語総合-2)		10	
地域言語A (日本語総合-3)		5	
地域言語A (日本語総合-4)		5	
地域言語A (日本語総合-5)		5	
地域言語A (日本語総合-6)		3	
地域言語A (日本語総合-7)		2	
地域言語A (日本語技能・語彙文法-1)		1	
地域言語A (日本語技能・語彙文法-2)		1	
地域言語A (日本語技能・語彙文法-3)		1	
地域言語A (日本語技能・語彙文法-4)		1	
地域言語A (日本語技能・語彙文法-5)		1	
地域言語A (日本語技能・語彙文法-6)		1	
地域言語A (日本語技能・語彙文法-7)		1	
地域言語A (日本語技能・読解-1)		1	
地域言語A (日本語技能・読解-2)		1	
地域言語A (日本語技能・読解-3)		1	
地域言語A (日本語技能・読解-4)		1	
地域言語A (日本語技能・読解-5)		1	
地域言語A (日本語技能・読解-6)		1	
地域言語A (日本語技能・読解-7)		1	
地域言語A (日本語技能・読解-8)	1		
地域言語A (日本語技能・聴解-1)	1		
地域言語A (日本語技能・聴解-2)	1		
地域言語A (日本語技能・聴解-3)	1		
地域言語A (日本語技能・聴解-4)	1		

類	授業科目	単位
日本語類	地域言語 A (日本語技能・聴解-5)	1
	地域言語 A (日本語技能・聴解-6)	1
	地域言語 A (日本語技能・聴解-7)	1
	地域言語 A (日本語技能・聴解-8)	1
	地域言語 A (日本語技能・文章表現-1)	1
	地域言語 A (日本語技能・文章表現-2)	1
	地域言語 A (日本語技能・文章表現-3)	1
	地域言語 A (日本語技能・文章表現-4)	1
	地域言語 A (日本語技能・文章表現-5)	1
	地域言語 A (日本語技能・文章表現-6)	1
	地域言語 A (日本語技能・文章表現-7)	1
	地域言語 A (日本語技能・文章表現-8)	1
	地域言語 A (日本語技能・口頭表現-1)	1
	地域言語 A (日本語技能・口頭表現-2)	1
	地域言語 A (日本語技能・口頭表現-3)	1
	地域言語 A (日本語技能・口頭表現-4)	1
	地域言語 A (日本語技能・口頭表現-5)	1
	地域言語 A (日本語技能・口頭表現-6)	1
	地域言語 A (日本語技能・口頭表現-7)	1
	地域言語 A (日本語技能・口頭表現-8)	1
	地域言語 A (日本語技能・ビジネス日本語-1)	1
	地域言語 A (日本語技能・ビジネス日本語-2)	1
	地域言語 A (日本語技能・文学日本語)	1
	地域言語 A (日本語技能・時事-1)	1
	地域言語 A (日本語技能・時事-2)	1
	地域言語 A (日本語技能・時事-3)	1
	地域言語 A (日本語技能・漢字-1)	1
	地域言語 A (日本語技能・漢字-2)	1
	地域言語 A (日本語技能・漢字-3)	1
	地域言語 A (日本語技能・漢字-4)	1
	地域言語 A (日本語技能・発音)	1
	地域言語 A (ウズベク語-1)	1
	地域言語 A (ウズベク語-2)	1
	地域言語 A (ウズベク語-3)	1
	地域言語 A (ウズベク語-4)	1
	地域言語 A (ウズベク語-5)	1
	地域言語 A (ウズベク語-6)	1
	地域言語 A (ウズベク語-7)	1
	地域言語 A (ウズベク語-8)	1
	地域言語 A (ウズベク語-9)	1
	地域言語 A (ウズベク語-10)	1
	地域言語 A (ウズベク語-11)	1
	地域言語 A (ウズベク語-12)	1
地域言語 C (アフリカ諸語 1)	1	
地域言語 C (アフリカ諸語 2)	1	
地域言語 C (ヨーロッパ諸語 1)	1	
地域言語 C (ヨーロッパ諸語 2)	1	
地域言語 C (アジア諸語 1)	1	
地域言語 C (アジア諸語 2)	1	
地域言語 C (オセアニア諸語 1)	1	

別表 2 (第 3 条関係)
G L I P 英語科目

授業科目	単位
英語 A 1	1
英語 A 2	1
英語 A 3	1
英語 A 4	1
英語 B 1	1
英語 B 2	1
英語 B 3	1
英語 B 4	1
英語 C 1	1
英語 C 2	1
英語 C 3	1
英語 C 4	1

別表 3 (第 3 条関係)
教養外国語

授業科目	単位
教養外国語 (ドイツ語 A 1)	1
教養外国語 (ドイツ語 A 2)	1
教養外国語 (ドイツ語 A 3)	1
教養外国語 (ドイツ語 A 4)	1
教養外国語 (ドイツ語 B 1)	1
教養外国語 (ドイツ語 B 2)	1
教養外国語 (ドイツ語 B 3)	1
教養外国語 (ドイツ語 B 4)	1
教養外国語 (フランス語 A 1)	1
教養外国語 (フランス語 A 2)	1
教養外国語 (フランス語 A 3)	1
教養外国語 (フランス語 A 4)	1
教養外国語 (フランス語 B 1)	1
教養外国語 (フランス語 B 2)	1
教養外国語 (フランス語 B 3)	1
教養外国語 (フランス語 B 4)	1
教養外国語 (イタリア語 A 1)	1
教養外国語 (イタリア語 A 2)	1
教養外国語 (イタリア語 A 3)	1
教養外国語 (イタリア語 A 4)	1
教養外国語 (イタリア語 B 1)	1
教養外国語 (イタリア語 B 2)	1
教養外国語 (イタリア語 B 3)	1
教養外国語 (イタリア語 B 4)	1
教養外国語 (スペイン語 A 1)	1
教養外国語 (スペイン語 A 2)	1
教養外国語 (スペイン語 A 3)	1
教養外国語 (スペイン語 A 4)	1
教養外国語 (スペイン語 B 1)	1
教養外国語 (スペイン語 B 2)	1
教養外国語 (スペイン語 B 3)	1
教養外国語 (スペイン語 B 4)	1

授業科目	単位
教養外国語（ポルトガル語A1）	1
教養外国語（ポルトガル語A2）	1
教養外国語（ポルトガル語A3）	1
教養外国語（ポルトガル語A4）	1
教養外国語（ポルトガル語B1）	1
教養外国語（ポルトガル語B2）	1
教養外国語（ポルトガル語B3）	1
教養外国語（ポルトガル語B4）	1
教養外国語（ロシア語A1）	1
教養外国語（ロシア語A2）	1
教養外国語（ロシア語A3）	1
教養外国語（ロシア語A4）	1
教養外国語（ロシア語B1）	1
教養外国語（ロシア語B2）	1
教養外国語（ロシア語B3）	1
教養外国語（ロシア語B4）	1
教養外国語（中国語A1）	1
教養外国語（中国語A2）	1
教養外国語（中国語A3）	1
教養外国語（中国語A4）	1
教養外国語（中国語B1）	1
教養外国語（中国語B2）	1
教養外国語（中国語B3）	1
教養外国語（中国語B4）	1
教養外国語（朝鮮語A1）	1
教養外国語（朝鮮語A2）	1
教養外国語（朝鮮語A3）	1
教養外国語（朝鮮語A4）	1
教養外国語（朝鮮語B1）	1
教養外国語（朝鮮語B2）	1
教養外国語（朝鮮語B3）	1
教養外国語（朝鮮語B4）	1
教養外国語（アラビア語A1）	1
教養外国語（アラビア語A2）	1
教養外国語（アラビア語A3）	1
教養外国語（アラビア語A4）	1
教養外国語（アラビア語B1）	1
教養外国語（アラビア語B2）	1
教養外国語（アラビア語B3）	1
教養外国語（アラビア語B4）	1

別表4（第4条関係）
地域科目

授業科目	単位
地域基礎1A（北西ヨーロッパ1）	2
地域基礎2A（北西ヨーロッパ1）	2
地域基礎2A（北西ヨーロッパ2）	2
地域基礎2A（中央ヨーロッパ1）	2
地域基礎2A（中央ヨーロッパ2）	2
地域基礎2A（中央ヨーロッパ3）	2

授業科目	単位
地域基礎2A（中央ヨーロッパ4）	2
地域基礎2A（中央ヨーロッパ5）	2
地域基礎2A（中央ヨーロッパ6）	2
地域基礎2B（中央ヨーロッパ1）	2
地域基礎2A（西南ヨーロッパ1）	2
地域基礎2A（西南ヨーロッパ2）	2
地域基礎2A（西南ヨーロッパ3）	2
地域基礎2A（西南ヨーロッパ4）	2
地域基礎2A（西南ヨーロッパ5）	2
地域基礎2A（西南ヨーロッパ6）	2
地域基礎2A（西南ヨーロッパ7）	2
地域基礎2A（西南ヨーロッパ8）	2
地域基礎2A（西南ヨーロッパ9）	2
地域基礎2B（西南ヨーロッパ1）	2
地域基礎2B（西南ヨーロッパ2）	2
地域基礎1A（ロシア1）	2
地域基礎2A（ロシア1）	2
地域基礎2A（ロシア2）	2
地域基礎2A（北アメリカ1）	2
地域基礎2A（北アメリカ2）	2
地域基礎2A（北アメリカ3）	2
地域基礎1A（ラテンアメリカ1）	2
地域基礎2A（ラテンアメリカ2）	2
地域基礎2A（ラテンアメリカ3）	2
地域基礎1A（日本1）	2
地域基礎1A（日本2）	2
地域基礎2A（日本1）	2
地域基礎2A（日本2）	2
地域基礎2A（日本3）	2
地域基礎2A（日本4）	2
地域基礎2A（東アジア1）	2
地域基礎2A（東アジア2）	2
地域基礎2A（東アジア3）	2
地域基礎2B（東アジア1）	2
地域基礎2B（東アジア2）	2
地域基礎2B（東アジア3）	2
地域基礎1A（東南アジア1）	2
地域基礎1B（東南アジア1）	2
地域基礎1B（東南アジア2）	2
地域基礎2A（東南アジア1）	2
地域基礎2A（東南アジア2）	2
地域基礎2A（東南アジア3）	2
地域基礎2A（東南アジア4）	2
地域基礎2A（東南アジア5）	2
地域基礎2A（東南アジア6）	2
地域基礎2A（東南アジア7）	2
地域基礎2A（東南アジア8）	2
地域基礎2A（東南アジア9）	2
地域基礎2A（東南アジア10）	2
地域基礎2A（東南アジア11）	2

授業科目	単位
地域基礎2 A (東南アジア12)	2
地域基礎2 A (東南アジア13)	2
地域基礎2 A (東南アジア14)	2
地域基礎2 A (東南アジア15)	2
地域基礎2 B (東南アジア16)	2
地域基礎1 A (南アジア1)	2
地域基礎1 B (南アジア1)	2
地域基礎2 A (南アジア2)	2
地域基礎1 B (中央アジア1)	2
地域基礎2 A (中央アジア1)	2
地域基礎2 A (中央アジア2)	2
地域基礎2 A (中央アジア3)	2
地域基礎2 B (中央アジア5)	2
地域基礎2 A (西アジア・北アフリカ1)	2
地域基礎2 A (西アジア・北アフリカ2)	2
地域基礎2 A (西アジア・北アフリカ3)	2
地域基礎2 A (アフリカ1)	2
地域基礎2 A (アフリカ2)	2
地域基礎2 B (アフリカ1)	2
地域基礎2 A (オセアニア1)	2
地域基礎2 A (オセアニア2)	2
地域基礎2 A (オセアニア3)	2

別表5 (第5条関係)
教養科目

授業科目	単位
基礎リテラシー	1
基礎演習	2
くらしと社会制度A	2
くらしと社会制度B	2
くらしと健康A	2
くらしと健康B	2
憲法を読み解くA	2
憲法を読み解くB	2
地球社会と共生1 A	2
地球社会と共生1 B	2
地球社会と共生2 A	2
地球社会と共生2 B	2
地球社会と共生C	2
キャリアデザイン論1 A	2
キャリアデザイン論1 B	2
キャリアデザイン論2 A	2
キャリアデザイン論2 B	2
キャリアデザイン論3 A	1
キャリアデザイン論3 B	1
協働基礎ゼミ	1
ことばの不思議A	2
ことばの不思議B	2
ことばとコミュニケーションA	2
ことばとコミュニケーションB	2

授業科目	単位
世界のことばA	2
世界のことばB	2
文化のおもしろさA	2
文化のおもしろさA 1	2
文化のおもしろさB	2
文化のおもしろさB 1	2
世界の文化A	2
世界の文化B	2
国際社会をひもとくA	2
国際社会をひもとくB	2
地域の視点からA	2
地域の視点からB	2
人間と環境A	2
人間と環境A 1	2
人間と環境B	2
こころの科学A	2
こころの科学B	2
世界の中の日本A	2
世界の中の日本B	2
短期海外留学	2
スタディツアー	2
就業体験	2
スポーツ・身体文化科目A	1
スポーツ・身体文化科目B	1
情報技法A	2
情報技法B	2

別表6 (第6条関係)
英語の教科に関する科目

教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
英 語 学	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A (英語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B (英語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A (英語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B (英語学)	2
	グローバルコミュニケーション研究入門B (英語学1)	2
	グローバルコミュニケーション研究入門B (英語学2)	2
	英語教育学概論A (英語学1)	2
	英語教育学概論A (英語学2)	2
	英語教育学概論B (英語学1)	2
	英語教育学概論B (英語学2)	2
英 米 文 学	ヨーロッパ文化研究A (英米文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B (英米文学)	2
	アメリカ文化研究A (米文学)	2
	アメリカ文化研究B (英米文学)	2
	グローバルコミュニケーション研究入門B (英米文学1)	2

教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
英 米 文 学	グローバルコミュニケーション研究入門B (英米文学2)	2
	英語教育学概論A (英米文学1)	2
	英語教育学概論A (英米文学2)	2
	英語教育学概論B (英米文学1)	2
	英語教育学概論B (英米文学2)	2
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	地域言語A (英語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (英語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (英語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (英語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (英語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (英語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (英語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (英語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (英語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (英語Ⅱ-10)	1
	グローバルコミュニケーション研究入門B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
	グローバルコミュニケーション研究入門B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
	グローバルコミュニケーション研究入門B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
	異 文 化 理 解	地域基礎2A (北アメリカ1)
地域基礎2A (北アメリカ2)		2
地域基礎2A (北西ヨーロッパ1)		2
地域基礎2A (北西ヨーロッパ2)		2
地域基礎1A (北西ヨーロッパ)		2
グローバルコミュニケーション研究入門A (異文化理解)		2
グローバルコミュニケーション研究入門B (異文化理解)		2

別表7 (第6条関係)
外国語の教科に関する科目

ドイツ語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
ド イ ツ 語 学	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A (ドイツ語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B (ドイツ語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A (ドイツ語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B (ドイツ語学)	2
ド イ ツ 文 学	ヨーロッパ文化研究A (ドイツ文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B (ドイツ文学)	2
	ヨーロッパ文化概論A (ドイツ文学)	2
	ヨーロッパ文化概論B (ドイツ文学)	2
ド イ ツ 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	地域言語A (ドイツ語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (ドイツ語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (ドイツ語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (ドイツ語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (ドイツ語Ⅱ-9)	1
異 文 化 理 解	地域基礎2A (中央ヨーロッパ1)	2
	地域基礎2A (中央ヨーロッパ2)	2
	地域基礎2B (中央ヨーロッパ1)	2
フランス語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
フ ラ ン ス 語 学	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A (フランス語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B (フランス語学)	2
フ ラ ン ス 文 学	ヨーロッパ文化研究A (フランス文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B (フランス文学)	2
フ ラ ン ス 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	地域言語A (フランス語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (フランス語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (フランス語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (フランス語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (フランス語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (フランス語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (フランス語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (フランス語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (フランス語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (フランス語Ⅱ-10)	1
異 文 化 理 解	地域基礎2A (西南ヨーロッパ1)	2
	地域基礎2B (西南ヨーロッパ1)	2
	地域基礎2A (西南ヨーロッパ2)	2
	地域基礎2B (西南ヨーロッパ2)	2

スペイン語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
スペイン語学	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A (スペイン語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B (スペイン語学)	2
スペイン文学	アメリカ文化研究A (スペイン語圏文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B (スペイン文学)	2
スペイン語コ ミュニケー ション	地域言語A (スペイン語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (スペイン語Ⅱ-10)	1
異文化理解	地域基礎2A (西南ヨーロッパ3)	2
	地域基礎2A (西南ヨーロッパ4)	2
	地域基礎2A (ラテンアメリカ2)	2
ポルトガル語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
ポルトガ ル語学	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A (ポルトガル語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B (ポルトガル語学)	2
ポルトガ ル文学	アメリカ文化概論A (ポルトガル語圏文学)	2
	アメリカ文化概論B (ポルトガル語圏文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B (ポルトガル文学)	2
ポルトガル 語コミュ ニケーシ ョン	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (ポルトガル語Ⅱ-10)	1
異文化理解	地域基礎1A (ラテンアメリカ1)	2
	地域基礎2A (ラテンアメリカ3)	2
	地域基礎2A (西南ヨーロッパ5)	2
	地域基礎2A (西南ヨーロッパ9)	2

ロシア語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
ロシア語学	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A (ロシア語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B (ロシア語学)	2
ロシア文学	ヨーロッパ文化概論A (ロシア文学)	2
	ヨーロッパ文化概論B (ロシア文学)	2
ロシア語コ ミュニケー ション	地域言語A (ロシア語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (ロシア語Ⅱ-10)	1
異文化理解	地域基礎2A (ロシア1)	2
	地域基礎2A (ロシア2)	2
	地域基礎1A (ロシア1)	2
中国語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
中国語学	アジア・アフリカ言語研究A (中国語学1)	2
	アジア・アフリカ言語研究A (中国語学2)	2
	アジア・アフリカ言語研究B (中国語学1)	2
	アジア・アフリカ言語研究B (中国語学2)	2
中国文学	東アジア文化研究B (中国文学)	2
中国語コミュ ニケーシ ョン	地域言語A (中国語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (中国語Ⅱ-10)	1
異文化理解	地域基礎2A (東アジア1)	2
	地域基礎2B (東アジア1)	2

モンゴル語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
モンゴル語学	アジア・アフリカ言語研究A (モンゴル語学)	2
	アジア・アフリカ言語研究B (モンゴル語学)	2
モンゴル文学	中央アジア文化研究A (モンゴル文学)	2
	中央アジア文化研究B (モンゴル文学)	2
モンゴル語 コミュニ ケーション	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (モンゴル語Ⅱ-10)	1
異文化理解	地域基礎1B (中央アジア1)	2
	地域基礎2A (中央アジア3)	2
	地域基礎2B (中央アジア5)	2
インドネシア語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
インドネ シア語学	アジア・アフリカ言語研究A (インドネシア語学)	2
	アジア・アフリカ言語研究B (インドネシア語学)	2
インドネ シア文学	東南アジア文化研究A (インドネシア文学)	2
	東南アジア文化研究B (インドネシア文学1)	2
	東南アジア文化研究B (インドネシア文学2)	2
インドネシア 語コミュニ ケーション	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (インドネシア語Ⅱ-10)	1
異文化理解	地域基礎2A (東南アジア1)	2
	地域基礎2A (東南アジア2)	2

ラオス語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
ラオス語学	アジア・アフリカ言語研究A (ラオス語学)	2
	アジア・アフリカ言語研究B (ラオス語学)	2
ラオス文学	東南アジア文化研究A (ラオス文学)	2
	東南アジア文化研究B (ラオス文学)	2
ラオス語 コミュニ ケーション	地域言語A (ラオス語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (ラオス語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (ラオス語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (ラオス語Ⅱ-4)	1
ラオス語 コミュニ ケーション	地域言語A (ラオス語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (ラオス語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (ラオス語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (ラオス語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (ラオス語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (ラオス語Ⅱ-10)	1
異文化理解	地域基礎2A (東南アジア9)	2
	地域基礎2A (東南アジア10)	2
ビルマ語		
教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
ビルマ語学	アジア・アフリカ言語研究概論A (ビルマ語学)	2
	アジア・アフリカ言語研究概論B (ビルマ語学)	2
	アジア・アフリカ言語研究A (ビルマ語学)	2
	アジア・アフリカ言語研究B (ビルマ語学)	2
ビルマ文学	東南アジア文化研究A (ビルマ文学)	2
	東南アジア文化研究B (ビルマ文学)	2
ビルマ語 コミュニ ケーション	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (ビルマ語Ⅱ-10)	1
異文化理解	地域基礎2A (東南アジア15)	2
	地域基礎2B (東南アジア16)	2

ペルシア語		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
ペルシア語学	アジア・アフリカ言語研究A (ペルシア語学)	2
	アジア・アフリカ言語研究B (ペルシア語学)	2
ペルシア文学	西アジア・北アフリカ文化概論A (ペルシア文学1)	2
	西アジア・北アフリカ文化概論B (ペルシア文学1)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究A (ペルシア文学2)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究B (ペルシア文学)	2
ペルシア語 コミュニケーション	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-1)	1
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-2)	1
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-3)	1
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-4)	1
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-5)	1
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-6)	1
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-7)	1
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-8)	1
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-9)	1
	地域言語A (ペルシア語Ⅱ-10)	1
異文化理解	地域基礎2A (西アジア・北アフリカ1)	2

別表8 (第6条関係)
教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 開講授業科目	単位
科目	左記の各科目に含めることが 必要な事項		
教職の意義 に関する科目	教職の意義及び教員の役割	教師論	2
	教員の職務内容(研修、服務 及び身分保障を含む。)		
	進路選択に資する各種の機会 の提供等		
教育の基礎 理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想	教育史	2
		教育原理	2
	幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程(障害の ある幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程を含 む。)	教育心理学	2
	教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項	教育行政学	2
	教育課程の意義及び編成の方 法	教育課程論	1
教育課程及 び指導法に 関する科目	各教科の指導法	英語科教育法 I-1	2
		英語科教育法 I-2	2
		英語科教育法 II-1	2
		英語科教育法 II-2	2
		ドイツ語科 教育法I	4
		ドイツ語科 教育法II	4
		フランス語科 教育法I	4
		フランス語科 教育法II	4
		スペイン語科 教育法I	4
		スペイン語科 教育法II	4
		ポルトガル語 科教育法I	4
		ポルトガル語 科教育法II	4
		ロシア語科 教育法I	4
		ロシア科 教育法II	4
		中国語科 教育法I	4
		中国語科 教育法II	4

教育職員免許法施行規則に定める科目区分				
科目	左記の各科目に含めることが必要な事項	左記に対応する開講授業科目	単位	
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	モンゴル語科教育法Ⅰ	4	
		モンゴル語科教育法Ⅱ	4	
		インドネシア語科教育法Ⅰ	4	
		インドネシア語科教育法Ⅱ	4	
		ラオス語科教育法Ⅰ	4	
		ラオス語科教育法Ⅱ	4	
		ビルマ語科教育法Ⅰ	4	
		ビルマ語科教育法Ⅱ	4	
		ベルシア語科教育法Ⅰ	4	
		ベルシア語科教育法Ⅱ	4	
		社会科教育法Ⅰ	4	
		社会科教育法Ⅱ	4	
		地理歴史科教育法	4	
		道徳の指導法	道徳教育指導論	2
		特別活動の指導法	特別活動論	2
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用方法を含む。）	教育方法・技術論	2
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談（カウンセリングを含む。）		2	
進路指導の理論及び方法	進路指導論		2	
教育実習	事前・事後指導		1	
	教育実習（中学校）		4	
	教育実習（高等学校）		2	
教職実践演習			2	

別表9（第6条関係）
教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位
教科又は教職に関する科目	人間科学研究A	2
	人間科学研究B	2
	こころの科学A	2
	こころの科学B	2
	国際教育論A	2
	国際教育論B	2
	教育社会学A	2
	教育社会学B	2
	人間と環境A	2
道徳教育指導論	2	

※道徳教育指導論は、高等学校教諭一種免許状を取得する学生が履修した場合

別表10（第7条関係）
導入科目

授業科目		単位
言語・情報コース	言語研究入門A	2
	言語研究入門B	2
グローバルコミュニケーションコース	グローバルコミュニケーション研究入門A	2
	グローバルコミュニケーション研究入門B	2
	グローバルコミュニケーション研究入門A（異文化理解）	2
	グローバルコミュニケーション研究入門B（異文化理解）	2
総合文化コース	総合文化研究入門A	2
	総合文化研究入門B	2

別表11(第8条関係)
概論科目

授業科目		単位
言語・情報コース	言語学概論 A	2
	言語学概論 B	2
	音声学概論 A	2
	音声学概論 B	2
	言語処理概論 A	2
	言語処理概論 B	2
	言語教育科学概論 A	2
	言語教育科学概論 B	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 A	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 B	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 A (英語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 B (英語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 A (ドイツ語学)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 B (ドイツ語学)	2
	アジア・アフリカ言語研究概論 A	2
	アジア・アフリカ言語研究概論 B	2
	アジア・アフリカ言語研究概論 A (ビルマ語学)	2
	アジア・アフリカ言語研究概論 B (ビルマ語学)	2
	日本語研究概論 A	2
	日本語研究概論 B	2
グローバルコミュニケーションコース (言語教育系)	英語教育学概論 A	2
	英語教育学概論 B	2
	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
	英語教育学概論 A (英語学 2)	2
	英語教育学概論 B (英語学 1)	2
	英語教育学概論 B (英語学 2)	2
	英語教育学概論 A (英米文学 1)	2
	英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
	英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
	英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
	英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
	英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
	英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
	日本語教育学概論 A	2
	日本語教育学概論 B	2
	言語教育学概論 A	2
	言語教育学概論 B	2
グローバルコミュニケーションコース (言語文化コミュニケーション系)	コミュニケーション論概論 A	2
	コミュニケーション論概論 B	2
	通訳概論 A	2
	通訳概論 B	2
	多言語・多文化社会論概論 A	2
多言語・多文化社会論概論 B	2	
総合文化コース	地域文化概論 A	2
	地域文化概論 B	2

授業科目		単位
総合文化コース	文化・文学概論 A	2
	文化・文学概論 B	2
	思想文化概論 A	2
	思想文化概論 B	2
	人間科学概論 A	2
	人間科学概論 B	2
	ヨーロッパ文化概論 A (ドイツ文学)	2
	ヨーロッパ文化概論 B (ドイツ文学)	2
	ヨーロッパ文化概論 A (ロシア文学)	2
	ヨーロッパ文化概論 B (ロシア文学)	2
	アメリカ文化概論 A (ポルトガル語圏文学)	2
	アメリカ文化概論 B (ポルトガル語圏文学)	2
	東南アジア文化概論 A	2
	東南アジア文化概論 B	2
	南アジア文化概論 A	2
	南アジア文化概論 B	2
	西アジア・北アフリカ文化概論 A	2
	西アジア・北アフリカ文化概論 A (ペルシア文学1)	2
	西アジア・北アフリカ文化概論 B (ペルシア文学1)	2

別表12(第8条関係)
選択科目

授業科目		単位
言語・情報コース	言語学 A	2
	言語学 B	2
	言語学 A 1 (専門演習)	2
	言語学 B 1 (専門演習)	2
	音声学 A	2
	音声学 B	2
	音声学 A 1 (専門演習)	2
	音声学 A 2 (専門演習)	2
	音声学 B 1 (専門演習)	2
	音声学 B 2 (専門演習)	2
	言語処理論 A	2
	言語処理論 B	2
	言語処理論 A 1 (専門演習)	2
	言語処理論 A 2 (専門演習)	2
	言語処理論 B 1 (専門演習)	2
	言語処理論 B 2 (専門演習)	2
	統計科学 A	2
	統計科学 B	2
	統計科学 A 1 (専門演習)	2
	統計科学 B 1 (専門演習)	2
	言語教育科学研究 A	2
	言語教育科学研究 B	2
	言語教育科学研究 A 1 (専門演習)	2
	言語教育科学研究 B 1 (専門演習)	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究 A	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究 B	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究 A (英語学)	2

	授業科目	単位
グローバルコミュニケーションコース (言語教育系)	英語教育学研究A	2
	英語教育学研究B	2
	英語教育学研究A 1(専門演習)	2
	英語教育学研究A 2(専門演習)	2
	英語教育学研究A 3(専門演習)	2
	英語教育学研究B 1(専門演習)	2
	英語教育学研究B 2(専門演習)	2
	英語教育学研究B 3(専門演習)	2
	日本語教育学研究A	2
	日本語教育学研究B	2
	日本語教育学研究A 1(専門演習)	2
	日本語教育学研究A 2(専門演習)	2
	日本語教育学研究A 3(専門演習)	2
	日本語教育学研究B 1(専門演習)	2
	日本語教育学研究B 2(専門演習)	2
	日本語教育学研究B 3(専門演習)	2
	言語教育学研究A	2
	言語教育学研究B	2
	言語教育学研究A 1(専門演習)	2
	言語教育学研究A 2(専門演習)	2
言語教育学研究B 1(専門演習)	2	
言語教育学研究B 2(専門演習)	2	
グローバルコミュニケーションコース (言語文化コミュニケーション系)	コミュニケーション論A	2
	コミュニケーション論B	2
	通訳・翻訳論A	2
	通訳・翻訳論B	2
	通訳・翻訳論A 1(専門演習)	2
	通訳・翻訳論A 2(専門演習)	2
	通訳・翻訳論B 1(専門演習)	2
	通訳・翻訳論B 2(専門演習)	2
	実践英語A	2
	実践英語B	2
	実践言語A	2
	実践言語B	2
	コミュニティ通訳研究A	2
	コミュニティ通訳研究B	2
	コミュニティ通訳研究A 1(専門演習)	2
	コミュニティ通訳研究B 1(専門演習)	2
多言語・多文化社会論研究A	2	
多言語・多文化社会論研究B	2	
多言語・多文化社会論研究A(専門演習)	2	
多言語・多文化社会論研究B(専門演習)	2	
グローバルコミュニケーションコース (言語教育学系・言語文化コミュニケーション系共通)	インターンシップA	2
	インターンシップB	2
総合文化コース (個別地域文化系)	ヨーロッパ文化研究A	2
	ヨーロッパ文化研究B	2
	ヨーロッパ文化研究A(英米文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B(英米文学)	2

	授業科目	単位
総合文化コース (個別地域文化系)	ヨーロッパ文化研究A(ドイツ文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B(ドイツ文学)	2
	ヨーロッパ文化研究A(フランス文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B(フランス文学)	2
	ヨーロッパ文化研究A(イタリア文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B(イタリア文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B(スペイン文学)	2
	ヨーロッパ文化研究B(ポルトガル文学)	2
	ヨーロッパ文化研究A 1(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A 2(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A 3(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A 4(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A 5(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A 6(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A 7(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A 8(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A 9(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A10(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究A11(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B 1(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B 2(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B 3(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B 4(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B 5(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B 6(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B 7(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B 8(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B 9(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B10(専門演習)	2
	ヨーロッパ文化研究B11(専門演習)	2
	アメリカ文化研究A	2
	アメリカ文化研究A(米文学)	2
	アメリカ文化研究B	2
	アメリカ文化研究B(英米文学)	2
	アメリカ文化研究B(ポルトガル語圏文学)	2
	アメリカ文化研究A 1(専門演習)	2
	アメリカ文化研究A 2(専門演習)	2
	アメリカ文化研究A 3(専門演習)	2
	アメリカ文化研究B 1(専門演習)	2
	アメリカ文化研究B 2(専門演習)	2
アメリカ文化研究B 3(専門演習)	2	
東アジア文化研究A	2	
東アジア文化研究B	2	
東アジア文化研究B(中国文学)	2	
東アジア文化研究A 1(専門演習)	2	
東アジア文化研究A 2(専門演習)	2	
東アジア文化研究B 1(専門演習)	2	
東アジア文化研究B 2(専門演習)	2	
中央アジア文化研究A	2	
中央アジア文化研究B	2	

	授業科目	単位
総合文化コース (個別地域文化系)	中央アジア文化研究 A (モンゴル文学)	2
	中央アジア文化研究 B (モンゴル文学)	2
	中央アジア文化研究 A 1 (専門演習)	2
	中央アジア文化研究 B 1 (専門演習)	2
	東南アジア文化研究 A	2
	東南アジア文化研究 B	2
	東南アジア文化研究 A (インドネシア文学)	2
	東南アジア文化研究 B (インドネシア文学1)	2
	東南アジア文化研究 B (インドネシア文学2)	2
	東南アジア文化研究 A (ラオス文学)	2
	東南アジア文化研究 B (ラオス文学)	2
	東南アジア文化研究 A (ビルマ文学)	2
	東南アジア文化研究 B (ビルマ文学)	2
	東南アジア文化研究 A 1 (専門演習)	2
	東南アジア文化研究 A 2 (専門演習)	2
	東南アジア文化研究 A 3 (専門演習)	2
	東南アジア文化研究 B 1 (専門演習)	2
	東南アジア文化研究 B 2 (専門演習)	2
	東南アジア文化研究 B 3 (専門演習)	2
	南アジア文化研究 A	2
	南アジア文化研究 B	2
	南アジア文化研究 A 1 (専門演習)	2
	南アジア文化研究 A 2 (専門演習)	2
	南アジア文化研究 A 3 (専門演習)	2
	南アジア文化研究 A 4 (専門演習)	2
	南アジア文化研究 B 1 (専門演習)	2
	南アジア文化研究 B 2 (専門演習)	2
	南アジア文化研究 B 3 (専門演習)	2
	南アジア文化研究 B 4 (専門演習)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 A	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 B	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 A (ペルシア文学1)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 A (ペルシア文学2)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 B (ペルシア文学)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 B (ペルシア文学2)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 A 1 (専門演習)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 A 2 (専門演習)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 A 3 (専門演習)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 A 4 (専門演習)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 B 1 (専門演習)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 B 2 (専門演習)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 B 3 (専門演習)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 B 4 (専門演習)	2
オセアニア文化研究 A	2	
オセアニア文化研究 B	2	
オセアニア文化研究 A 1 (専門演習)	2	
オセアニア文化研究 B 1 (専門演習)	2	
日本文化研究 A (日本文学1)	2	
日本文化研究 A (日本文学2)	2	
日本文化研究 B (日本文学1)	2	

	授業科目	単位
総合文化コース (個別地域文化系)	日本文化研究 B (日本文学2)	2
	日本文化研究 A 1 (専門演習)	2
	日本文化研究 A 2 (専門演習)	2
	日本文化研究 B 1 (専門演習)	2
	日本文化研究 B 2 (専門演習)	2
総合文化コース (超域文化系)	文化・文学研究 A	2
	文化・文学研究 B	2
	文化・文学研究 A 1 (専門演習)	2
	文化・文学研究 A 2 (専門演習)	2
	文化・文学研究 B 1 (専門演習)	2
	文化・文学研究 B 2 (専門演習)	2
	思想文化研究 A	2
	思想文化研究 B	2
	思想文化研究 A 1 (専門演習)	2
	思想文化研究 B 1 (専門演習)	2
	人間科学研究 A	2
	人間科学研究 B	2
	人間科学研究 A 1	2
	人間科学研究 B 1	2
	人間科学研究 A 1 (専門演習)	2
	人間科学研究 A 2 (専門演習)	2
	人間科学研究 B 1 (専門演習)	2
人間科学研究 B 2 (専門演習)	2	
漢文学概論	2	
全コース	卒業論文演習 A	2
	卒業論文演習 B	2

別表13(第8条関係)
類別概論科目、選択科目

英語類				
科目区分	科目名	単位		
概論科目	言語・情報コース	言語学概論 A	2	
		言語学概論 B	2	
		音声学概論 A	2	
		音声学概論 B	2	
		言語処理概論 A	2	
		言語処理概論 B	2	
		言語教育科学概論 A	2	
		言語教育科学概論 B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 A	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 A (英語学)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 B (英語学)	2	
		グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論 A	2
			英語教育学概論 B	2
			言語教育学概論 A	2
			言語教育学概論 B	2
			コミュニケーション論概論 A	2
コミュニケーション論概論 B	2			
通訳概論 A	2			

英語類				
科目区分		科目名	単位	
概論科目	グローバルコミュニケーションコース	通訳概論B	2	
		多言語・多文化社会概論A	2	
		多言語・多文化社会概論B	2	
	総合文化コース	地域文化概論A	2	
		地域文化概論B	2	
		文化・文学概論A	2	
		文化・文学概論B	2	
		思想文化概論A	2	
		思想文化概論B	2	
		人間科学概論A	2	
人間科学概論B	2			
選択科目	言語・情報コース	言語学A	2	
		言語学B	2	
		言語学A 1(専門演習)	2	
		言語学B 1(専門演習)	2	
		音声学A	2	
		音声学B	2	
		音声学A 1(専門演習)	2	
		音声学A 2(専門演習)	2	
		音声学B 1(専門演習)	2	
		音声学B 2(専門演習)	2	
		言語処理論A	2	
		言語処理論B	2	
		言語処理論A 1(専門演習)	2	
		言語処理論A 2(専門演習)	2	
		言語処理論B 1(専門演習)	2	
		言語処理論B 2(専門演習)	2	
		統計科学A	2	
		統計科学B	2	
		統計科学A 1(専門演習)	2	
		統計科学B 1(専門演習)	2	
		言語教育科学研究A	2	
		言語教育科学研究B	2	
		言語教育科学研究A 1(専門演習)	2	
		言語教育科学研究B 1(専門演習)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A(英語学)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B(英語学)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A 1(専門演習)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A 2(専門演習)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B 1(専門演習)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B 2(専門演習)	2	
		言語学特殊研究A	2	
		言語学特殊研究B	2	
		言語学特殊研究A 1(専門演習)	2	
		言語学特殊研究B 1(専門演習)	2	
		グローバルコミュニケーションコース	英語教育学研究A	2
		グローバルコミュニケーションコース	英語教育学研究B	2

英語類				
科目区分		科目名	単位	
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学研究A 1(専門演習)	2	
		英語教育学研究A 2(専門演習)	2	
		英語教育学研究A 3(専門演習)	2	
		英語教育学研究B 1(専門演習)	2	
		英語教育学研究B 2(専門演習)	2	
		英語教育学研究B 3(専門演習)	2	
		言語教育学研究A	2	
		言語教育学研究B	2	
		言語教育学研究A 1(専門演習)	2	
		言語教育学研究A 2(専門演習)	2	
		言語教育学研究B 1(専門演習)	2	
		言語教育学研究B 2(専門演習)	2	
		コミュニケーション論A	2	
		コミュニケーション論B	2	
		通訳・翻訳論A	2	
		通訳・翻訳論B	2	
		通訳・翻訳論A 1(専門演習)	2	
		通訳・翻訳論A 2(専門演習)	2	
		通訳・翻訳論B 1(専門演習)	2	
		通訳・翻訳論B 2(専門演習)	2	
		実践英語A	2	
		実践英語B	2	
		実践言語A	2	
		実践言語B	2	
		コミュニティ通訳研究A	2	
		コミュニティ通訳研究B	2	
		コミュニティ通訳研究A 1(専門演習)	2	
		コミュニティ通訳研究B 1(専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究A	2	
		多言語・多文化社会論研究B	2	
		多言語・多文化社会論研究A(専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究B(専門演習)	2	
		インターンシップA	2	
		インターンシップB	2	
		総合文化コース	ヨーロッパ文化研究A	2
			ヨーロッパ文化研究A(英米文学)	2
			ヨーロッパ文化研究B	2
			ヨーロッパ文化研究B(英米文学)	2
			ヨーロッパ文化研究A 9(専門演習)	2
			ヨーロッパ文化研究B 9(専門演習)	2
			アメリカ文化研究A	2
			アメリカ文化研究A(米文学)	2
アメリカ文化研究B	2			
アメリカ文化研究B(英米文学)	2			
アメリカ文化研究A 1(専門演習)	2			
アメリカ文化研究B 1(専門演習)	2			
オセアニア文化研究A	2			
オセアニア文化研究B	2			
オセアニア文化研究A 1(専門演習)	2			

英語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	総合文化コース	オセアニア文化研究B 1 (専門演習)	2	
		思想文化研究A	2	
		思想文化研究B	2	
		思想文化研究A 1 (専門演習)	2	
		思想文化研究B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A	2	
		人間科学研究B	2	
		人間科学研究A 1	2	
		人間科学研究B 1	2	
		人間科学研究A 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A 2 (専門演習)	2	
		人間科学研究B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究B 2 (専門演習)	2	
	全コース	卒業論文演習A	2	
		卒業論文演習B	2	
ドイツ語類				
科目区分	科目名	単位		
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2	
		言語学概論B	2	
		音声学概論A	2	
		音声学概論B	2	
		言語処理概論A	2	
		言語処理概論B	2	
		言語教育学概論A	2	
		言語教育学概論B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A (ドイツ語学)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B (ドイツ語学)	2	
	概論科目	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英語学1)	2
			英語教育学概論A (英語学2)	2
			英語教育学概論B (英語学1)	2
			英語教育学概論B (英語学2)	2
			英語教育学概論A (英米文学1)	2
			英語教育学概論A (英米文学2)	2
		グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
			英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
			英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
			言語教育学概論A	2
			英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
			英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
	概論科目	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
			言語教育学概論B	2
			コミュニケーション論概論A	2
			コミュニケーション論概論B	2
			通訳概論A	2
			通訳概論B	2

ドイツ語類					
科目区分	科目名	単位			
概論科目	グローバルコミュニケーションコース	多言語・多文化社会論概論A	2		
		多言語・多文化社会論概論B	2		
		総合文化コース	地域文化概論A	2	
	地域文化概論B		2		
	文化・文学概論A		2		
	文化・文学概論B		2		
	思想文化概論A		2		
	思想文化概論B		2		
	人間科学概論A		2		
	人間科学概論B		2		
	ヨーロッパ文化概論A (ドイツ文学)		2		
	ヨーロッパ文化概論B (ドイツ文学)		2		
	選択科目		言語・情報コース	言語学A	2
				言語学B	2
		言語学A 1 (専門演習)		2	
言語学B 1 (専門演習)		2			
音声学A		2			
音声学B		2			
音声学A 1 (専門演習)		2			
音声学A 2 (専門演習)		2			
音声学B 1 (専門演習)		2			
音声学B 2 (専門演習)		2			
言語処理論A		2			
言語処理論B		2			
言語処理論A 1 (専門演習)		2			
言語処理論A 2 (専門演習)		2			
言語処理論B 1 (専門演習)		2			
言語処理論B 2 (専門演習)		2			
概論科目		言語・情報コース	統計科学A	2	
			統計科学B	2	
			統計科学A 1 (専門演習)	2	
			統計科学B 1 (専門演習)	2	
			言語教育学研究A	2	
			言語教育学研究B	2	
			言語教育学研究A 1 (専門演習)	2	
			言語教育学研究B 1 (専門演習)	2	
			ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	2	
			ヨーロッパ・アメリカ言語研究A (ドイツ語学)	2	
			ヨーロッパ・アメリカ言語研究B	2	
			ヨーロッパ・アメリカ言語研究B (ドイツ語学)	2	
概論科目		グローバルコミュニケーションコース	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A 3 (専門演習)	2	
			ヨーロッパ・アメリカ言語研究A 6 (専門演習)	2	
			ヨーロッパ・アメリカ言語研究B 3 (専門演習)	2	
			ヨーロッパ・アメリカ言語研究B 6 (専門演習)	2	
			言語学特殊研究A	2	
	言語学特殊研究B		2		
	言語教育学研究A		2		
	言語教育学研究B		2		
	言語教育学研究A 1 (専門演習)		2		

ドイツ語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究 A 2 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 2 (専門演習)	2
		コミュニケーション論 A	2
		コミュニケーション論 B	2
		通訳・翻訳論 A	2
		通訳・翻訳論 B	2
		通訳・翻訳論 A 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 A 2 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 2 (専門演習)	2
		実践英語 A	2
		実践英語 B	2
		実践言語 A	2
		実践言語 B	2
		コミュニティ通訳研究 A	2
		コミュニティ通訳研究 B	2
		コミュニティ通訳研究 A 1 (専門演習)	2
		コミュニティ通訳研究 B 1 (専門演習)	2
		多言語・多文化社会論研究 A	2
	多言語・多文化社会論研究 B	2	
	多言語・多文化社会論研究 A (専門演習)	2	
	多言語・多文化社会論研究 B (専門演習)	2	
	インターンシップ A	2	
	インターンシップ B	2	
	総合文化コース	ヨーロッパ文化研究 A	2
		ヨーロッパ文化研究 A (ドイツ文学)	2
		ヨーロッパ文化研究 B	2
		ヨーロッパ文化研究 B (ドイツ文学)	2
		ヨーロッパ文化研究 A10(専門演習)	2
		ヨーロッパ文化研究 A11(専門演習)	2
		ヨーロッパ文化研究 B10(専門演習)	2
		ヨーロッパ文化研究 B11(専門演習)	2
		文化・文学研究 A	2
		文化・文学研究 B	2
		思想文化研究 A	2
		思想文化研究 B	2
		思想文化研究 A 1 (専門演習)	2
		思想文化研究 B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 A	2
		人間科学研究 B	2
		人間科学研究 A 1	2
人間科学研究 B 1		2	
人間科学研究 A 1 (専門演習)		2	
人間科学研究 A 2 (専門演習)		2	
人間科学研究 B 1 (専門演習)	2		
人間科学研究 B 2 (専門演習)	2		
全コース	卒業論文演習 A	2	
	卒業論文演習 B	2	

ポーランド語類					
科目区分	科目名	単位			
選択科目	言語・情報コース	言語学概論 A	2		
		言語学概論 B	2		
		音声学概論 A	2		
		音声学概論 B	2		
		言語処理概論 A	2		
		言語処理概論 B	2		
		言語教育科学概論 A	2		
		言語教育科学概論 B	2		
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 A	2		
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 B	2		
		概論科目	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
				英語教育学概論 A (英語学 2)	2
	英語教育学概論 B (英語学 1)			2	
	英語教育学概論 B (英語学 2)			2	
	英語教育学概論 A (英米文学 1)			2	
	英語教育学概論 A (英米文学 2)			2	
	英語教育学概論 B (英米文学 1)			2	
	英語教育学概論 B (英米文学 2)			2	
	英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション1)			2	
	英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション2)			2	
	英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション3)	2			
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション1)	2			
英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション2)	2				
英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション3)	2				
言語教育学概論 A	2				
言語教育学概論 B	2				
コミュニケーション論概論 A	2				
コミュニケーション論概論 B	2				
通訳概論 A	2				
通訳概論 B	2				
多言語・多文化社会論概論 A	2				
多言語・多文化社会論概論 B	2				
総合文化コース	総合文化コース	地域文化概論 A	2		
		地域文化概論 B	2		
		文化・文学概論 A	2		
		文化・文学概論 B	2		
		思想文化概論 A	2		
		思想文化概論 B	2		
		人間科学概論 A	2		
		人間科学概論 B	2		
		選択科目	言語・情報コース	言語学 A	2
				言語学 B	2
言語学 A 1 (専門演習)	2				
言語学 B 1 (専門演習)	2				
音声学 A	2				
音声学 B	2				
音声学 A 1 (専門演習)	2				
音声学 A 2 (専門演習)	2				
音声学 B 1 (専門演習)	2				

ポーランド語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	言語・情報コース	音声学B 2 (専門演習)	2
		言語処理論A	2
		言語処理論B	2
		言語処理論A 1 (専門演習)	2
		言語処理論A 2 (専門演習)	2
		言語処理論B 1 (専門演習)	2
		言語処理論B 2 (専門演習)	2
		統計科学A	2
		統計科学B	2
		統計科学A 1 (専門演習)	2
		統計科学B 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究A	2
		言語教育科学研究B	2
		言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	2
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B	2
		言語学特殊研究A	2
		言語学特殊研究B	2
		グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A
	言語教育学研究B		2
	言語教育学研究A 1 (専門演習)		2
	言語教育学研究A 2 (専門演習)		2
	言語教育学研究B 1 (専門演習)		2
	言語教育学研究B 2 (専門演習)		2
	コミュニケーション論A		2
	コミュニケーション論B		2
	通訳・翻訳論A		2
	通訳・翻訳論B		2
	通訳・翻訳論A 1 (専門演習)		2
	通訳・翻訳論A 2 (専門演習)		2
	通訳・翻訳論B 1 (専門演習)		2
	通訳・翻訳論B 2 (専門演習)		2
	実践英語A		2
	実践英語B		2
	実践言語A		2
	実践言語B		2
	コミュニティ通訳研究A		2
	コミュニティ通訳研究B		2
	コミュニティ通訳研究A 1 (専門演習)		2
	コミュニティ通訳研究B 1 (専門演習)		2
	多言語・多文化社会論研究A		2
	多言語・多文化社会論研究B	2	
多言語・多文化社会論研究A (専門演習)	2		
多言語・多文化社会論研究B (専門演習)	2		
インターンシップA	2		
インターンシップB	2		
総合文化コース	文化・文学研究A	2	
	文化・文学研究B	2	

ポーランド語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	総合文化コース	思想文化研究A	2	
		思想文化研究B	2	
		思想文化研究A 1 (専門演習)	2	
		思想文化研究B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A	2	
		人間科学研究B	2	
		人間科学研究A 1	2	
		人間科学研究B 1	2	
		人間科学研究A 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A 2 (専門演習)	2	
		人間科学研究B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究B 2 (専門演習)	2	
	全コース	卒業論文演習A	2	
		卒業論文演習B	2	
チェコ語類				
科目区分	科目名	単位		
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2	
		言語学概論B	2	
		音声学概論A	2	
		音声学概論B	2	
		言語処理論A	2	
		言語処理論B	2	
		言語教育科学概論A	2	
		言語教育科学概論B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B	2	
		グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英語学1)	2
			英語教育学概論A (英語学2)	2
			英語教育学概論A (英語学1)	2
			英語教育学概論B (英語学2)	2
	英語教育学概論B (英米文学1)		2	
	英語教育学概論A (英米文学2)		2	
	英語教育学概論B (英米文学1)		2	
	英語教育学概論B (英米文学2)		2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)		2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)		2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)		2	
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)		2	
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)		2	
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)		2	
	言語教育学概論A		2	
	言語教育学概論B	2		
	コミュニケーション論概論A	2		
	コミュニケーション論概論B	2		
	通訳概論A	2		
通訳概論B	2			
多言語・多文化社会論概論A	2			
多言語・多文化社会論概論B	2			

チェコ語類				
科目区分		科目名	単位	
概 論 科 目	総合文化コース	地域文化概論A	2	
		地域文化概論B	2	
		文化・文学概論A	2	
		文化・文学概論B	2	
		思想文化概論A	2	
		思想文化概論B	2	
		人間科学概論A	2	
		人間科学概論B	2	
選 択 科 目	言語・情報コース	言語学A	2	
		言語学B	2	
		言語学A 1 (専門演習)	2	
		言語学B 1 (専門演習)	2	
		音声学A	2	
		音声学B	2	
		音声学A 1 (専門演習)	2	
		音声学A 2 (専門演習)	2	
		音声学B 1 (専門演習)	2	
		音声学B 2 (専門演習)	2	
		言語処理論A	2	
		言語処理論B	2	
		言語処理論A 1 (専門演習)	2	
		言語処理論A 2 (専門演習)	2	
		言語処理論B 1 (専門演習)	2	
		言語処理論B 2 (専門演習)	2	
		統計科学A	2	
		統計科学B	2	
		統計科学A 1 (専門演習)	2	
		統計科学B 1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究A	2	
		言語教育科学研究B	2	
		言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究AII(専門演習)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究BII(専門演習)	2	
		言語学特殊研究A	2	
		言語学特殊研究B	2	
		グ ロー バ ル コ ミュ ニ ケー シ ョ ン コ ー ス	言語教育学研究A	2
			言語教育学研究B	2
			言語教育学研究A 1 (専門演習)	2
			言語教育学研究A 2 (専門演習)	2
			言語教育学研究B 1 (専門演習)	2
			言語教育学研究B 2 (専門演習)	2
			コミュニケーション論A	2
			コミュニケーション論B	2
			通訳・翻訳論A	2
			通訳・翻訳論B	2
通訳・翻訳論A 1 (専門演習)	2			

チェコ語類				
科目区分		科目名	単位	
選 択 科 目	グ ロー バ ル コ ミュ ニ ケー シ ョ ン コ ー ス	通訳・翻訳論A 2 (専門演習)	2	
		通訳・翻訳論B 1 (専門演習)	2	
		通訳・翻訳論B 2 (専門演習)	2	
		実践英語A	2	
		実践英語B	2	
		実践言語A	2	
		実践言語B	2	
		コミュニティ通訳研究A	2	
		コミュニティ通訳研究B	2	
		コミュニティ通訳研究A 1 (専門演習)	2	
	コミュニティ通訳研究B 1 (専門演習)	2		
	多言語・多文化社会論研究A	2		
	多言語・多文化社会論研究B	2		
	多言語・多文化社会論研究A (専門演習)	2		
	多言語・多文化社会論研究B (専門演習)	2		
	インターンシップA	2		
	インターンシップB	2		
	全 コ ー ス	文化・文学研究A	2	
		文化・文学研究B	2	
		思想文化研究A	2	
思想文化研究B		2		
思想文化研究A 1 (専門演習)		2		
思想文化研究B 1 (専門演習)		2		
人間科学研究A		2		
人間科学研究B		2		
人間科学研究A 1		2		
人間科学研究B 1		2		
人間科学研究A 1 (専門演習)	2			
人間科学研究A 2 (専門演習)	2			
人間科学研究B 1 (専門演習)	2			
人間科学研究B 2 (専門演習)	2			
卒業論文演習A	2			
卒業論文演習B	2			
フランス語類				
科目区分		科目名	単位	
概 論 科 目	言 語 ・ 情 報 コ ー ス	言語学概論A	2	
		言語学概論B	2	
		音声学概論A	2	
		音声学概論B	2	
		言語処理論A	2	
		言語処理論B	2	
		言語教育科学概論A	2	
		言語教育科学概論B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B	2	
		グ ロー バ ル コ ミュ ニ ケー シ ョ ン コ ー ス	英語教育学概論A (英語学1)	2
			英語教育学概論A (英語学2)	2
	英語教育学概論B (英語学1)		2	
	英語教育学概論B (英語学2)		2	

フランス語類			
科目区分	科目名	単位	
概 論 科 目	英語教育学概論A(英米文学1)	2	
	英語教育学概論A(英米文学2)	2	
	英語教育学概論B(英米文学1)	2	
	英語教育学概論B(英米文学2)	2	
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション1)	2	
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション2)	2	
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション3)	2	
	英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション1)	2	
	英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション2)	2	
	英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション3)	2	
	グローバルコミュニケーションコース		
	言語教育学概論A	2	
	言語教育学概論B	2	
	コミュニケーション論概論A	2	
	コミュニケーション論概論B	2	
	通訳概論A	2	
	通訳概論B	2	
	多言語・多文化社会論概論A	2	
多言語・多文化社会論概論B	2		
総合文化コース	地域文化概論A	2	
	地域文化概論B	2	
	文化・文学概論A	2	
	文化・文学概論B	2	
	思想文化概論A	2	
	思想文化概論B	2	
	人間科学概論A	2	
	人間科学概論B	2	
選 択 科 目	言語学A	2	
	言語学B	2	
	言語学A1(専門演習)	2	
	言語学B1(専門演習)	2	
	音声学A	2	
	音声学B	2	
	音声学A1(専門演習)	2	
	音声学A2(専門演習)	2	
	音声学B1(専門演習)	2	
	音声学B2(専門演習)	2	
	言語処理論A	2	
	言語処理論B	2	
	言語処理論A1(専門演習)	2	
	言語処理論A2(専門演習)	2	
	言語処理論B1(専門演習)	2	
	言語処理論B2(専門演習)	2	
	統計科学A	2	
	統計科学B	2	
	統計科学A1(専門演習)	2	
	統計科学B1(専門演習)	2	
	言語教育科学研究A	2	
	言語教育科学研究B	2	
言語教育科学研究A1(専門演習)	2		

フランス語類			
科目区分	科目名	単位	
言 語 ・ 情 報 コ ー ス	言語教育科学研究B1(専門演習)	2	
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	2	
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A(フランス語学)	2	
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B	2	
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B(フランス語学)	2	
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A4(専門演習)	2	
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B4(専門演習)	2	
	言語学特殊研究A	2	
	言語学特殊研究B	2	
	選 択 科 目	言語教育学研究A	2
		言語教育学研究B	2
		言語教育学研究A1(専門演習)	2
		言語教育学研究A2(専門演習)	2
		言語教育学研究B1(専門演習)	2
		言語教育学研究B2(専門演習)	2
		コミュニケーション論A	2
		コミュニケーション論B	2
		通訳・翻訳論A	2
通訳・翻訳論B		2	
通訳・翻訳論A1(専門演習)		2	
通訳・翻訳論A2(専門演習)		2	
通訳・翻訳論B1(専門演習)		2	
通訳・翻訳論B2(専門演習)		2	
実践英語A		2	
実践英語B		2	
実践言語A		2	
実践言語B		2	
コミュニティ通訳研究A		2	
コミュニティ通訳研究B		2	
コミュニティ通訳研究A1(専門演習)		2	
コミュニティ通訳研究B1(専門演習)		2	
多言語・多文化社会論研究A	2		
多言語・多文化社会論研究B	2		
多言語・多文化社会論研究A(専門演習)	2		
多言語・多文化社会論研究B(専門演習)	2		
インターンシップA	2		
インターンシップB	2		
グ ロー バ ル コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ー ス	グローバルコミュニケーションコース		
	言語教育科学研究A	2	
	言語教育科学研究A(フランス文学)	2	
	ヨーロッパ文化研究A	2	
	ヨーロッパ文化研究B(フランス文学)	2	
	ヨーロッパ文化研究B	2	
	ヨーロッパ文化研究A3(専門演習)	2	
	ヨーロッパ文化研究A4(専門演習)	2	
	ヨーロッパ文化研究A5(専門演習)	2	
	ヨーロッパ文化研究B3(専門演習)	2	
	ヨーロッパ文化研究B4(専門演習)	2	
	ヨーロッパ文化研究B5(専門演習)	2	
総合文化コース	文化・文学研究A	2	
	文化・文学研究B	2	

フランス語類			
科目区分		科目名	単位
選 択 科 目	総合文化コース	思想文化研究 A	2
		思想文化研究 B	2
		思想文化研究 A 1 (専門演習)	2
		思想文化研究 B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 A	2
		人間科学研究 B	2
		人間科学研究 A 1	2
		人間科学研究 B 1	2
		人間科学研究 A 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 A 2 (専門演習)	2
		人間科学研究 B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 B 2 (専門演習)	2
	全 コ ー ス	卒業論文演習 A	2
		卒業論文演習 B	2
イタリア語類			
科目区分		科目名	単位
概 論 科 目	言語・情報コース	言語学概論 A	2
		言語学概論 B	2
		音声学概論 A	2
		音声学概論 B	2
		言語処理概論 A	2
		言語処理概論 B	2
		言語教育科学概論 A	2
		言語教育科学概論 B	2
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 A	2
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論 B	2
	グローバルコミュニ ケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
		英語教育学概論 A (英語学 2)	2
		英語教育学概論 B (英語学 1)	2
		英語教育学概論 B (英語学 2)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
	英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション3)	2	
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション1)	2	
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション2)	2	
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション3)	2	
	言語教育学概論 A	2	
	言語教育学概論 B	2	
	コミュニケーション論概論 A	2	
	コミュニケーション論概論 B	2	
	通訳概論 A	2	
	通訳概論 B	2	
	多言語・多文化社会論概論 A	2	
	多言語・多文化社会論概論 B	2	

イタリア語類				
科目区分		科目名	単位	
概 論 科 目	総合文化コース	地域文化概論 A	2	
		地域文化概論 B	2	
		文化・文学概論 A	2	
		文化・文学概論 B	2	
		思想文化概論 A	2	
		思想文化概論 B	2	
		人間科学概論 A	2	
		人間科学概論 B	2	
	選 択 科 目	言語・情報コース	言語学 A	2
			言語学 B	2
			言語学 A 1 (専門演習)	2
			言語学 B 1 (専門演習)	2
			音声学 A	2
			音声学 B	2
音声学 A 1 (専門演習)			2	
音声学 A 2 (専門演習)			2	
音声学 B 1 (専門演習)			2	
音声学 B 2 (専門演習)			2	
言語処理論 A			2	
言語処理論 B			2	
言語処理論 A 1 (専門演習)			2	
言語処理論 A 2 (専門演習)			2	
言語処理論 B 1 (専門演習)			2	
言語処理論 B 2 (専門演習)			2	
統計科学 A		2		
統計科学 B		2		
統計科学 A 1 (専門演習)		2		
統計科学 B 1 (専門演習)		2		
言語教育科学研究 A		2		
言語教育科学研究 B		2		
言語教育科学研究 A 1 (専門演習)		2		
言語教育科学研究 B 1 (専門演習)		2		
ヨーロッパ・アメリカ言語研究 A		2		
ヨーロッパ・アメリカ言語研究 A (イタリア語学)		2		
ヨーロッパ・アメリカ言語研究 B	2			
ヨーロッパ・アメリカ言語研究 B (イタリア語学)	2			
ヨーロッパ・アメリカ言語研究 A 7 (専門演習)	2			
ヨーロッパ・アメリカ言語研究 B 7 (専門演習)	2			
言語学特殊研究 A	2			
言語学特殊研究 B	2			
グローバルコミュニ ケーションコース	言語教育学研究 A	2		
	言語教育学研究 B	2		
	言語教育学研究 A 1 (専門演習)	2		
	言語教育学研究 A 2 (専門演習)	2		
	言語教育学研究 B 1 (専門演習)	2		
	言語教育学研究 B 2 (専門演習)	2		
	コミュニケーション論 A	2		
	コミュニケーション論 B	2		
通訳・翻訳論 A	2			

イタリア語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	通訳・翻訳論B	2
		通訳・翻訳論A1(専門演習)	2
		通訳・翻訳論A2(専門演習)	2
		通訳・翻訳論B1(専門演習)	2
		通訳・翻訳論B2(専門演習)	2
		実践英語A	2
		実践英語B	2
		実践言語A	2
		実践言語B	2
		コミュニティ通訳研究A	2
		コミュニティ通訳研究B	2
		コミュニティ通訳研究A1(専門演習)	2
		コミュニティ通訳研究B1(専門演習)	2
		多言語・多文化社会論研究A	2
		多言語・多文化社会論研究B	2
		多言語・多文化社会論研究A(専門演習)	2
		多言語・多文化社会論研究B(専門演習)	2
		インターンシップA	2
		インターンシップB	2
		総合文化コース	ヨーロッパ文化研究A
	ヨーロッパ文化研究B(イタリア文学1)		2
	ヨーロッパ文化研究B		2
	ヨーロッパ文化研究B(イタリア文学2)		2
	ヨーロッパ文化研究A6(専門演習)		2
	ヨーロッパ文化研究A7(専門演習)		2
	ヨーロッパ文化研究B6(専門演習)		2
	ヨーロッパ文化研究B7(専門演習)		2
	文化・文学研究A		2
	文化・文学研究B		2
	思想文化研究A		2
	思想文化研究B		2
	思想文化研究A1(専門演習)		2
	思想文化研究B1(専門演習)		2
人間科学研究A	2		
人間科学研究B	2		
人間科学研究A1	2		
人間科学研究B1	2		
人間科学研究A1(専門演習)	2		
人間科学研究A2(専門演習)	2		
人間科学研究B1(専門演習)	2		
人間科学研究B2(専門演習)	2		
全コース	卒業論文演習A	2	
	卒業論文演習B	2	
スペイン語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2
		言語学概論B	2
		音声学概論A	2
		音声学概論B	2

スペイン語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	言語・情報コース	言語処理概論A	2	
		言語処理概論B	2	
		言語教育科学概論A	2	
		言語教育科学概論B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B	2	
		概論科目	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A(英語学1)
	英語教育学概論A(英語学2)			2
	英語教育学概論B(英語学1)			2
	英語教育学概論B(英語学2)			2
	英語教育学概論A(英米文学1)			2
	英語教育学概論A(英米文学2)			2
	英語教育学概論B(英米文学1)			2
	英語教育学概論B(英米文学2)			2
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション1)			2
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション2)			2
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション3)			2
	英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション1)			2
	英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション2)			2
	英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション3)		2	
	総合文化コース		言語教育学概論A	2
			言語教育学概論B	2
			コミュニケーション論概論A	2
			コミュニケーション論概論B	2
			通訳概論A	2
			通訳概論B	2
		多言語・多文化社会論概論A	2	
	多言語・多文化社会論概論B	2		
	選択科目	言語・情報コース	地域文化概論A	2
			地域文化概論B	2
			文化・文学概論A	2
			文化・文学概論B	2
			思想文化概論A	2
思想文化概論B			2	
人間科学概論A			2	
人間科学概論B			2	
言語学A			2	
言語学B			2	
言語学A1(専門演習)			2	
言語学B1(専門演習)			2	
音声学A			2	
音声学B	2			
音声学A1(専門演習)	2			
音声学A2(専門演習)	2			
音声学B1(専門演習)	2			
音声学B2(専門演習)	2			
言語処理論A	2			
言語処理論B	2			
言語処理論A1(専門演習)	2			

スペイン語類				
科目区分	科目名	単位		
選 択 科 目	言語・情報コース	言語処理論A 2(専門演習)	2	
		言語処理論B 1(専門演習)	2	
		言語処理論B 2(専門演習)	2	
		統計科学A	2	
		統計科学B	2	
		統計科学A 1(専門演習)	2	
		統計科学B 1(専門演習)	2	
		言語教育科学研究A	2	
		言語教育科学研究B	2	
		言語教育科学研究A 1(専門演習)	2	
		言語教育科学研究B 1(専門演習)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A(スペイン語学)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B(スペイン語学)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A 5(専門演習)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A 8(専門演習)	2	
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B 5(専門演習)	2	
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B 8(専門演習)	2		
	言語学特殊研究B	2		
	選 択 科 目	グローバルコミュニ ケーションコース	言語教育学研究A	2
			言語教育学研究B	2
			言語教育学研究A 1(専門演習)	2
			言語教育学研究A 2(専門演習)	2
言語教育学研究B 1(専門演習)			2	
言語教育学研究B 2(専門演習)			2	
コミュニケーション論A			2	
コミュニケーション論B			2	
通訳・翻訳論A			2	
通訳・翻訳論B			2	
通訳・翻訳論A 1(専門演習)			2	
通訳・翻訳論A 2(専門演習)			2	
通訳・翻訳論B 1(専門演習)		2		
通訳・翻訳論B 2(専門演習)		2		
実践英語A		2		
実践英語B		2		
実践言語A		2		
実践言語B		2		
コミュニティ通訳研究A		2		
コミュニティ通訳研究B		2		
コミュニティ通訳研究A 1(専門演習)		2		
コミュニティ通訳研究B 1(専門演習)		2		
多言語・多文化社会論研究A		2		
多言語・多文化社会論研究B		2		
多言語・多文化社会論研究A(専門演習)	2			
多言語・多文化社会論研究B(専門演習)	2			
インターンシップA	2			
インターンシップB	2			

スペイン語類					
科目区分	科目名	単位			
選 択 科 目	総合文化コース	ヨーロッパ文化研究A	2		
		ヨーロッパ文化研究B(スペイン文学)	2		
		ヨーロッパ文化研究B	2		
		アメリカ文化研究A	2		
		アメリカ文化研究A(スペイン語圏文学)	2		
		アメリカ文化研究B	2		
		アメリカ文化研究A 2(専門演習)	2		
		アメリカ文化研究B 2(専門演習)	2		
		文化・文学研究A	2		
		文化・文学研究B	2		
		思想文化研究A	2		
		思想文化研究B	2		
		思想文化研究A 1(専門演習)	2		
		思想文化研究B 1(専門演習)	2		
		人間科学研究A	2		
		人間科学研究B	2		
		人間科学研究A 1	2		
		人間科学研究B 1	2		
	人間科学研究A 1(専門演習)	2			
	人間科学研究A 2(専門演習)	2			
	人間科学研究B 1(専門演習)	2			
	人間科学研究B 2(専門演習)	2			
	全 コ ー ス	卒業論文演習A	2		
		卒業論文演習B	2		
ポルトガル語類					
科目区分	科目名	単位			
選 択 科 目	言語・情報コース	言語学概論A	2		
		言語学概論B	2		
		音声学概論A	2		
		音声学概論B	2		
		言語処理概論A	2		
		言語処理概論B	2		
		言語教育科学概論A	2		
		言語教育科学概論B	2		
		概 論 科 目	グローバルコミュニ ケーションコース	英語教育学概論A(英語学1)	2
				英語教育学概論A(英語学2)	2
				英語教育学概論B(英語学1)	2
				英語教育学概論B(英語学2)	2
	英語教育学概論A(英米文学1)			2	
	英語教育学概論A(英米文学2)			2	
	英語教育学概論B(英米文学1)	2			
	英語教育学概論B(英米文学2)	2			
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション1)	2			
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション2)	2			
英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション3)	2				
英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション1)	2				
英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション2)	2				
英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション3)	2				
言語教育学概論A	2				

ポルトガル語類					
科目区分	科目名	単位			
概論科目	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学概論B	2		
		コミュニケーション論概論A	2		
		コミュニケーション論概論B	2		
		通訳概論A	2		
		通訳概論B	2		
		多言語・多文化社会論概論A	2		
		多言語・多文化社会論概論B	2		
	総合文化コース	地域文化概論A	2		
		地域文化概論B	2		
		文化・文学概論A	2		
		文化・文学概論B	2		
		思想文化概論A	2		
		思想文化概論B	2		
		人間科学概論A	2		
		人間科学概論B	2		
		アメリカ文化概論A (ポルトガル語圏文学)	2		
		アメリカ文化概論B (ポルトガル語圏文学)	2		
		選択科目	言語・情報コース	言語学A	2
				言語学B	2
言語学A 1 (専門演習)	2				
言語学B 1 (専門演習)	2				
音声学A	2				
音声学B	2				
音声学A 1 (専門演習)	2				
音声学A 2 (専門演習)	2				
音声学B 1 (専門演習)	2				
音声学B 2 (専門演習)	2				
言語処理論A	2				
言語処理論B	2				
言語処理論A 1 (専門演習)	2				
言語処理論A 2 (専門演習)	2				
言語処理論B 1 (専門演習)	2				
言語処理論B 2 (専門演習)	2				
統計科学A	2				
統計科学B	2				
統計科学A 1 (専門演習)	2				
統計科学B 1 (専門演習)	2				
言語教育科学研究A	2				
言語教育科学研究B	2				
言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2				
言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2				
ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	2				
ヨーロッパ・アメリカ言語研究A (ポルトガル語学)	2				
ヨーロッパ・アメリカ言語研究B	2				
ヨーロッパ・アメリカ言語研究B (ポルトガル語学)	2				
ヨーロッパ・アメリカ言語研究A 9 (専門演習)	2				
ヨーロッパ・アメリカ言語研究B 9 (専門演習)	2				
言語学特殊研究A	2				
言語学特殊研究B	2				

ポルトガル語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2
		言語教育学研究B	2
		言語教育学研究A 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究A 2 (専門演習)	2
		言語教育学研究B 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究B 2 (専門演習)	2
		コミュニケーション論A	2
		コミュニケーション論B	2
		通訳・翻訳論A	2
		通訳・翻訳論B	2
		通訳・翻訳論A 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論A 2 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論B 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論B 2 (専門演習)	2
		実践英語A	2
		実践英語B	2
		実践言語A	2
		実践言語B	2
		コミュニティ通訳研究A	2
		コミュニティ通訳研究B	2
		コミュニティ通訳研究A 1 (専門演習)	2
	コミュニティ通訳研究B 1 (専門演習)	2	
	多言語・多文化社会論研究A	2	
	多言語・多文化社会論研究B	2	
	多言語・多文化社会論研究A (専門演習)	2	
	多言語・多文化社会論研究B (専門演習)	2	
	インターンシップA	2	
	インターンシップB	2	
	総合文化コース	ヨーロッパ文化研究A	2
		ヨーロッパ文化研究B (ポルトガル文学)	2
		ヨーロッパ文化研究B	2
		ヨーロッパ文化研究A 8 (専門演習)	2
		ヨーロッパ文化研究B 8 (専門演習)	2
		アメリカ文化研究A	2
		アメリカ文化研究B	2
		アメリカ文化研究A 3 (専門演習)	2
		アメリカ文化研究B 3 (専門演習)	2
		文化・文学研究A	2
		文化・文学研究B	2
		思想文化研究A	2
		思想文化研究B	2
		思想文化研究A 1 (専門演習)	2
思想文化研究B 1 (専門演習)		2	
人間科学研究A		2	
人間科学研究B		2	
人間科学研究A 1		2	
人間科学研究B 1		2	
人間科学研究A 1 (専門演習)		2	
人間科学研究A 2 (専門演習)		2	

ポルトガル語類			
科目区分		科目名	単位
選択科目	総合文化コース	人間科学研究B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究B 2 (専門演習)	2
	全コース	卒業論文演習A	2
		卒業論文演習B	2
ロシア語類			
科目区分		科目名	単位
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2
		言語学概論B	2
		音声学概論A	2
		音声学概論B	2
		言語処理概論A	2
		言語処理概論B	2
		言語教育科学概論A	2
		言語教育科学概論B	2
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論A	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論B	2	
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英語学1)	2
		英語教育学概論A (英語学2)	2
		英語教育学概論B (英語学1)	2
		英語教育学概論B (英語学2)	2
		英語教育学概論A (英米文学1)	2
		英語教育学概論A (英米文学2)	2
		英語教育学概論B (英米文学1)	2
		英語教育学概論B (英米文学2)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		言語教育学概論A	2
		言語教育学概論B	2
		コミュニケーション論概論A	2
		コミュニケーション論概論B	2
	通訳概論A	2	
	通訳概論B	2	
	多言語・多文化社会論概論A	2	
	多言語・多文化社会論概論B	2	
	総合文化コース	地域文化概論A	2
		地域文化概論B	2
		文化・文学概論A	2
		文化・文学概論B	2
		思想文化概論A	2
		思想文化概論B	2
		人間科学概論A	2
		人間科学概論B	2
		ヨーロッパ文化概論A (ロシア文学)	2
		ヨーロッパ文化概論B (ロシア文学)	2

ロシア語類			
科目区分		科目名	単位
選択科目	言語・情報コース	言語学A	2
		言語学B	2
		言語学A 1 (専門演習)	2
		言語学B 1 (専門演習)	2
		音声学A	2
		音声学B	2
		音声学A 1 (専門演習)	2
		音声学A 2 (専門演習)	2
		音声学B 1 (専門演習)	2
		音声学B 2 (専門演習)	2
		言語処理論A	2
		言語処理論B	2
		言語処理論A 1 (専門演習)	2
		言語処理論A 2 (専門演習)	2
		言語処理論B 1 (専門演習)	2
		言語処理論B 2 (専門演習)	2
		統計科学A	2
		統計科学B	2
		統計科学A 1 (専門演習)	2
		統計科学B 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究A	2
		言語教育科学研究B	2
		言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A	2
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究A (ロシア語学)	2
		ヨーロッパ・アメリカ言語研究B	2
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B (ロシア語学)	2	
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究A10(専門演習)	2	
	ヨーロッパ・アメリカ言語研究B10(専門演習)	2	
	言語学特殊研究A	2	
	言語学特殊研究B	2	
	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2
		言語教育学研究B	2
		言語教育学研究A 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究A 2 (専門演習)	2
		言語教育学研究B 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究B 2 (専門演習)	2
		コミュニケーション論A	2
		コミュニケーション論B	2
		通訳・翻訳論A	2
		通訳・翻訳論B	2
		通訳・翻訳論A 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論A 2 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論B 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論B 2 (専門演習)	2
		実践英語A	2
実践英語B		2	
実践言語A		2	

ロシア語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	実践言語 B	2	
		コミュニティ通訳研究 A	2	
		コミュニティ通訳研究 B	2	
		コミュニティ通訳研究 A 1 (専門演習)	2	
		コミュニティ通訳研究 B 1 (専門演習)	2	
		言語教育学研究 A	2	
		言語教育学研究 B	2	
		言語教育学研究 A (専門演習)	2	
		言語教育学研究 B (専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究 A	2	
		多言語・多文化社会論研究 B	2	
		多言語・多文化社会論研究 A (専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究 B (専門演習)	2	
		インターンシップ A	2	
		インターンシップ B	2	
		総合文化コース	ヨーロッパ文化研究 A	2
			ヨーロッパ文化研究 A (ロシア文学)	2
	ヨーロッパ文化研究 B		2	
	ヨーロッパ文化研究 A 1 (専門演習)		2	
	ヨーロッパ文化研究 A 2 (専門演習)		2	
	ヨーロッパ文化研究 B 1 (専門演習)		2	
	ヨーロッパ文化研究 B 2 (専門演習)		2	
	文化・文学研究 A		2	
	文化・文学研究 B		2	
	文化・文学研究 B (ロシア文学)		2	
	思想文化研究 A		2	
	思想文化研究 B		2	
	思想文化研究 A 1 (専門演習)		2	
	思想文化研究 B 1 (専門演習)		2	
	人間科学研究 A		2	
	人間科学研究 B		2	
	人間科学研究 A 1		2	
	人間科学研究 B 1	2		
	人間科学研究 A 1 (専門演習)	2		
人間科学研究 A 2 (専門演習)	2			
人間科学研究 B 1 (専門演習)	2			
人間科学研究 B 2 (専門演習)	2			
全コース	卒業論文演習 A	2		
	卒業論文演習 B	2		
日本語類				
科目区分	科目名	単位		
概論科目	言語・情報コース	言語学概論 A	2	
		言語学概論 B	2	
		音声学概論 A	2	
		音声学概論 B	2	
		言語処理概論 A	2	
		言語処理概論 B	2	
		言語教育科学概論 A	2	
		言語教育科学概論 B	2	

日本語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	言語・情報コース	日本語研究概論 A	2
		日本語研究概論 B	2
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
		英語教育学概論 A (英語学 2)	2
		英語教育学概論 B (英語学 1)	2
		英語教育学概論 B (英語学 2)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 1)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 3)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 1)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 2)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 3)	2
		日本語教育学概論 A	2
		日本語教育学概論 B	2
		言語教育科学概論 A	2
		言語教育科学概論 B	2
		コミュニケーション論概論 A	2
		コミュニケーション論概論 B	2
	通訳概論 A	2	
	通訳概論 B	2	
	多言語・多文化社会論概論 A	2	
	多言語・多文化社会論概論 B	2	
	総合文化コース	地域文化概論 A	2
		地域文化概論 B	2
		文化・文学概論 A	2
		文化・文学概論 B	2
		思想文化概論 A	2
		思想文化概論 B	2
		人間科学概論 A	2
		人間科学概論 B	2
選択科目	言語・情報コース	言語学 A	2
		言語学 B	2
		言語学 A 1 (専門演習)	2
		言語学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 A	2
		音声学 B	2
		音声学 A 1 (専門演習)	2
		音声学 A 2 (専門演習)	2
		音声学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 B 2 (専門演習)	2
		言語処理論 A	2
		言語処理論 B	2
		言語処理論 A 1 (専門演習)	2
		言語処理論 A 2 (専門演習)	2
		言語処理論 B 1 (専門演習)	2

日本語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	言語・情報コース	言語処理論B 2 (専門演習)	2
		統計科学A	2
		統計科学B	2
		統計科学A 1 (専門演習)	2
		統計科学B 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究A	2
		言語教育科学研究B	2
		言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2
		日本語研究A	2
		日本語研究B	2
		日本語研究A 1 (専門演習)	2
		日本語研究A 2 (専門演習)	2
		日本語研究A 3 (専門演習)	2
		日本語研究A 4 (専門演習)	2
		日本語研究A 5 (専門演習)	2
		日本語研究B 1 (専門演習)	2
		日本語研究B 2 (専門演習)	2
		日本語研究B 3 (専門演習)	2
		日本語研究B 4 (専門演習)	2
	日本語研究B 5 (専門演習)	2	
	言語学特殊研究A	2	
	言語学特殊研究B	2	
	グローバルコミュニケーションコース	日本語教育学研究A	2
		日本語教育学研究B	2
		日本語教育学研究A 1 (専門演習)	2
		日本語教育学研究A 2 (専門演習)	2
		日本語教育学研究A 3 (専門演習)	2
日本語教育学研究B 1 (専門演習)		2	
日本語教育学研究B 2 (専門演習)		2	
日本語教育学研究B 3 (専門演習)		2	
言語教育学研究A		2	
言語教育学研究B		2	
言語教育学研究A 1 (専門演習)		2	
言語教育学研究A 2 (専門演習)		2	
言語教育学研究B 1 (専門演習)		2	
言語教育学研究B 2 (専門演習)		2	
コミュニケーション論A		2	
コミュニケーション論B		2	
通訳・翻訳論A		2	
通訳・翻訳論B		2	
通訳・翻訳論A 1 (専門演習)		2	
通訳・翻訳論A 2 (専門演習)		2	
通訳・翻訳論B 1 (専門演習)	2		
通訳・翻訳論B 2 (専門演習)	2		
実践英語A	2		
実践英語B	2		
実践言語A	2		
実践言語B	2		

日本語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	コミュニティ通訳研究A	2
		コミュニティ通訳研究B	2
		コミュニティ通訳研究A 1 (専門演習)	2
		コミュニティ通訳研究B 1 (専門演習)	2
		多言語・多文化社会論研究A	2
		多言語・多文化社会論研究B	2
		多言語・多文化社会論研究A (専門演習)	2
		多言語・多文化社会論研究B (専門演習)	2
		インターンシップA	2
		インターンシップB	2
	総合文化コース	日本文化研究A (日本文学1)	2
		日本文化研究A (日本文学2)	2
		日本文化研究B (日本文学1)	2
		日本文化研究B (日本文学2)	2
		日本文化研究A 1 (専門演習)	2
		日本文化研究A 2 (専門演習)	2
		日本文化研究B 1 (専門演習)	2
		日本文化研究B 2 (専門演習)	2
		文化・文学研究A	2
		文化・文学研究B	2
		思想文化研究A	2
		思想文化研究B	2
		思想文化研究A 1 (専門演習)	2
		思想文化研究B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究A	2
		人間科学研究B	2
		人間科学研究A 1	2
		人間科学研究B 1	2
人間科学研究A 1 (専門演習)	2		
人間科学研究A 2 (専門演習)	2		
人間科学研究B 1 (専門演習)	2		
人間科学研究B 2 (専門演習)	2		
漢文学概論	2		
全コース	卒業論文演習A	2	
	卒業論文演習B	2	
中国語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2
		言語学概論B	2
		音声学概論A	2
		音声学概論B	2
		言語処理概論A	2
		言語処理概論B	2
		言語教育科学概論A	2
		言語教育科学概論B	2
		アジア・アフリカ言語研究概論A	2
		アジア・アフリカ言語研究概論B	2
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英語学1)	2
		英語教育学概論A (英語学2)	2

中国語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	英語教育学概論B (英語学1)	2	
	英語教育学概論B (英語学2)	2	
	英語教育学概論A (英米文学1)	2	
	英語教育学概論A (英米文学2)	2	
	英語教育学概論B (英米文学1)	2	
	英語教育学概論B (英米文学2)	2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)	2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)	2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)	2	
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		言語教育学概論A	2
		言語教育学概論B	2
		コミュニケーション論概論A	2
		コミュニケーション論概論B	2
		通訳概論A	2
		通訳概論B	2
		多言語・多文化社会論概論A	2
		多言語・多文化社会論概論B	2
	総合文化コース	地域文化概論A	2
		地域文化概論B	2
		文化・文学概論A	2
		文化・文学概論B	2
		思想文化概論A	2
		思想文化概論B	2
		人間科学概論A	2
		人間科学概論B	2
選択科目	言語学A	2	
	言語学B	2	
	言語学A 1 (専門演習)	2	
	言語学B 1 (専門演習)	2	
	音声学A	2	
	音声学B	2	
	音声学A 1 (専門演習)	2	
	音声学A 2 (専門演習)	2	
	音声学B 1 (専門演習)	2	
	音声学B 2 (専門演習)	2	
	言語・情報コース	言語処理論A	2
		言語処理論B	2
		言語処理論A 1 (専門演習)	2
		言語処理論A 2 (専門演習)	2
		言語処理論B 1 (専門演習)	2
		言語処理論B 2 (専門演習)	2
		統計科学A	2
		統計科学B	2
		統計科学A 1 (専門演習)	2
		統計科学B 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究A	2

中国語類			
科目区分	科目名	単位	
言語・情報コース	言語教育科学研究B	2	
	言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2	
	言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2	
	アジア・アフリカ言語研究A	2	
	アジア・アフリカ言語研究A (中国語学1)	2	
	アジア・アフリカ言語研究A (中国語学2)	2	
	アジア・アフリカ言語研究B	2	
	アジア・アフリカ言語研究B (中国語学1)	2	
	アジア・アフリカ言語研究B (中国語学2)	2	
	アジア・アフリカ言語研究A 1 (専門演習)	2	
	アジア・アフリカ言語研究A 2 (専門演習)	2	
	アジア・アフリカ言語研究B 1 (専門演習)	2	
	アジア・アフリカ言語研究B 2 (専門演習)	2	
	言語学特殊研究A	2	
	言語学特殊研究B	2	
	選択科目	言語教育学研究A	2
		言語教育学研究B	2
		言語教育学研究A 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究A 2 (専門演習)	2
		言語教育学研究B 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究B 2 (専門演習)	2
		コミュニケーション論A	2
		コミュニケーション論B	2
		通訳・翻訳論A	2
		通訳・翻訳論B	2
		通訳・翻訳論A 1 (専門演習)	2
通訳・翻訳論A 2 (専門演習)		2	
通訳・翻訳論B 1 (専門演習)		2	
通訳・翻訳論B 2 (専門演習)		2	
グローバルコミュニケーションコース		実践英語A	2
		実践英語B	2
		実践言語A	2
		実践言語B	2
		コミュニティ通訳研究A	2
		コミュニティ通訳研究B	2
	コミュニティ通訳研究A 1 (専門演習)	2	
	コミュニティ通訳研究B 1 (専門演習)	2	
	多言語・多文化社会論研究A	2	
	多言語・多文化社会論研究B	2	
	多言語・多文化社会論研究A (専門演習)	2	
	多言語・多文化社会論研究B (専門演習)	2	
	インターンシップA	2	
	インターンシップB	2	
総合文化コース	東アジア文化研究A	2	
	東アジア文化研究B	2	
	東アジア文化研究B (中国文学)	2	
	東アジア文化研究B 1 (中国文学)	2	
	東アジア文化研究A 1 (専門演習)	2	
	東アジア文化研究A 2 (専門演習)	2	

中国語類			
科目区分		科目名	単位
選択科目	総合文化コース	東アジア文化研究B 1 (専門演習)	2
		東アジア文化研究B 2 (専門演習)	2
		文化・文学研究A	2
		文化・文学研究B	2
		思想文化研究A	2
		思想文化研究B	2
		思想文化研究A 1 (専門演習)	2
		思想文化研究B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究A	2
		人間科学研究B	2
		人間科学研究A 1	2
		人間科学研究B 1	2
		人間科学研究A 1 (専門演習)	2
		人間科学研究A 2 (専門演習)	2
	人間科学研究B 1 (専門演習)	2	
	人間科学研究B 2 (専門演習)	2	
全コース	卒業論文演習A	2	
	卒業論文演習B	2	

朝鮮語類			
科目区分		科目名	単位
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2
		言語学概論B	2
		音声学概論A	2
		音声学概論B	2
		言語処理概論A	2
		言語処理概論B	2
		言語教育科学概論A	2
		言語教育科学概論B	2
		アジア・アフリカ言語研究概論A	2
		アジア・アフリカ言語研究概論B	2
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英語学1)	2
		英語教育学概論A (英語学2)	2
		英語教育学概論B (英語学1)	2
		英語教育学概論B (英語学2)	2
		英語教育学概論A (英米文学1)	2
		英語教育学概論A (英米文学2)	2
		英語教育学概論B (英米文学1)	2
		英語教育学概論B (英米文学2)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		言語教育学概論A	2
		言語教育学概論B	2
		コミュニケーション論概論A	2
		コミュニケーション論概論B	2
	通訳概論A	2	

朝鮮語類					
科目区分		科目名	単位		
概論科目	グローバルコミュニケーションコース	通訳概論B	2		
		多言語・多文化社会論概論A	2		
		多言語・多文化社会論概論B	2		
	総合文化コース	地域文化概論A	2		
		地域文化概論B	2		
		文化・文学概論A	2		
		文化・文学概論B	2		
		思想文化概論A	2		
		思想文化概論B	2		
		人間科学概論A	2		
		人間科学概論B	2		
		選択科目	言語・情報コース	言語学A	2
				言語学B	2
				言語学A 1 (専門演習)	2
言語学B 1 (専門演習)	2				
音声学A	2				
音声学B	2				
音声学A 1 (専門演習)	2				
音声学A 2 (専門演習)	2				
音声学B 1 (専門演習)	2				
音声学B 2 (専門演習)	2				
言語処理論A	2				
言語処理論B	2				
言語処理論A 1 (専門演習)	2				
言語処理論A 2 (専門演習)	2				
言語処理論B 1 (専門演習)	2				
言語処理論B 2 (専門演習)	2				
統計科学A	2				
統計科学B	2				
統計科学A 1 (専門演習)	2				
統計科学B 1 (専門演習)	2				
言語教育科学研究A	2				
言語教育科学研究B	2				
言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2				
言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2				
アジア・アフリカ言語研究A	2				
アジア・アフリカ言語研究B	2				
アジア・アフリカ言語研究A 3 (専門演習)	2				
アジア・アフリカ言語研究A 4 (専門演習)	2				
アジア・アフリカ言語研究A 5 (専門演習)	2				
アジア・アフリカ言語研究A 6 (専門演習)	2				
アジア・アフリカ言語研究B 3 (専門演習)	2				
アジア・アフリカ言語研究B 4 (専門演習)	2				
アジア・アフリカ言語研究B 5 (専門演習)	2				
アジア・アフリカ言語研究B 6 (専門演習)	2				
言語学特殊研究A	2				
言語学特殊研究B	2				
グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2			
言語教育学研究B	2				

朝鮮語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究 A 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究 A 2 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 2 (専門演習)	2
		コミュニケーション論 A	2
		コミュニケーション論 B	2
		通訳・翻訳論 A	2
		通訳・翻訳論 B	2
		通訳・翻訳論 A 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 A 2 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 2 (専門演習)	2
		実践英語 A	2
		実践英語 B	2
		実践言語 A	2
		実践言語 B	2
		コミュニティ通訳研究 A	2
		コミュニティ通訳研究 B	2
		コミュニティ通訳研究 A 1 (専門演習)	2
		コミュニティ通訳研究 B 1 (専門演習)	2
		多言語・多文化社会論研究 A	2
	多言語・多文化社会論研究 B	2	
	多言語・多文化社会論研究 A (専門演習)	2	
	多言語・多文化社会論研究 B (専門演習)	2	
	インターンシップ A	2	
	インターンシップ B	2	
	総合文化コース	文化・文学研究 A	2
		文化・文学研究 B	2
		思想文化研究 A	2
		思想文化研究 B	2
		思想文化研究 A 1 (専門演習)	2
		思想文化研究 B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 A	2
		人間科学研究 B	2
		人間科学研究 A 1	2
		人間科学研究 B 1	2
		人間科学研究 A 1 (専門演習)	2
	人間科学研究 A 2 (専門演習)	2	
	人間科学研究 B 1 (専門演習)	2	
	人間科学研究 B 2 (専門演習)	2	
	全コース	卒業論文演習 A	2
		卒業論文演習 B	2
モンゴル語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	言語・情報コース	言語処理概論 B	2
		言語教育科学概論 A	2
		言語教育科学概論 B	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 A	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 B	2
概論科目	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
		英語教育学概論 A (英語学 2)	2
		英語教育学概論 B (英語学 1)	2
		英語教育学概論 B (英語学 2)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 1)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 3)	2
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 1)	2	
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 2)	2	
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 3)	2	
	言語教育学概論 A	2	
	言語教育学概論 B	2	
	コミュニケーション論概論 A	2	
	コミュニケーション論概論 B	2	
	通訳概論 A	2	
	通訳概論 B	2	
	多言語・多文化社会論概論 A	2	
多言語・多文化社会論概論 B	2		
総合文化コース	地域文化概論 A	2	
	地域文化概論 B	2	
	文化・文学概論 A	2	
	文化・文学概論 B	2	
	思想文化概論 A	2	
	思想文化概論 B	2	
	人間科学概論 A	2	
	人間科学概論 B	2	
選択科目	言語・情報コース	言語学 A	2
		言語学 B	2
		言語学 A 1 (専門演習)	2
		言語学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 A	2
		音声学 B	2
		音声学 A 1 (専門演習)	2
		音声学 A 2 (専門演習)	2
		音声学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 B 2 (専門演習)	2
		言語処理論 A	2
		言語処理論 B	2
		言語処理論 A 1 (専門演習)	2
		言語処理論 A 2 (専門演習)	2
概論科目	言語・情報コース	言語学概論 A	2
		言語学概論 B	2
		音声学概論 A	2
		音声学概論 B	2
		言語処理概論 A	2

モンゴル語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	言語・情報コース	言語処理概論 B	2
		言語教育科学概論 A	2
		言語教育科学概論 B	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 A	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 B	2
概論科目	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
		英語教育学概論 A (英語学 2)	2
		英語教育学概論 B (英語学 1)	2
		英語教育学概論 B (英語学 2)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 1)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 3)	2
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 1)	2	
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 2)	2	
	英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 3)	2	
	言語教育学概論 A	2	
	言語教育学概論 B	2	
	コミュニケーション論概論 A	2	
	コミュニケーション論概論 B	2	
	通訳概論 A	2	
	通訳概論 B	2	
	多言語・多文化社会論概論 A	2	
多言語・多文化社会論概論 B	2		
総合文化コース	地域文化概論 A	2	
	地域文化概論 B	2	
	文化・文学概論 A	2	
	文化・文学概論 B	2	
	思想文化概論 A	2	
	思想文化概論 B	2	
	人間科学概論 A	2	
	人間科学概論 B	2	
選択科目	言語・情報コース	言語学 A	2
		言語学 B	2
		言語学 A 1 (専門演習)	2
		言語学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 A	2
		音声学 B	2
		音声学 A 1 (専門演習)	2
		音声学 A 2 (専門演習)	2
		音声学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 B 2 (専門演習)	2
		言語処理論 A	2
		言語処理論 B	2
		言語処理論 A 1 (専門演習)	2
		言語処理論 A 2 (専門演習)	2
概論科目	言語・情報コース	言語学概論 A	2
		言語学概論 B	2
		音声学概論 A	2
		音声学概論 B	2
		言語処理概論 A	2

モンゴル語類			
科目区分	科目名	単位	
言語・情報コース	言語処理論B 1 (専門演習)	2	
	言語処理論B 2 (専門演習)	2	
	統計科学A	2	
	統計科学B	2	
	統計科学A 1 (専門演習)	2	
	統計科学B 1 (専門演習)	2	
	言語教育科学研究A	2	
	言語教育科学研究B	2	
	言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2	
	言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2	
	アジア・アフリカ言語研究A	2	
	アジア・アフリカ言語研究A (モンゴル語学)	2	
	アジア・アフリカ言語研究B	2	
	アジア・アフリカ言語研究B (モンゴル語学)	2	
	アジア・アフリカ言語研究A 7 (専門演習)	2	
	アジア・アフリカ言語研究B 7 (専門演習)	2	
	言語学特殊研究A	2	
	言語学特殊研究B	2	
	選択科目	言語教育学研究A	2
		言語教育学研究B	2
言語教育学研究A 1 (専門演習)		2	
言語教育学研究A 2 (専門演習)		2	
言語教育学研究B 1 (専門演習)		2	
言語教育学研究B 2 (専門演習)		2	
コミュニケーション論A		2	
コミュニケーション論B		2	
通訳・翻訳論A		2	
通訳・翻訳論B		2	
通訳・翻訳論A 1 (専門演習)		2	
通訳・翻訳論A 2 (専門演習)		2	
通訳・翻訳論B 1 (専門演習)		2	
通訳・翻訳論B 2 (専門演習)		2	
グローバルコミュニケーションコース		実践英語A	2
実践英語B		2	
実践言語A		2	
実践言語B		2	
コミュニティ通訳研究A		2	
コミュニティ通訳研究B		2	
コミュニティ通訳研究A 1 (専門演習)		2	
コミュニティ通訳研究B 1 (専門演習)		2	
多言語・多文化社会論研究A		2	
多言語・多文化社会論研究B		2	
多言語・多文化社会論研究A (専門演習)		2	
多言語・多文化社会論研究B (専門演習)		2	
インターンシップA		2	
インターンシップB		2	
総合文化コース		中央アジア文化研究A	2
中央アジア文化研究A (モンゴル文学)		2	
中央アジア文化研究B		2	

モンゴル語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	総合文化コース	中央アジア文化研究B (モンゴル文学)	2	
		中央アジア文化研究A 1 (専門演習)	2	
		中央アジア文化研究B 1 (専門演習)	2	
		文化・文学研究A	2	
		文化・文学研究B	2	
		思想文化研究A	2	
		思想文化研究B	2	
		思想文化研究A 1 (専門演習)	2	
		思想文化研究B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A	2	
		人間科学研究B	2	
		人間科学研究A 1	2	
		人間科学研究B 1	2	
		人間科学研究A 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A 2 (専門演習)	2	
		人間科学研究B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究B 2 (専門演習)	2	
		全コース	卒業論文演習A	2
		卒業論文演習B	2	
	インドネシア語類			
科目区分	科目名	単位		
言語・情報コース	言語学概論A	2		
	言語学概論B	2		
	音声学概論A	2		
	音声学概論B	2		
	言語処理概論A	2		
	言語処理概論B	2		
	言語教育科学概論A	2		
	言語教育科学概論B	2		
	アジア・アフリカ言語研究概論A	2		
	アジア・アフリカ言語研究概論B	2		
	概論科目	英語教育学概論A (英語学1)	2	
		英語教育学概論A (英語学2)	2	
		英語教育学概論B (英語学1)	2	
英語教育学概論B (英語学2)		2		
英語教育学概論A (英米文学1)		2		
英語教育学概論A (英米文学2)		2		
英語教育学概論B (英米文学1)		2		
英語教育学概論B (英米文学2)		2		
グローバルコミュニケーションコース		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)	2	
英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)		2		
英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)		2		
英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)		2		
英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)		2		
英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2			
言語教育学概論A	2			
言語教育学概論B	2			
コミュニケーション論概論A	2			
コミュニケーション論概論B	2			

インドネシア語類				
科目区分		科目名	単位	
概 論 科 目	グローバルコミュニ ケーションコース	通訳概論 A	2	
		通訳概論 B	2	
		多言語・多文化社会論概論 A	2	
		多言語・多文化社会論概論 B	2	
	総合文化コース	地域文化概論 A	2	
		地域文化概論 B	2	
		文化・文学概論 A	2	
		文化・文学概論 B	2	
		思想文化概論 A	2	
		思想文化概論 B	2	
		人間科学概論 A	2	
		人間科学概論 B	2	
	東南アジア文化概論 A	2		
	東南アジア文化概論 B	2		
選 択 科 目	言語・情報コース	言語学 A	2	
		言語学 B	2	
		言語学 A 1 (専門演習)	2	
		言語学 B 1 (専門演習)	2	
		音声学 A	2	
		音声学 B	2	
		音声学 A 1 (専門演習)	2	
		音声学 A 2 (専門演習)	2	
		音声学 B 1 (専門演習)	2	
		音声学 B 2 (専門演習)	2	
		言語処理論 A	2	
		言語処理論 B	2	
		言語処理論 A 1 (専門演習)	2	
		言語処理論 A 2 (専門演習)	2	
		言語処理論 B 1 (専門演習)	2	
		言語処理論 B 2 (専門演習)	2	
		統計科学 A	2	
		統計科学 B	2	
		統計科学 A 1 (専門演習)	2	
		統計科学 B 1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究 A	2	
		言語教育科学研究 B	2	
		言語教育科学研究 A 1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究 B 1 (専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究 A	2	
		アジア・アフリカ言語研究 A (インドネシア語学)	2	
		アジア・アフリカ言語研究 B	2	
		アジア・アフリカ言語研究 B (インドネシア語学)	2	
		アジア・アフリカ言語研究 A 8 (専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究 B 8 (専門演習)	2	
		言語学特殊研究 A	2	
		言語学特殊研究 B	2	
		グローバルコミュニ ケーションコース	言語教育学研究 A	2
			言語教育学研究 B	2
			言語教育学研究 A 1 (専門演習)	2

インドネシア語類			
科目区分		科目名	単位
選 択 科 目	グローバルコミュニ ケーションコース	言語教育学研究 A 2 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 2 (専門演習)	2
		コミュニケーション論 A	2
		コミュニケーション論 B	2
		通訳・翻訳論 A	2
		通訳・翻訳論 B	2
		通訳・翻訳論 A 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 A 2 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 2 (専門演習)	2
		実践英語 A	2
		実践英語 B	2
		実践言語 A	2
		実践言語 B	2
		コミュニティ通訳研究 A	2
		コミュニティ通訳研究 B	2
		コミュニティ通訳研究 A 1 (専門演習)	2
		コミュニティ通訳研究 B 1 (専門演習)	2
		多言語・多文化社会論研究 A	2
	多言語・多文化社会論研究 B	2	
	多言語・多文化社会論研究 A (専門演習)	2	
	多言語・多文化社会論研究 B (専門演習)	2	
	インターンシップ A	2	
	インターンシップ B	2	
	総合文化コース	東南アジア文化研究 A	2
		東南アジア文化研究 B	2
		東南アジア文化研究 A (インドネシア文学)	2
		東南アジア文化研究 B (インドネシア文学 1)	2
		東南アジア文化研究 B (インドネシア文学 2)	2
		東南アジア文化研究 A 1 (専門演習)	2
		東南アジア文化研究 B 1 (専門演習)	2
文化・文学研究 A		2	
文化・文学研究 B		2	
思想文化研究 A		2	
思想文化研究 B		2	
思想文化研究 A 1 (専門演習)		2	
思想文化研究 B 1 (専門演習)	2		
人間科学研究 A	2		
人間科学研究 B	2		
人間科学研究 A 1	2		
人間科学研究 B 1	2		
人間科学研究 A 1 (専門演習)	2		
人間科学研究 A 2 (専門演習)	2		
人間科学研究 B 1 (専門演習)	2		
人間科学研究 B 2 (専門演習)	2		
全 コ ー ス	卒業論文演習 A	2	
	卒業論文演習 B	2	

マレーシア語類			
科目区分	科目名	単位	
概 論 科 目	言語・情報コース	言語学概論 A	2
		言語学概論 B	2
		音声学概論 A	2
		音声学概論 B	2
		言語処理概論 A	2
		言語処理概論 B	2
		言語教育学概論 A	2
		言語教育学概論 B	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 A	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 B	2
	グローバルコミュニ ケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
		英語教育学概論 A (英語学 2)	2
		英語教育学概論 B (英語学 1)	2
		英語教育学概論 B (英語学 2)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		言語教育学概論 A	2
		言語教育学概論 B	2
		コミュニケーション論概論 A	2
		コミュニケーション論概論 B	2
		通訳概論 A	2
		通訳概論 B	2
	多言語・多文化社会論概論 A	2	
	多言語・多文化社会論概論 B	2	
	総合文化コース	地域文化概論 A	2
		地域文化概論 B	2
		文化・文学概論 A	2
		文化・文学概論 B	2
思想文化概論 A		2	
思想文化概論 B		2	
人間科学概論 A		2	
人間科学概論 B		2	
東南アジア文化概論 A		2	
東南アジア文化概論 B		2	
選 択 科 目	言語・情報コース	言語学 A	2
		言語学 B	2
		言語学 A 1 (専門演習)	2
		言語学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 A	2
		音声学 B	2
		音声学 A 1 (専門演習)	2

マレーシア語類			
科目区分	科目名	単位	
選 択 科 目	言語・情報コース	音声学 A 2 (専門演習)	2
		音声学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 B 2 (専門演習)	2
		言語処理論 A	2
		言語処理論 B	2
		言語処理論 A 1 (専門演習)	2
		言語処理論 A 2 (専門演習)	2
		言語処理論 B 1 (専門演習)	2
		言語処理論 B 2 (専門演習)	2
		統計科学 A	2
		統計科学 B	2
		統計科学 A 1 (専門演習)	2
		統計科学 B 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究 A	2
		言語教育科学研究 B	2
		言語教育科学研究 A 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究 B 1 (専門演習)	2
		アジア・アフリカ言語研究 A	2
		アジア・アフリカ言語研究 B	2
		アジア・アフリカ言語研究 A 9 (専門演習)	2
	アジア・アフリカ言語研究 B 9 (専門演習)	2	
	言語学特殊研究 A	2	
	言語学特殊研究 B	2	
	グローバルコミュニ ケーションコース	言語教育科学研究 A	2
		言語教育科学研究 B	2
		言語教育科学研究 A 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究 A 2 (専門演習)	2
		言語教育科学研究 B 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究 B 2 (専門演習)	2
		コミュニケーション論 A	2
		コミュニケーション論 B	2
		通訳・翻訳論 A	2
		通訳・翻訳論 B	2
		通訳・翻訳論 A 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 A 2 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 2 (専門演習)	2
		実践英語 A	2
		実践英語 B	2
		実践言語 A	2
		実践言語 B	2
		コミュニティ通訳研究 A	2
コミュニティ通訳研究 B		2	
コミュニティ通訳研究 A 1 (専門演習)		2	
コミュニティ通訳研究 B 1 (専門演習)		2	
多言語・多文化社会論研究 A	2		
多言語・多文化社会論研究 B	2		
多言語・多文化社会論研究 A (専門演習)	2		
多言語・多文化社会論研究 B (専門演習)	2		

マレーシア語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	インターンシップA	2	
		インターンシップB	2	
	総合文化コース	東南アジア文化研究A	2	
		東南アジア文化研究B	2	
		文化・文学研究A	2	
		文化・文学研究B	2	
		思想文化研究A	2	
		思想文化研究B	2	
		思想文化研究A 1 (専門演習)	2	
		思想文化研究B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A	2	
		人間科学研究B	2	
		人間科学研究A 1	2	
		人間科学研究B 1	2	
		人間科学研究A 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A 2 (専門演習)	2	
	人間科学研究B 1 (専門演習)	2		
	人間科学研究B 2 (専門演習)	2		
	全コース	卒業論文演習A	2	
		卒業論文演習B	2	
フィリピン語類				
科目区分	科目名	単位		
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2	
		言語学概論B	2	
		音声学概論A	2	
		音声学概論B	2	
		言語処理概論A	2	
		言語処理概論B	2	
		言語教育科学概論A	2	
		言語教育科学概論B	2	
		アジア・アフリカ言語研究概論A	2	
		アジア・アフリカ言語研究概論B	2	
		グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英語学1)	2
			英語教育学概論A (英語学2)	2
			英語教育学概論B (英語学1)	2
			英語教育学概論B (英語学2)	2
	英語教育学概論A (英米文学1)		2	
	英語教育学概論A (英米文学2)		2	
	英語教育学概論B (英米文学1)		2	
	英語教育学概論B (英米文学2)		2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)		2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)		2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)	2		
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)	2		
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2		
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2		
	言語教育学概論A	2		
	言語教育学概論B	2		
	コミュニケーション論概論A	2		

フィリピン語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	コミュニケーション論概論B	2
		通訳概論A	2
		通訳概論B	2
		多言語・多文化社会論概論A	2
		多言語・多文化社会論概論B	2
		総合文化コース	地域文化概論A
	地域文化概論B	2	
	文化・文学概論A	2	
	文化・文学概論B	2	
	思想文化概論A	2	
	思想文化概論B	2	
	人間科学概論A	2	
	人間科学概論B	2	
	東南アジア文化概論A	2	
	東南アジア文化概論B	2	
	言語・情報コース	言語学A	2
		言語学B	2
		言語学A 1 (専門演習)	2
		言語学B 1 (専門演習)	2
		音声学A	2
		音声学B	2
		音声学A 1 (専門演習)	2
		音声学A 2 (専門演習)	2
		音声学B 1 (専門演習)	2
		音声学B 2 (専門演習)	2
		言語処理論A	2
		言語処理論B	2
		言語処理論A 1 (専門演習)	2
		言語処理論A 2 (専門演習)	2
		言語処理論B 1 (専門演習)	2
		言語処理論B 2 (専門演習)	2
		統計科学A	2
		統計科学B	2
		統計科学A 1 (専門演習)	2
統計科学B 1 (専門演習)		2	
言語教育科学研究A		2	
言語教育科学研究B		2	
言語教育科学研究A 1 (専門演習)		2	
言語教育科学研究B 1 (専門演習)		2	
アジア・アフリカ言語研究A		2	
アジア・アフリカ言語研究B		2	
言語学特殊研究A		2	
言語学特殊研究B		2	
グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2	
	言語教育学研究B	2	
	言語教育学研究A 1 (専門演習)	2	
	言語教育学研究A 2 (専門演習)	2	
	言語教育学研究B 1 (専門演習)	2	
	言語教育学研究B 2 (専門演習)	2	

フィリピン語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	コミュニケーション論A	2
		コミュニケーション論B	2
		通訳・翻訳論A	2
		通訳・翻訳論B	2
		通訳・翻訳論A1(専門演習)	2
		通訳・翻訳論A2(専門演習)	2
		通訳・翻訳論B1(専門演習)	2
		通訳・翻訳論B2(専門演習)	2
		実践英語A	2
		実践英語B	2
		実践言語A	2
		実践言語B	2
		コミュニティ通訳研究A	2
		コミュニティ通訳研究B	2
	コミュニティ通訳研究A1(専門演習)	2	
	コミュニティ通訳研究B1(専門演習)	2	
	多言語・多文化社会論研究A	2	
	多言語・多文化社会論研究B	2	
	多言語・多文化社会論研究A(専門演習)	2	
	多言語・多文化社会論研究B(専門演習)	2	
	インターンシップA	2	
	インターンシップB	2	
	総合文化コース	東南アジア文化研究A	2
		東南アジア文化研究B	2
		文化・文学研究A	2
		文化・文学研究B	2
		思想文化研究A	2
		思想文化研究B	2
		思想文化研究A1(専門演習)	2
		思想文化研究B1(専門演習)	2
		人間科学研究A	2
		人間科学研究B	2
		人間科学研究A1	2
		人間科学研究B1	2
人間科学研究A1(専門演習)		2	
人間科学研究A2(専門演習)		2	
人間科学研究B1(専門演習)	2		
人間科学研究B2(専門演習)	2		
全コース	卒業論文演習A	2	
	卒業論文演習B	2	
タイ語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2
		言語学概論B	2
		音声学概論A	2
		音声学概論B	2
		言語処理概論A	2
		言語処理概論B	2
		言語教育科学概論A	2
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A(英語学1)	2
		英語教育学概論A(英語学2)	2
		英語教育学概論B(英語学1)	2
		英語教育学概論B(英語学2)	2
		英語教育学概論A(英米文学1)	2
		英語教育学概論A(英米文学2)	2
		英語教育学概論B(英米文学1)	2
英語教育学概論B(英米文学2)	2		
総合文化コース	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション1)	2	
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション2)	2	
	英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション3)	2	
	英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション1)	2	
	英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション2)	2	
	英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション3)	2	
	言語教育科学概論A	2	
言語教育科学概論B	2		
コミュニケーション論概論A	2		
コミュニケーション論概論B	2		
通訳概論A	2		
通訳概論B	2		
多言語・多文化社会論概論A	2		
多言語・多文化社会論概論B	2		
選択科目	言語・情報コース	地域文化概論A	2
		地域文化概論B	2
		文化・文学概論A	2
		文化・文学概論B	2
		思想文化概論A	2
		思想文化概論B	2
		人間科学概論A	2
	人間科学概論B	2	
	東南アジア文化概論A	2	
	東南アジア文化概論B	2	
	言語学A	2	
	言語学B	2	
	言語学A1(専門演習)	2	
	言語学B1(専門演習)	2	
音声学A	2		
音声学B	2		
音声学A1(専門演習)	2		
音声学A2(専門演習)	2		
音声学B1(専門演習)	2		
音声学B2(専門演習)	2		
言語処理論A	2		
言語処理論B	2		
言語処理論A1(専門演習)	2		
言語処理論A2(専門演習)	2		

タイ語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	言語・情報コース	言語教育科学概論B	2
		アジア・アフリカ言語研究概論A	2
		アジア・アフリカ言語研究概論B	2
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A(英語学1)	2
		英語教育学概論A(英語学2)	2
		英語教育学概論B(英語学1)	2
		英語教育学概論B(英語学2)	2
		英語教育学概論A(英米文学1)	2
		英語教育学概論A(英米文学2)	2
		英語教育学概論B(英米文学1)	2
		英語教育学概論B(英米文学2)	2
		英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション3)	2
		英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション3)	2
	言語教育科学概論A	2	
	言語教育科学概論B	2	
	コミュニケーション論概論A	2	
	コミュニケーション論概論B	2	
	通訳概論A	2	
	通訳概論B	2	
	多言語・多文化社会論概論A	2	
	多言語・多文化社会論概論B	2	
	総合文化コース	地域文化概論A	2
		地域文化概論B	2
		文化・文学概論A	2
		文化・文学概論B	2
		思想文化概論A	2
		思想文化概論B	2
		人間科学概論A	2
	人間科学概論B	2	
	東南アジア文化概論A	2	
東南アジア文化概論B	2		
言語・情報コース	言語学A	2	
	言語学B	2	
	言語学A1(専門演習)	2	
	言語学B1(専門演習)	2	
	音声学A	2	
	音声学B	2	
	音声学A1(専門演習)	2	
	音声学A2(専門演習)	2	
	音声学B1(専門演習)	2	
	音声学B2(専門演習)	2	
	言語処理論A	2	
	言語処理論B	2	
	言語処理論A1(専門演習)	2	
	言語処理論A2(専門演習)	2	

タイ語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	言語・情報コース	言語処理論B 1 (専門演習)	2	
		言語処理論B 2 (専門演習)	2	
		統計科学A	2	
		統計科学B	2	
		統計科学A 1 (専門演習)	2	
		統計科学B 1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究A	2	
		言語教育科学研究B	2	
		言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究A	2	
		アジア・アフリカ言語研究B	2	
		言語学特殊研究A	2	
		言語学特殊研究B	2	
	選択科目	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2
			言語教育学研究B	2
			言語教育学研究A 1 (専門演習)	2
			言語教育学研究A 2 (専門演習)	2
			言語教育学研究B 1 (専門演習)	2
			言語教育学研究B 2 (専門演習)	2
			コミュニケーション論A	2
			コミュニケーション論B	2
			通訳・翻訳論A	2
			通訳・翻訳論B	2
			通訳・翻訳論A 1 (専門演習)	2
			通訳・翻訳論A 2 (専門演習)	2
通訳・翻訳論B 1 (専門演習)			2	
通訳・翻訳論B 2 (専門演習)			2	
総合文化コース		実践英語A	2	
		実践英語B	2	
		実践言語A	2	
		実践言語B	2	
		コミュニティ通訳研究A	2	
		コミュニティ通訳研究B	2	
		コミュニティ通訳研究A 1 (専門演習)	2	
		コミュニティ通訳研究B 1 (専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究A	2	
		多言語・多文化社会論研究B	2	
		多言語・多文化社会論研究A (専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究B (専門演習)	2	
インターンシップA	2			
インターンシップB	2			
総合文化コース	東南アジア文化研究A	2		
	東南アジア文化研究B	2		
	文化・文学研究A	2		
	文化・文学研究B	2		
	思想文化研究A	2		
	思想文化研究B	2		
思想文化研究A 1 (専門演習)	2			

タイ語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	総合文化コース	思想文化研究B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A	2	
		人間科学研究B	2	
		人間科学研究A 1	2	
		人間科学研究B 1	2	
		人間科学研究A 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究A 2 (専門演習)	2	
		人間科学研究B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究B 2 (専門演習)	2	
	全コース	卒業論文演習A	2	
卒業論文演習B	2			
ラオス語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	言語・情報コース	言語学概論A	2	
		言語学概論B	2	
		音声学概論A	2	
		音声学概論B	2	
		言語処理概論A	2	
		言語処理概論B	2	
		言語教育科学概論A	2	
		言語教育科学概論B	2	
		アジア・アフリカ言語研究概論A	2	
		アジア・アフリカ言語研究概論B	2	
		概論科目	英語教育学概論A (英語学1)	2
			英語教育学概論A (英語学2)	2
			英語教育学概論B (英語学1)	2
			英語教育学概論B (英語学2)	2
	英語教育学概論A (英米文学1)		2	
	英語教育学概論A (英米文学2)		2	
	英語教育学概論B (英米文学1)		2	
	英語教育学概論B (英米文学2)		2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)		2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)		2	
	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)		2	
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)		2	
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2		
	英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2		
	総合文化コース	言語教育学概論A	2	
		言語教育学概論B	2	
コミュニケーション論概論A		2		
コミュニケーション論概論B		2		
通訳概論A		2		
通訳概論B		2		
多言語・多文化社会論概論A		2		
多言語・多文化社会論概論B		2		
地域文化概論A		2		
地域文化概論B		2		
文化・文学概論A	2			
文化・文学概論B	2			

ラオス語類					
科目区分		科目名	単位		
概論科目	総合文化コース	思想文化概論A	2		
		思想文化概論B	2		
		人間科学概論A	2		
		人間科学概論B	2		
		東南アジア文化概論A	2		
		東南アジア文化概論B	2		
選択科目	言語・情報コース	言語学A	2		
		言語学B	2		
		言語学A 1 (専門演習)	2		
		言語学B 1 (専門演習)	2		
		音声学A	2		
		音声学B	2		
		音声学A 1 (専門演習)	2		
		音声学A 2 (専門演習)	2		
		音声学B 1 (専門演習)	2		
		音声学B 2 (専門演習)	2		
		言語処理論A	2		
		言語処理論B	2		
		言語処理論A 1 (専門演習)	2		
		言語処理論A 2 (専門演習)	2		
		言語処理論B 1 (専門演習)	2		
		言語処理論B 2 (専門演習)	2		
		統計科学A	2		
		統計科学B	2		
		統計科学A 1 (専門演習)	2		
		統計科学B 1 (専門演習)	2		
		言語教育科学研究A	2		
		言語教育科学研究B	2		
		言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2		
		言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2		
		アジア・アフリカ言語研究A	2		
		アジア・アフリカ言語研究A (ラオス語学)	2		
		アジア・アフリカ言語研究B	2		
		アジア・アフリカ言語研究B (ラオス語学)	2		
		アジア・アフリカ言語研究A10(専門演習)	2		
		アジア・アフリカ言語研究B10(専門演習)	2		
		言語学特殊研究A	2		
		言語学特殊研究B	2		
		選択科目	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2
				言語教育学研究B	2
				言語教育学研究A 1 (専門演習)	2
				言語教育学研究A 2 (専門演習)	2
				言語教育学研究B 1 (専門演習)	2
				言語教育学研究B 2 (専門演習)	2
				コミュニケーション論A	2
				コミュニケーション論B	2
				通訳・翻訳論A	2
				通訳・翻訳論B	2
通訳・翻訳論A 1 (専門演習)	2				

ラオス語類					
科目区分		科目名	単位		
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	通訳・翻訳論A 2 (専門演習)	2		
		通訳・翻訳論B 1 (専門演習)	2		
		通訳・翻訳論B 2 (専門演習)	2		
		実践英語A	2		
		実践英語B	2		
		実践言語A	2		
		実践言語B	2		
		コミュニティ通訳研究A	2		
		コミュニティ通訳研究B	2		
		コミュニティ通訳研究A 1 (専門演習)	2		
		コミュニティ通訳研究B 1 (専門演習)	2		
		多言語・多文化社会論研究A	2		
		多言語・多文化社会論研究B	2		
		多言語・多文化社会論研究A (専門演習)	2		
		多言語・多文化社会論研究B (専門演習)	2		
		インターンシップA	2		
		インターンシップB	2		
		選択科目	総合文化コース	東南アジア文化研究A	2
				東南アジア文化研究A (ラオス文学)	2
				東南アジア文化研究B	2
東南アジア文化研究B (ラオス文学)	2				
文化・文学研究A	2				
文化・文学研究B	2				
思想文化研究A	2				
思想文化研究B	2				
思想文化研究A 1 (専門演習)	2				
思想文化研究B 1 (専門演習)	2				
人間科学研究A	2				
人間科学研究B	2				
人間科学研究A 1	2				
人間科学研究B 1	2				
人間科学研究A 1 (専門演習)	2				
人間科学研究A 2 (専門演習)	2				
人間科学研究B 1 (専門演習)	2				
人間科学研究B 2 (専門演習)	2				
全コース	全コース	卒業論文演習A	2		
		卒業論文演習B	2		
ベトナム語類					
科目区分		科目名	単位		
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2		
		言語学概論B	2		
		音声学概論A	2		
		音声学概論B	2		
		言語処理概論A	2		
		言語処理概論B	2		
		言語教育科学概論A	2		
		言語教育科学概論B	2		
		アジア・アフリカ言語研究概論A	2		
		アジア・アフリカ言語研究概論B	2		

ベトナム語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	英語教育学概論A (英語学1)	2	
	英語教育学概論A (英語学2)	2	
	英語教育学概論B (英語学1)	2	
	英語教育学概論B (英語学2)	2	
	英語教育学概論A (英米文学1)	2	
	英語教育学概論A (英米文学2)	2	
	英語教育学概論B (英米文学1)	2	
	英語教育学概論B (英米文学2)	2	
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		言語教育学概論A	2
		言語教育学概論B	2
		コミュニケーション論概論A	2
		コミュニケーション論概論B	2
	通訳概論A	2	
	通訳概論B	2	
	多言語・多文化社会論概論A	2	
	多言語・多文化社会論概論B	2	
	総合文化コース	地域文化概論A	2
		地域文化概論B	2
		文化・文学概論A	2
		文化・文学概論B	2
		思想文化概論A	2
		思想文化概論B	2
人間科学概論A		2	
人間科学概論B		2	
東南アジア文化概論A		2	
東南アジア文化概論B	2		
選択科目	言語学A	2	
	言語学B	2	
	言語学A1 (専門演習)	2	
	言語学B1 (専門演習)	2	
	音声学A	2	
	音声学B	2	
	音声学A1 (専門演習)	2	
	音声学A2 (専門演習)	2	
	言語・情報コース	音声学B1 (専門演習)	2
		音声学B2 (専門演習)	2
		言語処理論A	2
		言語処理論B	2
		言語処理論A1 (専門演習)	2
		言語処理論A2 (専門演習)	2
		言語処理論B1 (専門演習)	2
		言語処理論B2 (専門演習)	2
		統計科学A	2

ベトナム語類				
科目区分	科目名	単位		
概論科目	言語・情報コース	統計科学B	2	
		統計科学A1 (専門演習)	2	
		統計科学B1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究A	2	
		言語教育科学研究B	2	
		言語教育科学研究A1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究B1 (専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究A	2	
		アジア・アフリカ言語研究B	2	
		言語学特殊研究A	2	
	言語学特殊研究B	2		
	選択科目	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2
			言語教育学研究B	2
			言語教育学研究A1 (専門演習)	2
			言語教育学研究A2 (専門演習)	2
			言語教育学研究B1 (専門演習)	2
			言語教育学研究B2 (専門演習)	2
			コミュニケーション論A	2
			コミュニケーション論B	2
			通訳・翻訳論A	2
			通訳・翻訳論B	2
		通訳・翻訳論A1 (専門演習)	2	
		通訳・翻訳論A2 (専門演習)	2	
		通訳・翻訳論B1 (専門演習)	2	
		通訳・翻訳論B2 (専門演習)	2	
		実践英語A	2	
		実践英語B	2	
		実践言語A	2	
実践言語B		2		
コミュニティ通訳研究A	2			
コミュニティ通訳研究B	2			
コミュニティ通訳研究A1 (専門演習)	2			
コミュニティ通訳研究B1 (専門演習)	2			
多言語・多文化社会論研究A	2			
多言語・多文化社会論研究B	2			
多言語・多文化社会論研究A (専門演習)	2			
多言語・多文化社会論研究B (専門演習)	2			
インターンシップA	2			
インターンシップB	2			
総合文化コース	東南アジア文化研究A	2		
	東南アジア文化研究B	2		
	文化・文学研究A	2		
	文化・文学研究B	2		
	思想文化研究A	2		
	思想文化研究B	2		
	思想文化研究A1 (専門演習)	2		
	思想文化研究B1 (専門演習)	2		
	人間科学研究A	2		
	人間科学研究B	2		

ベトナム語類			
科目区分		科目名	単位
選択科目	総合文化コース	人間科学研究 A 1	2
		人間科学研究 B 1	2
		人間科学研究 A 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 A 2 (専門演習)	2
		人間科学研究 B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 B 2 (専門演習)	2
	全コース	卒業論文演習 A	2
		卒業論文演習 B	2
カンボジア語類			
科目区分		科目名	単位
概論科目	言語・情報コース	言語学概論 A	2
		言語学概論 B	2
		音声学概論 A	2
		音声学概論 B	2
		言語処理概論 A	2
		言語処理概論 B	2
		言語教育科学概論 A	2
		言語教育科学概論 B	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 A	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 B	2
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
		英語教育学概論 A (英語学 2)	2
		英語教育学概論 B (英語学 1)	2
		英語教育学概論 B (英語学 2)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		言語教育学概論 A	2
		言語教育学概論 B	2
		コミュニケーション論概論 A	2
		コミュニケーション論概論 B	2
		通訳概論 A	2
		通訳概論 B	2
	多言語・多文化社会論概論 A	2	
	多言語・多文化社会論概論 B	2	
	総合文化コース	地域文化概論 A	2
		地域文化概論 B	2
		文化・文学概論 A	2
		文化・文学概論 B	2
		思想文化概論 A	2
		思想文化概論 B	2
		人間科学概論 A	2

カンボジア語類			
科目区分		科目名	単位
概論科目	総合文化コース	人間科学概論 B	2
		東南アジア文化概論 A	2
東南アジア文化概論 B		2	
選択科目	言語・情報コース	言語学 A	2
		言語学 B	2
		言語学 A 1 (専門演習)	2
		言語学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 A	2
		音声学 B	2
		音声学 A 1 (専門演習)	2
		音声学 A 2 (専門演習)	2
		音声学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 B 2 (専門演習)	2
		言語処理論 A	2
		言語処理論 B	2
		言語処理論 A 1 (専門演習)	2
		言語処理論 A 2 (専門演習)	2
		言語処理論 B 1 (専門演習)	2
		言語処理論 B 2 (専門演習)	2
		統計科学 A	2
		統計科学 B	2
		統計科学 A 1 (専門演習)	2
		統計科学 B 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究 A	2
		言語教育科学研究 B	2
		言語教育科学研究 A 1 (専門演習)	2
		言語教育科学研究 B 1 (専門演習)	2
		アジア・アフリカ言語研究 A	2
		アジア・アフリカ言語研究 B	2
		アジア・アフリカ言語研究 A11 (専門演習)	2
	アジア・アフリカ言語研究 B11 (専門演習)	2	
	言語学特殊研究 A	2	
	言語学特殊研究 B	2	
	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究 A	2
		言語教育学研究 B	2
		言語教育学研究 A 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究 A 2 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 2 (専門演習)	2
		コミュニケーション論 A	2
		コミュニケーション論 B	2
		通訳・翻訳論 A	2
		通訳・翻訳論 B	2
		通訳・翻訳論 A 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 A 2 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 B 2 (専門演習)	2
		実践英語 A	2
		実践英語 B	2

カンボジア語類				
科目区分		科目名	単位	
選 択 科 目	グローバルコミュニ ケーションコース	実践言語 A	2	
		実践言語 B	2	
		コミュニティ通訳研究 A	2	
		コミュニティ通訳研究 B	2	
		コミュニティ通訳研究 A 1 (専門演習)	2	
		コミュニティ通訳研究 B 1 (専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究 A	2	
		多言語・多文化社会論研究 B	2	
		多言語・多文化社会論研究 A (専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究 B (専門演習)	2	
		インターンシップ A	2	
		インターンシップ B	2	
	総合文化コース	東南アジア文化研究 A	2	
		東南アジア文化研究 B	2	
		東南アジア文化研究 A 3 (専門演習)	2	
		東南アジア文化研究 B 3 (専門演習)	2	
		文化・文学研究 A	2	
		文化・文学研究 B	2	
		思想文化研究 A	2	
		思想文化研究 B	2	
		思想文化研究 A 1 (専門演習)	2	
		思想文化研究 B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究 A	2	
		人間科学研究 B	2	
		人間科学研究 A 1	2	
		人間科学研究 B 1	2	
		人間科学研究 A 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究 A 2 (専門演習)	2	
		人間科学研究 B 1 (専門演習)	2	
		人間科学研究 B 2 (専門演習)	2	
	全 コ ー ス	卒業論文演習 A	2	
		卒業論文演習 B	2	
ビルマ語類				
科目区分		科目名	単位	
概 論 科 目	言語・情報コース	言語学概論 A	2	
		言語学概論 B	2	
		音声学概論 A	2	
		音声学概論 B	2	
		言語処理概論 A	2	
		言語処理概論 B	2	
		言語教育科学概論 A	2	
		言語教育科学概論 B	2	
		アジア・アフリカ言語研究概論 A (ビルマ語学)	2	
		アジア・アフリカ言語研究概論 B (ビルマ語学)	2	
		グローバルコミュニ ケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
			英語教育学概論 A (英語学 2)	2
	英語教育学概論 B (英語学 1)		2	
	英語教育学概論 B (英語学 2)		2	
	英語教育学概論 A (英米文学 1)		2	

ビルマ語類				
科目区分		科目名	単位	
選 択 科 目	概 論 科 目	英語教育学概論 A (英米文学 2)	2	
		英語教育学概論 B (英米文学 1)	2	
		英語教育学概論 B (英米文学 2)	2	
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 1)	2	
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 2)	2	
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 3)	2	
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 1)	2	
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 2)	2	
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 3)	2	
		言語教育学概論 A	2	
		言語教育学概論 B	2	
		コミュニケーション論概論 A	2	
		コミュニケーション論概論 B	2	
		通訳概論 A	2	
		通訳概論 B	2	
		多言語・多文化社会論概論 A	2	
		多言語・多文化社会論概論 B	2	
		総合文化コース	地域文化概論 A	2
	地域文化概論 B		2	
	文化・文学概論 A		2	
	文化・文学概論 B		2	
	思想文化概論 A		2	
	思想文化概論 B		2	
	人間科学概論 A		2	
	人間科学概論 B		2	
	東南アジア文化概論 A		2	
	東南アジア文化概論 B		2	
	言 語 ・ 情 報 コ ー ス		言語学 A	2
			言語学 B	2
			言語学 A 1 (専門演習)	2
			言語学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 A	2	
音声学 B		2		
音声学 A 1 (専門演習)		2		
音声学 A 2 (専門演習)		2		
音声学 B 1 (専門演習)		2		
音声学 B 2 (専門演習)		2		
言語処理論 A		2		
言語処理論 B		2		
言語処理論 A 1 (専門演習)		2		
言語処理論 A 2 (専門演習)		2		
言語処理論 B 1 (専門演習)	2			
言語処理論 B 2 (専門演習)	2			
統計科学 A	2			
統計科学 B	2			
統計科学 A 1 (専門演習)	2			
統計科学 B 1 (専門演習)	2			
言語教育科学研究 A	2			
言語教育科学研究 B	2			

ビルマ語類			
科目区分	科目名	単位	
言語・情報コース	言語教育科学研究A1(専門演習)	2	
	言語教育科学研究B1(専門演習)	2	
	アジア・アフリカ言語研究A	2	
	アジア・アフリカ言語研究A(ビルマ語学)	2	
	アジア・アフリカ言語研究B	2	
	アジア・アフリカ言語研究B(ビルマ語学)	2	
	アジア・アフリカ言語研究A12(専門演習)	2	
	アジア・アフリカ言語研究B12(専門演習)	2	
	言語学特殊研究A	2	
	言語学特殊研究B	2	
	グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2
		言語教育学研究B	2
		言語教育学研究A1(専門演習)	2
		言語教育学研究A2(専門演習)	2
		言語教育学研究B1(専門演習)	2
		言語教育学研究B2(専門演習)	2
		コミュニケーション論A	2
		コミュニケーション論B	2
通訳・翻訳論A		2	
通訳・翻訳論B		2	
通訳・翻訳論A1(専門演習)		2	
通訳・翻訳論A2(専門演習)		2	
通訳・翻訳論B1(専門演習)		2	
通訳・翻訳論B2(専門演習)		2	
実践英語A		2	
実践英語B		2	
実践言語A		2	
実践言語B		2	
コミュニティ通訳研究A		2	
コミュニティ通訳研究B		2	
コミュニティ通訳研究A1(専門演習)		2	
コミュニティ通訳研究B1(専門演習)		2	
多言語・多文化社会論研究A		2	
多言語・多文化社会論研究B		2	
多言語・多文化社会論研究A(専門演習)		2	
多言語・多文化社会論研究B(専門演習)		2	
インターンシップA		2	
インターンシップB		2	
総合文化コース		東南アジア文化研究A	2
		東南アジア文化研究A(ビルマ文学)	2
	東南アジア文化研究B	2	
	東南アジア文化研究B(ビルマ文学)	2	
	東南アジア文化研究A2(専門演習)	2	
	東南アジア文化研究B2(専門演習)	2	
	文化・文学研究A	2	
	文化・文学研究B	2	
	思想文化研究A	2	
	思想文化研究B	2	
思想文化研究A1(専門演習)	2		

ビルマ語類					
科目区分	科目名	単位			
選択科目	総合文化コース	思想文化研究B1(専門演習)	2		
		人間科学研究A	2		
		人間科学研究B	2		
		人間科学研究A1	2		
		人間科学研究B1	2		
		人間科学研究A1(専門演習)	2		
		人間科学研究A2(専門演習)	2		
		人間科学研究B1(専門演習)	2		
		人間科学研究B2(専門演習)	2		
		全コース	卒業論文演習A	2	
卒業論文演習B	2				
ウルドゥー語類					
科目区分	科目名	単位			
選択科目	言語・情報コース	言語学概論A	2		
		言語学概論B	2		
		音声学概論A	2		
		音声学概論B	2		
		言語処理概論A	2		
		言語処理概論B	2		
		言語教育科学概論A	2		
		言語教育科学概論B	2		
		アジア・アフリカ言語研究概論A	2		
		アジア・アフリカ言語研究概論B	2		
		概論科目	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A(英語学1)	2
				英語教育学概論A(英語学2)	2
				英語教育学概論B(英語学1)	2
				英語教育学概論B(英語学2)	2
				英語教育学概論A(英米文学1)	2
				英語教育学概論A(英米文学2)	2
				英語教育学概論B(英米文学1)	2
				英語教育学概論B(英米文学2)	2
英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション1)	2				
英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション2)	2				
英語教育学概論A(英語オーラルコミュニケーション3)	2				
英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション1)	2				
英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション2)	2				
英語教育学概論B(英語オーラルコミュニケーション3)	2				
言語教育学概論A	2				
言語教育学概論B	2				
コミュニケーション論概論A	2				
コミュニケーション論概論B	2				
通訳概論A	2				
通訳概論B	2				
多言語・多文化社会論概論A	2				
多言語・多文化社会論概論B	2				
総合文化コース	総合文化コース	地域文化概論A	2		
		地域文化概論B	2		
		文化・文学概論A	2		
		文化・文学概論B	2		

ウルドゥー語類				
科目区分		科目名	単位	
概論科目	総合文化コース	思想文化概論A	2	
		思想文化概論B	2	
		人間科学概論A	2	
		人間科学概論B	2	
		南アジア文化概論A	2	
		南アジア文化概論B	2	
選択科目	言語・情報コース	言語学A	2	
		言語学B	2	
		言語学A 1(専門演習)	2	
		言語学B 1(専門演習)	2	
		音声学A	2	
		音声学B	2	
		音声学A 1(専門演習)	2	
		音声学A 2(専門演習)	2	
		音声学B 1(専門演習)	2	
		音声学B 2(専門演習)	2	
		言語処理論A	2	
		言語処理論B	2	
		言語処理論A 1(専門演習)	2	
		言語処理論A 2(専門演習)	2	
		言語処理論B 1(専門演習)	2	
		言語処理論B 2(専門演習)	2	
		統計科学A	2	
		統計科学B	2	
		統計科学A 1(専門演習)	2	
		統計科学B 1(専門演習)	2	
		言語教育科学研究A	2	
		言語教育科学研究B	2	
		言語教育科学研究A 1(専門演習)	2	
		言語教育科学研究B 1(専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究A	2	
		アジア・アフリカ言語研究B	2	
		アジア・アフリカ言語研究A13(専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究B13(専門演習)	2	
		言語学特殊研究A	2	
		言語学特殊研究B	2	
		言語教育学研究A	2	
		言語教育学研究B	2	
		言語教育学研究A 1(専門演習)	2	
		言語教育学研究A 2(専門演習)	2	
		言語教育学研究B 1(専門演習)	2	
		言語教育学研究B 2(専門演習)	2	
		グローバルコミュニケーションコース	コミュニケーション論A	2
			コミュニケーション論B	2
			通訳・翻訳論A	2
			通訳・翻訳論B	2
			通訳・翻訳論A 1(専門演習)	2
			通訳・翻訳論A 2(専門演習)	2
通訳・翻訳論B 1(専門演習)	2			

ウルドゥー語類			
科目区分		科目名	単位
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	通訳・翻訳論B 2(専門演習)	2
		実践英語A	2
		実践英語B	2
		実践言語A	2
		実践言語B	2
		コミュニティ通訳研究A	2
		コミュニティ通訳研究B	2
		コミュニティ通訳研究A 1(専門演習)	2
		コミュニティ通訳研究B 1(専門演習)	2
		多言語・多文化社会論研究A	2
		多言語・多文化社会論研究B	2
		多言語・多文化社会論研究A(専門演習)	2
		多言語・多文化社会論研究B(専門演習)	2
		インターンシップA	2
		インターンシップB	2
		総合文化コース	南アジア文化研究A
	南アジア文化研究B		2
	南アジア文化研究A 2(専門演習)		2
	南アジア文化研究A 3(専門演習)		2
	南アジア文化研究B 2(専門演習)		2
	南アジア文化研究B 3(専門演習)		2
	文化・文学研究A		2
	文化・文学研究B		2
	思想文化研究A		2
	思想文化研究B		2
	全コース	思想文化研究A 1(専門演習)	2
思想文化研究B 1(専門演習)		2	
人間科学研究A		2	
人間科学研究B		2	
人間科学研究A 1		2	
人間科学研究B 1		2	
人間科学研究A 1(専門演習)		2	
人間科学研究A 2(専門演習)		2	
人間科学研究B 1(専門演習)		2	
人間科学研究B 2(専門演習)		2	
卒業論文演習A	2		
卒業論文演習B	2		
ヒンディー語類			
科目区分		科目名	単位
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2
		言語学概論B	2
		音声学概論A	2
		音声学概論B	2
		言語処理概論A	2
		言語処理概論B	2
		言語教育科学概論A	2
		言語教育科学概論B	2
		アジア・アフリカ言語研究概論A	2
		アジア・アフリカ言語研究概論B	2

ヒンディー語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	言語・情報コース	英語教育学概論A (英語学1)	2
		英語教育学概論A (英語学2)	2
		英語教育学概論B (英語学1)	2
		英語教育学概論B (英語学2)	2
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英米文学1)	2
		英語教育学概論A (英米文学2)	2
		英語教育学概論B (英米文学1)	2
		英語教育学概論B (英米文学2)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		言語教育学概論A	2
		言語教育学概論B	2
		コミュニケーション論概論A	2
		コミュニケーション論概論B	2
		通訳概論A	2
		通訳概論B	2
	多言語・多文化社会論概論A	2	
	多言語・多文化社会論概論B	2	
	総合文化コース	地域文化概論A	2
		地域文化概論B	2
		文化・文学概論A	2
		文化・文学概論B	2
		思想文化概論A	2
		思想文化概論B	2
人間科学概論A		2	
人間科学概論B		2	
選択科目	言語・情報コース	言語学A	2
		言語学B	2
		言語学A1 (専門演習)	2
		言語学B1 (専門演習)	2
		音声学A	2
		音声学B	2
		音声学A1 (専門演習)	2
		音声学A2 (専門演習)	2
		音声学B1 (専門演習)	2
		音声学B2 (専門演習)	2
		言語処理論A	2
		言語処理論B	2
	言語処理論A1 (専門演習)	2	
	言語処理論A2 (専門演習)	2	
	言語処理論B1 (専門演習)	2	
	言語処理論B2 (専門演習)	2	
	統計科学A	2	

ヒンディー語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	言語・情報コース	統計科学B	2	
		統計科学A1 (専門演習)	2	
		統計科学B1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究A	2	
		言語教育科学研究B	2	
		言語教育科学研究A1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究B1 (専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究A	2	
		アジア・アフリカ言語研究B	2	
		言語学特殊研究A	2	
		言語学特殊研究B	2	
		グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2
			言語教育学研究B	2
			言語教育学研究A1 (専門演習)	2
			言語教育学研究A2 (専門演習)	2
			言語教育学研究B1 (専門演習)	2
	言語教育学研究B2 (専門演習)		2	
	コミュニケーション論A		2	
	コミュニケーション論B		2	
	通訳・翻訳論A		2	
	通訳・翻訳論B		2	
	通訳・翻訳論A1 (専門演習)		2	
	通訳・翻訳論A2 (専門演習)		2	
	通訳・翻訳論B1 (専門演習)		2	
	通訳・翻訳論B2 (専門演習)		2	
	実践英語A		2	
	実践英語B		2	
	実践言語A		2	
	実践言語B		2	
	コミュニティ通訳研究A		2	
	コミュニティ通訳研究B		2	
	コミュニティ通訳研究A1 (専門演習)		2	
	コミュニティ通訳研究B1 (専門演習)		2	
	多言語・多文化社会論研究A		2	
	多言語・多文化社会論研究B		2	
	多言語・多文化社会論研究A (専門演習)		2	
	多言語・多文化社会論研究B (専門演習)		2	
	インターンシップA		2	
	インターンシップB		2	
	総合文化コース	南アジア文化研究A	2	
		南アジア文化研究B	2	
		南アジア文化研究A1 (専門演習)	2	
		南アジア文化研究B1 (専門演習)	2	
		文化・文学研究A	2	
文化・文学研究B		2		
思想文化研究A		2		
思想文化研究B		2		
思想文化研究A1 (専門演習)	2			
思想文化研究B1 (専門演習)	2			

ヒンディー語類			
科目区分		科目名	単位
選 択 科 目	総合文化コース	人間科学研究 A	2
		人間科学研究 B	2
		人間科学研究 A 1	2
		人間科学研究 B 1	2
		人間科学研究 A 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 A 2 (専門演習)	2
		人間科学研究 B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 B 2 (専門演習)	2
	全 コ ー ス	卒業論文演習 A	2
	卒業論文演習 B	2	
ベンガル語類			
科目区分		科目名	単位
概 論 科 目	言語・情報コース	言語学概論 A	2
		言語学概論 B	2
		音声学概論 A	2
		音声学概論 B	2
		言語処理概論 A	2
		言語処理概論 B	2
		言語教育科学概論 A	2
		言語教育科学概論 B	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 A	2
		アジア・アフリカ言語研究概論 B	2
	グ ロ ー バ ル コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ー ス	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
		英語教育学概論 A (英語学 2)	2
		英語教育学概論 B (英語学 1)	2
		英語教育学概論 B (英語学 2)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		言語教育学概論 A	2
		言語教育学概論 B	2
		コミュニケーション論概論 A	2
		コミュニケーション論概論 B	2
		通訳概論 A	2
		通訳概論 B	2
	多言語・多文化社会論概論 A	2	
	多言語・多文化社会論概論 B	2	
	総 合 文 化 コ ー ス	地域文化概論 A	2
		地域文化概論 B	2
		文化・文学概論 A	2
		文化・文学概論 B	2
		思想文化概論 A	2

ベンガル語類			
科目区分		科目名	単位
概 論 科 目	総合文化コース	思想文化概論 B	2
		人間科学概論 A	2
		人間科学概論 B	2
		南アジア文化概論 A	2
		南アジア文化概論 B	2
選 択 科 目	言 語 ・ 情 報 コ ー ス	言語学 A	2
		言語学 B	2
		言語学 A 1 (専門演習)	2
		言語学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 A	2
		音声学 B	2
		音声学 A 1 (専門演習)	2
		音声学 A 2 (専門演習)	2
		音声学 B 1 (専門演習)	2
		音声学 B 2 (専門演習)	2
		言語処理論 A	2
		言語処理論 B	2
		言語処理論 A 1 (専門演習)	2
		言語処理論 A 2 (専門演習)	2
		言語処理論 B 1 (専門演習)	2
		言語処理論 B 2 (専門演習)	2
		統計科学 A	2
		統計科学 B	2
		統計科学 A 1 (専門演習)	2
		統計科学 B 1 (専門演習)	2
	言語教育科学研究 A	2	
	言語教育科学研究 B	2	
	言語教育科学研究 A 1 (専門演習)	2	
	言語教育科学研究 B 1 (専門演習)	2	
	アジア・アフリカ言語研究 A	2	
	アジア・アフリカ言語研究 B	2	
	言語学特殊研究 A	2	
	言語学特殊研究 B	2	
	グ ロ ー バ ル コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ー ス	言語教育学研究 A	2
		言語教育学研究 B	2
		言語教育学研究 A 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究 A 2 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 1 (専門演習)	2
		言語教育学研究 B 2 (専門演習)	2
		コミュニケーション論 A	2
		コミュニケーション論 B	2
		通訳・翻訳論 A	2
		通訳・翻訳論 B	2
		通訳・翻訳論 A 1 (専門演習)	2
		通訳・翻訳論 A 2 (専門演習)	2
	通訳・翻訳論 B 1 (専門演習)	2	
	通訳・翻訳論 B 2 (専門演習)	2	
実践英語 A	2		
実践英語 B	2		

ベンガル語類					
科目区分	科目名	単位			
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	実践言語 A	2		
		実践言語 B	2		
		コミュニティ通訳研究 A	2		
		コミュニティ通訳研究 B	2		
		コミュニティ通訳研究 A 1 (専門演習)	2		
		コミュニティ通訳研究 B 1 (専門演習)	2		
		多言語・多文化社会論研究 A	2		
		多言語・多文化社会論研究 B	2		
		多言語・多文化社会論研究 A (専門演習)	2		
		多言語・多文化社会論研究 B (専門演習)	2		
		インターンシップ A	2		
		インターンシップ B	2		
	総合文化コース	南アジア文化研究 A	2		
		南アジア文化研究 B	2		
		南アジア文化研究 A 4 (専門演習)	2		
		南アジア文化研究 B 4 (専門演習)	2		
		文化・文学研究 A	2		
		文化・文学研究 B	2		
		思想文化研究 A	2		
		思想文化研究 B	2		
		思想文化研究 A 1 (専門演習)	2		
		思想文化研究 B 1 (専門演習)	2		
		人間科学研究 A	2		
		人間科学研究 B	2		
		人間科学研究 A 1	2		
		人間科学研究 B 1	2		
		人間科学研究 A 1 (専門演習)	2		
		人間科学研究 A 2 (専門演習)	2		
		人間科学研究 B 1 (専門演習)	2		
		人間科学研究 B 2 (専門演習)	2		
全コース	卒業論文演習 A	2			
	卒業論文演習 B	2			
アラビア語類					
科目区分	科目名	単位			
概論科目	言語・情報コース	言語学概論 A	2		
		言語学概論 B	2		
		音声学概論 A	2		
		音声学概論 B	2		
		言語処理概論 A	2		
		言語処理概論 B	2		
		言語教育科学概論 A	2		
		言語教育科学概論 B	2		
		アジア・アフリカ言語研究概論 A	2		
		アジア・アフリカ言語研究概論 B	2		
		グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2	
			英語教育学概論 A (英語学 2)	2	
	英語教育学概論 B (英語学 1)		2		
	英語教育学概論 B (英語学 2)		2		
	英語教育学概論 A (英米文学 1)		2		
	アラビア語類				
	科目区分		科目名	単位	
	選択科目		概論科目	英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
				英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
				英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
				英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 1)	2
				英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 3)		2	
		英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 1)		2	
英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 2)		2			
英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 3)		2			
言語教育学概論 A		2			
言語教育学概論 B		2			
コミュニケーション論概論 A		2			
コミュニケーション論概論 B		2			
通訳概論 A		2			
通訳概論 B		2			
多言語・多文化社会論概論 A		2			
多言語・多文化社会論概論 B		2			
総合文化コース		地域文化概論 A		2	
		地域文化概論 B	2		
		文化・文学概論 A	2		
		文化・文学概論 B	2		
		思想文化概論 A	2		
		思想文化概論 B	2		
		人間科学概論 A	2		
		人間科学概論 B	2		
		西アジア・北アフリカ文化概論 A	2		
		言語・情報コース	言語学 A	2	
			言語学 B	2	
			言語学 A 1 (専門演習)	2	
			言語学 B 1 (専門演習)	2	
			音声学 A	2	
			音声学 B	2	
			音声学 A 1 (専門演習)	2	
			音声学 A 2 (専門演習)	2	
			音声学 B 1 (専門演習)	2	
音声学 B 2 (専門演習)			2		
言語処理論 A	2				
言語処理論 B	2				
言語処理論 A 1 (専門演習)	2				
言語処理論 A 2 (専門演習)	2				
言語処理論 B 1 (専門演習)	2				
言語処理論 B 2 (専門演習)	2				
統計科学 A	2				
統計科学 B	2				
統計科学 A 1 (専門演習)	2				
統計科学 B 1 (専門演習)	2				
言語教育科学研究 A	2				
言語教育科学研究 B	2				
言語教育科学研究 A 1 (専門演習)	2				

アラビア語類		
科目区分	科目名	単位
言語・情報コース	言語教育科学研究 B 1 (専門演習)	2
	アジア・アフリカ言語研究 A	2
	アジア・アフリカ言語研究 B	2
	アジア・アフリカ言語研究 A14(専門演習)	2
	アジア・アフリカ言語研究 B14(専門演習)	2
	言語学特殊研究 A	2
	言語学特殊研究 B	2
グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究 A	2
	言語教育学研究 B	2
	言語教育学研究 A 1 (専門演習)	2
	言語教育学研究 A 2 (専門演習)	2
	言語教育学研究 B 1 (専門演習)	2
	言語教育学研究 B 2 (専門演習)	2
	コミュニケーション論 A	2
	コミュニケーション論 B	2
	通訳・翻訳論 A	2
	通訳・翻訳論 B	2
	通訳・翻訳論 A 1 (専門演習)	2
	通訳・翻訳論 A 2 (専門演習)	2
	通訳・翻訳論 B 1 (専門演習)	2
	通訳・翻訳論 B 2 (専門演習)	2
	実践英語 A	2
	実践英語 B	2
	実践言語 A	2
	実践言語 B	2
	コミュニティ通訳研究 A	2
	コミュニティ通訳研究 B	2
	コミュニティ通訳研究 A 1 (専門演習)	2
	コミュニティ通訳研究 B 1 (専門演習)	2
	多言語・多文化社会論研究 A	2
	多言語・多文化社会論研究 B	2
	多言語・多文化社会論研究 A (専門演習)	2
	多言語・多文化社会論研究 B (専門演習)	2
	インターンシップ A	2
インターンシップ B	2	
総合文化コース	西アジア・北アフリカ文化研究 A	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 B	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 A 3(専門演習)	2
	西アジア・北アフリカ文化研究 B 3(専門演習)	2
	文化・文学研究 A	2
	文化・文学研究 B	2
	思想文化研究 A	2
	思想文化研究 B	2
	思想文化研究 A 1 (専門演習)	2
	思想文化研究 B 1 (専門演習)	2
	人間科学研究 A	2
	人間科学研究 B	2
	人間科学研究 A 1	2
	人間科学研究 B 1	2

選択科目

アラビア語類			
科目区分	科目名	単位	
選択科目	総合文化コース	人間科学研究 A 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 A 2 (専門演習)	2
		人間科学研究 B 1 (専門演習)	2
		人間科学研究 B 2 (専門演習)	2
	全コース	卒業論文演習 A	2
		卒業論文演習 B	2
ペルシア語類			
科目区分	科目名	単位	
言語・情報コース	言語学概論 A	2	
	言語学概論 B	2	
	音声学概論 A	2	
	音声学概論 B	2	
	言語処理概論 A	2	
	言語処理概論 B	2	
	言語教育科学概論 A	2	
	言語教育科学概論 B	2	
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論 A (英語学 1)	2
		英語教育学概論 A (英語学 2)	2
		英語教育学概論 B (英語学 1)	2
		英語教育学概論 B (英語学 2)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 A (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 1)	2
		英語教育学概論 B (英米文学 2)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 1)	2
		英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 2)	2
英語教育学概論 A (英語オーラルコミュニケーション 3)		2	
英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 1)		2	
英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 2)		2	
英語教育学概論 B (英語オーラルコミュニケーション 3)		2	
概論科目	言語教育学概論 A	2	
	言語教育学概論 B	2	
	コミュニケーション論概論 A	2	
	コミュニケーション論概論 B	2	
	通訳概論 A	2	
	通訳概論 B	2	
	多言語・多文化社会論概論 A	2	
	多言語・多文化社会論概論 B	2	
	総合文化コース	地域文化概論 A	2
		地域文化概論 B	2
		文化・文学概論 A	2
		文化・文学概論 B	2
		思想文化概論 A	2
		思想文化概論 B	2
人間科学概論 A		2	
人間科学概論 B		2	
西アジア・北アフリカ文化概論 A		2	
西アジア・北アフリカ文化概論 A (ペルシア文学 1)		2	
西アジア・北アフリカ文化概論 B (ペルシア文学 1)	2		

ヘルシア語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	言語・情報コース	言語学A	2	
		言語学B	2	
		言語学A 1(専門演習)	2	
		言語学B 1(専門演習)	2	
		音声学A	2	
		音声学B	2	
		音声学A 1(専門演習)	2	
		音声学A 2(専門演習)	2	
		音声学B 1(専門演習)	2	
		音声学B 2(専門演習)	2	
		言語処理論A	2	
		言語処理論B	2	
		言語処理論A 1(専門演習)	2	
		言語処理論A 2(専門演習)	2	
		言語処理論B 1(専門演習)	2	
		言語処理論B 2(専門演習)	2	
		統計科学A	2	
		統計科学B	2	
		統計科学A 1(専門演習)	2	
		統計科学B 1(専門演習)	2	
		言語教育科学研究A	2	
		言語教育科学研究B	2	
		言語教育科学研究A 1(専門演習)	2	
		言語教育科学研究B 1(専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究A	2	
		アジア・アフリカ言語研究A(ベルシア語学)	2	
		アジア・アフリカ言語研究B	2	
		アジア・アフリカ言語研究B(ベルシア語学)	2	
		アジア・アフリカ言語研究A15(専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究B15(専門演習)	2	
		言語学特殊研究A	2	
		言語学特殊研究B	2	
		グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2
			言語教育学研究B	2
言語教育学研究A 1(専門演習)	2			
言語教育学研究A 2(専門演習)	2			
言語教育学研究B 1(専門演習)	2			
言語教育学研究B 2(専門演習)	2			
コミュニケーション論A	2			
コミュニケーション論B	2			
通訳・翻訳論A	2			
通訳・翻訳論B	2			
通訳・翻訳論A 1(専門演習)	2			
通訳・翻訳論A 2(専門演習)	2			
通訳・翻訳論B 1(専門演習)	2			
通訳・翻訳論B 2(専門演習)	2			
実践英語A	2			
実践英語B	2			
実践言語A	2			

ヘルシア語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	グローバルコミュニケーションコース	実践言語B	2	
		コミュニティ通訳研究A	2	
		コミュニティ通訳研究B	2	
		コミュニティ通訳研究A 1(専門演習)	2	
		コミュニティ通訳研究B 1(専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究A	2	
		多言語・多文化社会論研究B	2	
		多言語・多文化社会論研究A(専門演習)	2	
		多言語・多文化社会論研究B(専門演習)	2	
		インターンシップA	2	
		インターンシップB	2	
		総合文化コース	西アジア・北アフリカ文化研究A	2
			西アジア・北アフリカ文化研究A(ベルシア文学2)	2
			西アジア・北アフリカ文化研究B	2
	西アジア・北アフリカ文化研究B(ベルシア文学)		2	
	西アジア・北アフリカ文化研究A 1(専門演習)		2	
	西アジア・北アフリカ文化研究A 2(専門演習)		2	
	西アジア・北アフリカ文化研究B 1(専門演習)		2	
	西アジア・北アフリカ文化研究B 2(専門演習)		2	
	文化・文学研究A		2	
	文化・文学研究B		2	
	思想文化研究A		2	
	思想文化研究B		2	
	思想文化研究A 1(専門演習)		2	
	思想文化研究B 1(専門演習)		2	
	人間科学研究A		2	
	人間科学研究B		2	
	人間科学研究A 1	2		
	人間科学研究B 1	2		
	人間科学研究A 1(専門演習)	2		
	人間科学研究A 2(専門演習)	2		
	人間科学研究B 1(専門演習)	2		
	人間科学研究B 2(専門演習)	2		
	全コース	卒業論文演習A	2	
卒業論文演習B		2		
トルコ語類				
科目区分	科目名	単位		
概論科目	言語・情報コース	言語学概論A	2	
		言語学概論B	2	
		音声学概論A	2	
		音声学概論B	2	
		言語処理概論A	2	
		言語処理概論B	2	
		言語教育科学概論A	2	
		言語教育科学概論B	2	
		アジア・アフリカ言語研究概論A	2	
		アジア・アフリカ言語研究概論B	2	
		グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A(英語学1)	2
			英語教育学概論A(英語学2)	2

トルコ語類			
科目区分	科目名	単位	
概論科目	英語教育学概論B (英語学1)	2	
	英語教育学概論B (英語学2)	2	
	英語教育学概論A (英米文学1)	2	
	英語教育学概論A (英米文学2)	2	
	英語教育学概論B (英米文学1)	2	
	英語教育学概論B (英米文学2)	2	
	グローバルコミュニケーションコース	英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論A (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション1)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション2)	2
		英語教育学概論B (英語オーラルコミュニケーション3)	2
		言語教育学概論A	2
		言語教育学概論B	2
		コミュニケーション論概論A	2
		コミュニケーション論概論B	2
		通訳概論A	2
		通訳概論B	2
		多言語・多文化社会論概論A	2
		多言語・多文化社会論概論B	2
	総合文化コース	地域文化概論A	2
		地域文化概論B	2
		文化・文学概論A	2
		文化・文学概論B	2
		思想文化概論A	2
		思想文化概論B	2
		人間科学概論A	2
		人間科学概論B	2
西アジア・北アフリカ文化概論A	2		
選択科目	言語学A	2	
	言語学B	2	
	言語学A 1 (専門演習)	2	
	言語学B 1 (専門演習)	2	
	音声学A	2	
	音声学B	2	
	音声学A 1 (専門演習)	2	
	音声学A 2 (専門演習)	2	
	音声学B 1 (専門演習)	2	
	音声学B 2 (専門演習)	2	
	言語・情報コース	言語処理論A	2
		言語処理論B	2
		言語処理論A 1 (専門演習)	2
		言語処理論A 2 (専門演習)	2
		言語処理論B 1 (専門演習)	2
		言語処理論B 2 (専門演習)	2
		統計科学A	2
		統計科学B	2
		統計科学A 1 (専門演習)	2
		統計科学B 1 (専門演習)	2

トルコ語類				
科目区分	科目名	単位		
選択科目	言語・情報コース	言語教育科学研究A	2	
		言語教育科学研究B	2	
		言語教育科学研究A 1 (専門演習)	2	
		言語教育科学研究B 1 (専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究A	2	
		アジア・アフリカ言語研究B	2	
		アジア・アフリカ言語研究A16(専門演習)	2	
		アジア・アフリカ言語研究B16(専門演習)	2	
		言語学特殊研究A	2	
		言語学特殊研究B	2	
		グローバルコミュニケーションコース	言語教育学研究A	2
			言語教育学研究B	2
			言語教育学研究A 1 (専門演習)	2
			言語教育学研究A 2 (専門演習)	2
	言語教育学研究B 1 (専門演習)		2	
	言語教育学研究B 2 (専門演習)		2	
	コミュニケーション論A		2	
	コミュニケーション論B		2	
	通訳・翻訳論A		2	
	通訳・翻訳論B		2	
	通訳・翻訳論A 1 (専門演習)		2	
	通訳・翻訳論A 2 (専門演習)		2	
	通訳・翻訳論B 1 (専門演習)		2	
	通訳・翻訳論B 2 (専門演習)		2	
	実践英語A	2		
	実践英語B	2		
	実践言語A	2		
	実践言語B	2		
コミュニティ通訳研究A	2			
コミュニティ通訳研究B	2			
コミュニティ通訳研究A 1 (専門演習)	2			
コミュニティ通訳研究B 1 (専門演習)	2			
多言語・多文化社会論研究A	2			
多言語・多文化社会論研究B	2			
多言語・多文化社会論研究A (専門演習)	2			
多言語・多文化社会論研究B (専門演習)	2			
インターンシップA	2			
インターンシップB	2			
総合文化コース	西アジア・北アフリカ文化研究A	2		
	西アジア・北アフリカ文化研究B	2		
	西アジア・北アフリカ文化研究A 4 (専門演習)	2		
	西アジア・北アフリカ文化研究B 4 (専門演習)	2		
	文化・文学研究A	2		
	文化・文学研究B	2		
	思想文化研究A	2		
	思想文化研究B	2		
	思想文化研究A 1 (専門演習)	2		
	思想文化研究B 1 (専門演習)	2		
人間科学研究A	2			

トルコ語類		
科目区分	科目名	単位
総合文化コース	人間科学研究B	2
	人間科学研究A 1	2
	人間科学研究B 1	2
	人間科学研究A 1 (専門演習)	2
	人間科学研究A 2 (専門演習)	2
	人間科学研究B 1 (専門演習)	2
	人間科学研究B 2 (専門演習)	2
全コース	卒業論文演習A	2
	卒業論文演習B	2

平成24年3月27日
規則 第14号
(改正年月日：省略)

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人東京外国語大学学則（昭和52年4月1日制定。以下「学則」という。）第29条、第35条第4項及び第44条第2項に基づき、言語文化学部に開設する授業科目及び単位数に関する規程（平成24年規則第12号）に規定する授業科目の履修方法、卒業所要単位数等について必要な事項を定めるものとする。

(卒業所要単位数及び履修年次等)

第2条 学則第44条第1項に定める卒業所要単位数125単位は、次に掲げる授業科目の区分により修得しなければならない。

- (1) 言語科目 38単位
- (2) 地域科目 6単位
- (3) 教養科目 20単位
- (4) 専修科目 48単位（卒業論文、卒業研究8単位を含む。）
- (5) 関連科目 13単位

2 前項各号に定める区分の授業科目の履修年次及び最低修得単位数は、別表1のとおりとする。

3 単位の計算方法は、学則第30条に定めるところによる。

(履修方法等)

第3条 言語科目の履修方法は、次に掲げるところによる。ただし、第1年次又は第2年次の地域言語に相当する言語の既習者については、第1年次又は第2年次地域言語科目の一部又は全部の履修を免除することができる。この場合、免除相当単位数を別に定める科目で修得しなければならない。なお、履修できる地域言語Aは、入学時に専攻した言語の名称を付した類の授業科目に限るものとする。

- (1) 地域言語AⅠ
10単位必修するものとする。ただし、日本語を地域言語とする留学生は、14単位必修するものとする。
- (2) 地域言語AⅡ
第2年次以降に10単位必修するものとする。ただし、中央アジア地域(ロシア語)に所属する者は第2年次以降に4単位必修するものとする。
- (3) 地域言語AⅢ
原則として第3年次以降に8単位必修するものとする。ただし、日本語を地域言語とする者及び中央アジア地域(ロシア語)に所属する者を除く。
- (4) 地域言語A(ウズベク語)
中央アジア地域(ロシア語)に所属する者は、第2年次以降に12単位必修するものとする。
- (5) G L I P英語科目及び教養外国語

① 中央アジア地域(ロシア語)、日本を除く地域(言語)

ア 英語を地域言語Aとして指定されている者
教養外国語(母語を除く。)を10単位必修するものとする。ただし、そのうち4単位は、最低修得単位数を超えて修得した地域言語A(英語Ⅲ)、地域言語C又はG L I P英語科目の単位をもって充てることができる。

イ 上記以外の者

G L I P英語科目又は教養外国語(母語を除く。)を10単位必修するものとする。ただし、そのうち4単位は、最低修得単位数を超えて修得した地域言語A(○○語Ⅲ)、地域言語Cの単位をもって充てることができる。

② 中央アジア地域(ロシア語)

G L I P英語科目又は教養外国語(母語を除く。)を12単位必修するものとする。ただし、最低修得単位数を超えて修得した地域言語A(ロシア語Ⅱ、ロシア語Ⅲ)、地域言語A(ウズベク語)、地域言語Cの単位をもって充てることができる。

③ 日本語(日本人学生)

18単位必修するものとする。ただし、そのうち12単位は、地域言語Cの単位をもって充てることができる。

④ 日本語(外国人留学生)

G L I P英語科目又は教養外国語(母語を除く。)を14単位必修するものとする。ただし、そのうち8単位は、地域言語Cの単位をもって充てることができる。

(6) ポーランド語、チェコ語、モンゴル語、インドネシア語、マレーシア語、フィリピン語、タイ語、ラオス語、ベトナム語、カンボジア語、ビルマ語、ウルドゥー語、ヒンディー語、ベンガル語、ペルシア語またはトルコ語を地域言語Aとして指定されている者は、第1号から第3号までの規定にかかわらず、地域言語AⅠ、地域言語AⅡ及び地域言語AⅢのうちから28単位を選択必修するものとする。

2 地域科目の履修方法は、次に掲げるところによる。

地域基礎

6単位必修するものとする。

3 教養科目の履修方法は、次に掲げるところによる。

(1) 基礎リテラシー

原則として第1年次春学期に1単位を必修するものとする。

(2) 基礎演習

原則として第1年次秋学期に2単位を必修するものとする。

(3) 世界教養科目

世界教養科目に関する科目区分及び科目名と必修単位数は以下のとおりとする。

授業科目区分		必修単位数	選択必修単位数
ア	現代を生きる	4	16 ただし、アから4単位、イから6単位、ウから2単位を必ず含めること。
	地球社会と生きる		
	人生を拓く		
イ	知と文化に挑む	6	
ウ	世界から日本を見る	2	
エ	現地で学ぶ	—	

(4) スポーツ・身体文化科目

1単位を必修するものとする。

4 専修科目の履修方法は、次に掲げるところによる。

(1) 導入科目

第1年次以降に「言語研究入門A」、「言語研究入門B」、「グローバルコミュニケーション研究入門A」、「グローバルコミュニケーション研究入門B」、「総合文化研究入門A」及び「総合文化研究入門B」の中から第6条第1項の各履修コースで開設する導入科目をそれぞれ2単位を含め、6単位を選択必修するものとする。

(2) 概論科目

第2年次以降に「言語学概論A」、「言語学概論B」、「音声学概論A」、「音声学概論B」、「言語教育学概論A」、「言語教育学概論B」、「文化・文学概論A」、「文化・文学概論B」、「思想文化概論A」、「思想文化概論B」の中からの6単位を含めた10単位を選択必修するものとする。

(3) 選択科目

① 講義・専門演習

第3年次以降に履修コースの16単位を必修するものとする。ただし、他コースの科目を10単位含むことができる。

② 専門演習（本ゼミ）

第3年次以降に選択した履修コースにおいて指導教員の指導のもとで4単位必修するものとする。ただし、特別な事情により指導教員の専門演習が開講されていない場合、指導教員が指定する他の専門演習（他コースのものを含む）を履修するものとする。

③ 卒業論文演習

第4年次に選択した履修コースにおいて指導教員の指導のもとで4単位必修するものとする。

5 関連科目の履修方法は、第1号から第5号の修得単位のうち、卒業所要単位を超えて修得した単位13単位をもって充てるものとする。なお、第6号から第7号により修得した単位も関連科目に含むことができる。

- (1) 再履修可能科目でない言語科目
(2) 教養科目のうち、世界教養科目
(3) 教養科目のうち、スポーツ身体文化科目（ただし1単位のみ）
(4) 地域科目
(5) 専修科目（卒業論文・卒業研究及び卒業論文演習を除く。）
(6) 国際社会学部の専修科目（卒業論文・卒業研究及び卒業論文演習を除く）

(7) 他大学（派遣留学先の大学を含む）等において修得した科目

6 卒業論文・卒業研究の履修方法は、次に掲げるところによる。第4年次に8単位必修するものとする。

7 教育職員免許状の授与を受ける場合に必要科目は、教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）第66条の6に規定する科目の単位を含め、別表2から別表4に掲げるところにより、それぞれ必要単位数を修得するものとする。

8 履修登録は、年間50単位を上限とする。ただし、第3年次編入学生及び教職課程を履修する学生については、この限りではない。

(履修要件)

第4条 言語科目の地域言語Aのうち、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語及び日本語においては、第1年次に10単位（日本語を地域言語とする留学生は14単位）修得していない場合、第2年次の言語科目（地域言語A）を履修することができない。

(進級)

第5条 第2年次末までに地域言語A（Ⅲを除く。）15単位（中央アジア地域（ロシア語）については地域言語A（ウズベク語）を含む。日本（外国人留学生）については18単位）、地域基礎6単位、基礎リテラシー1単位、基礎演習2単位、世界教養科目8単位及び第6条第1項に定める3つのコースの中から2つのコースの導入科目4単位を修得した者は、言語文化学部教授会の議を経て第3年次進級を決定する。

(履修コースの選択及び決定)

第6条 履修コースは、第2年次において専修科目に置く3コース

(言語・情報コース、グローバルコミュニケーションコース及び総合文化コース)から一つを選択するものとする。

2 選択した履修コースの登録は、第2年次に行い、専門演習の履修は第3年次に行うものとする。

3 言語文化部長が教育上有益と認めるときは、決定した履修コースを変更することができる。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、各授業の履修方法等に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

2 改正後の規定にかかわらず、平成28年3月31日に在学する学生に係る授業科目の履修方法、卒業所要単位数等については、なお従前の例による。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

別表1（第2条関係）

履修年次及び最低修得単位数

Table with columns: 授業科目区分, 授業科目, 標準履修年次, and 言語(地域)区分 (A, A, A, B). Rows include 地域言語 A I, A II, A III, 地域言語 A (ウズベク語), 地域言語 A II, A III, 地域言語 C, G L I P 英語科目, 教 養 外 国 語, 地域科目, 基礎リテラシー, 基礎演習, 世界教養科目.

授業科目区分	授業科目	標準履修年次	言語（地域）区分				
			A (日本以外)	A (J1)	A (J2)	B (中央アジア)	
教養科目	スポーツ・身体文化科目	第1年次春学期	1単位	1単位	1単位	1単位	
		第4年次秋学期					
専修科目	導入科目	第1年次春学期	6単位	6単位	6単位	6単位	
		第4年次秋学期					
	概論科目	第2年次春学期	10単位	10単位	10単位	10単位	
		第4年次秋学期					
	選択科目	講義・専門演習	第3年次春学期	16単位	16単位	16単位	16単位
			第4年次秋学期				
		専門演習(本ゼミ)※7	第4年次春学期	4単位	4単位	4単位	4単位
			第4年次秋学期				
	卒業論文・卒業研究	第4年次春学期	4単位	4単位	4単位	4単位	
		秋学期					
関連科目	関連科目	第1年次春学期	13単位	13単位	13単位	13単位	
		第4年次秋学期					
卒業所要単位			125単位	125単位	125単位	125単位	

備考1 言語（地域）区分欄の、Bは「中央アジア地域（ロシア語）」を示し、Aはそれ以外の地域を示す。

備考2 言語（地域）区分のA（日本以外）欄の言語科目の中には、地域言語AⅠ、地域言語AⅡ、地域言語AⅢを合わせて28単位を卒業所要単位としているものがある。

備考3 表中※1の欄の単位のうち4単位は、※2の欄の科目の単位をもって充てることができる。（英語を地域言語Aとして指定されている者は、※1の欄は教養外国語のみとし、※2の欄をGLIP英語科目まで含めるものとする。）※3の欄の単位のうち12単位は、※4の欄の科目の単位をもって充てることができる。※5の欄の単位のうち8単位は、※6の欄の科目の単位をもって充てることができる。

備考4 ※7の専門演習（本ゼミ）は、第3年次以降に、選択した履修コースにおいて指導教員の指導のもとで4単位必修するものとする。ただし、特別な事情により指導教員の専門演習が開講されない場合、指導教員が指定する他の専門演習（他コースのものを含む）を履修するものとする。

別表2（第3条関係）

教科に関する科目

免許教科	教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数
英語	英語学	左記の各科目について、それぞれ1単位以上計20単位
	英米文学	
	英語コミュニケーション	
	異文化理解	

備考 英語以外の外国語の教科に関する科目の単位の修得方法は、英語の例によるものとする。

別表3（第3条関係）

教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分		教育職員免許法上の最低修得単位数		本学における最低修得単位数	
科目	左記の各科目に含めることが必要な事項	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
教職の意義に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2	2	2
	教員の職務内容（研修、職務及び身分保障を含む。）				
教育の基礎に関する科目	進路選択に資する各種の機会の提供等	6	6	2	2
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項				
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	12	6	1	1
	各教科の指導法				
	道徳の指導法				
	特別活動の指導法				
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用方法を含む。）	4	4	2	2
	生徒指導の理論及び方法				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
教育実習	進路指導の理論及び方法	5	3	1	1
	事前・事後指導				
	中学校				
教職実践演習	高等学校	2	2	2	2
	合計				

備考 「各教科の指導法」に関する科目は、東京外国語大学において授与資格を得させることができる教員の免許状の種類等に関する規程第2条の表に掲げる免許教科とする。

別表4（第3条関係）

教科又は教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数
教科又は教職に関する科目	8(16)

備考1 教育職員免許法第5条第1に規定する「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数は、最低修得単位数を超えて修得した「教科に関する科目」又は「本学における最低修得単位数」を超えて修得した「教職に関する科目」若しくは本学が加える「教科又は教職に関する科目」について、合わせて8単位又は16単位を修得すること。

備考2 ()内の数字は、高等学校教諭一種免許状の授与を受ける場合の単位数である。

昭和53年 4月 1日
制定
(改正年月日：省略)

(目的)

第1条 この規程は、国立大学法人東京外国語大学学則第27条第2項及び国立大学法人東京外国語大学大学院学則第36条第2項の規定に基づき、本学において授与の所要資格を得させることができる教員の免許状の種類及び免許教科について、定めることを目的とする。

(言語文化学部、国際社会学部)

第2条 言語文化学部及び国際社会学部において、当該所要資格を得させることができる教員の免許状の種類及び免許教科は、次の表に掲げるとおりとする。

学部	学科	免許状の種類		
言語文化 学 部	言語文化 学 科	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）		
		中学校教諭一種免許状（ドイツ語） 高等学校教諭一種免許状（ドイツ語）		
		中学校教諭一種免許状（フランス語） 高等学校教諭一種免許状（フランス語）		
		中学校教諭一種免許状（スペイン語） 高等学校教諭一種免許状（スペイン語）		
		中学校教諭一種免許状（ポルトガル語） 高等学校教諭一種免許状（ポルトガル語）		
		中学校教諭一種免許状（ロシア語） 高等学校教諭一種免許状（ロシア語）		
		中学校教諭一種免許状（中国語） 高等学校教諭一種免許状（中国語）		
		中学校教諭一種免許状（モンゴル語） 高等学校教諭一種免許状（モンゴル語）		
		中学校教諭一種免許状（インドネシア語） 高等学校教諭一種免許状（インドネシア語）		
		中学校教諭一種免許状（ラオス語） 高等学校教諭一種免許状（ラオス語）		
		中学校教諭一種免許状（ビルマ語） 高等学校教諭一種免許状（ビルマ語）		
		中学校教諭一種免許状（ペルシア語） 高等学校教諭一種免許状（ペルシア語）		
		国際社会 学 部	国際社会 学 科	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

(大学院)

第3条 大学院において、当該所要資格を得させることができる教員の免許状の種類及び免許教科は、次の表に掲げるとおりとする。

研究科	専攻コース	免許状の種類
総 合 国 際 学 科 研 究 科	世界言語社会専攻 言語文化コース	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）
	世界言語文化専攻 国際社会コース	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

(中略)

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程第2条の規定にかかわらず、平成29年3月31日に在学する学生については、なお従前の例による。

東京外国語大学
言語文化学部履修案内

平成 29 年 3 月発行

編 集 東京外国語大学言語文化学部

東京外国語大学

TOKYO UNIVERSITY
OF
FOREIGN STUDIES

